

道路橋名	アカナ	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効幅員 (m)	R5	所見等	緯度	経度
洲和橋	マスワル	江刺	上伊手線	1992	16.3	6.5	II	支那部本体に腐食、舗装に土砂詰まりが見られる。	39.18000度	141.29000度
根久保橋	ネグバシ	江刺	五道ヶ辻歌謡線	1987	51.5	7	II	橋脚に剥離・うきが見られた。伸縮部からの漏水により内部主鉄筋の腐食に繋がる恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.227500度	141.179444度
天神堂橋	テンンドウハン	江刺	下川原別当線	1981	103.5	6.5	III	落橋防止システムに腐食、欠損が見られる。早期に措置を講ずるべき状態。	39.17980度	141.15098度
大黒橋	ダイコウシ	江刺	黒田助線	1968	22	4.5	II	床版張出部に遊離石灰の析出を伴うひびわれおよび剥離・鉄筋露出が見られた。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.119444度	141.215833度
若神子橋	ワカコシ	江刺	藤里口内線	1979	39.8	7	II	P1橋脚に欠損が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.17611度	141.25101度
御重野橋	ミノオハシ	江刺	力石御免線	1968	72.7	5.5	II	防護欄支柱の凍結膨張による変形・欠損が見られた。部分的だが、車両逸脱防止性能の低下に繋がるため、利用者被害予防の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.163333度	141.185555度
館前橋	タテマエハン	江刺	原休線	1998	45.6	7	I	伸縮装置部の舗装に路面凹凸が見られるため、予防保全の観点から維持工事に対応することが望ましい。	39.175277度	141.211666度
白山橋	ハクサンシ	江刺	玉里藤里線	1969	30	5	II	橋座に掘削孔が見られた。凍害および鉄筋露出の原因となる恐れがあるため、予防保全の観点から措置を行うことが望ましい。	39.227222度	141.254166度
八幡大橋	ハチマノオハシ	江刺	玉里愛宕線	1976	37.6	8	II	床版に遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.25021度	141.212777度
亀の子橋	カメコシ	江刺	佐野線	1970	56	3	III	橋脚梁部に生じたひびわれは、音座部に発生した空洞の漏水が原因と想定される。進行することにより橋脚の耐力力が低下する恐れがあるため早期に措置を講ずる必要がある。また、防護欄支柱の凍結膨張により、支柱及び地覆に著しい欠損が見られた。車両衝突時の逸脱防止性能が低下しているため、利用者被害予防の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.219722度	141.165833度
平林橋	ヒラヤシハン	江刺	御堂芦沢線	1996	41	5	II	主桁G1、G3ウェブ及びびわらに防食機能の劣化が認められる。部分的に保護性錆が形成されていない状態である。また橋台に幅0.6mm程度のひびわれが確認され、耐力力の低下が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.175910度	141.277200度
戸間橋	トノマシハン	江刺	芦沢線	1971	28.5	5	II	主桁端部に緩やかな斜めひびわれが認められる。主桁上方は雨水や凍結防止剤等の影響で発生しやすい環境にあり、湿気がこもりがちであることから進行性は高いと考えられ、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.173900度	141.295090度
小迎橋	コムカイシ	江刺	小迎阿原田原峠線	1975	18	4	II	地覆および下部工に凍害による剥離が見られた。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.163055度	141.310277度
下輪ヶ崎橋	シモカサキハン	江刺	梨ノ木線	1976	20.1	3.5	IV	遊離石灰が著しい為、橋梁構造の安全性の観点から緊急対応の必要がある。	39.250277度	141.266666度
野里橋	ノリシ	江刺	中沢線	1972	16.6	4	II	コンクリート製の防護欄支柱にかぶり不足による剥離・鉄筋露出が見られた。車両逸脱防止性能の低下が懸念されるため、利用者被害予防の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.233333度	141.325833度
大内田橋	オウチダハン	江刺	老耳第二線	1972	29	4	II	床版間詰部から遊離石灰の析出、路面のハッチング補修跡及び凹凸が見られたことから、床版上面の劣化が懸念される。劣化の進行により耐力力低下の恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.223611度	141.234722度
昭和橋	ショウワハン	江刺	川子野線	1974	23.7	4	II	主桁側面に遊離石灰を伴うひびわれが部分的に見られた。内部PCケーブルに影響を及ぼす恐れがあるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.226388度	141.263611度
広瀬大橋	ヒロセオハシ	江刺	下日向大曲線	1967	37.4	4.5	III	ピンチプレートがずれが生じているため、速やかに補修の必要がある。	39.250833度	141.217500度
佐名田橋	サナダハン	江刺	藤里口内線	1977	37.7	7.5	II	橋台に遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.25626度	141.21298度
新川橋	ニカワハン	江刺	八日市北天間線	1972	104.5	5.5	II	音座部にモルタル未充填による空洞・漏水が見られた。アンカーボルトの固定不良および、凍結膨張によるコンクリートの欠損が懸念される。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.186666度	141.158055度
百連寺橋	ドムレンシハン	江刺	金華山百連寺駒込線	1973	107.8	6	II	各部材の損傷は軽微かつ局所的であり道路橋の機能に支障が生じていない。	39.194722度	141.160277度
愛宕橋	アタゴハン	江刺	藤里石原線	1975	26.6	5	II	橋台に剥離・鉄筋露出およびうきが見られた。伸縮部からの漏水により進行する恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.171111度	141.239722度
大橋	オオハシ	江刺	人首街道線	1972	35.2	4	II	橋脚に凍害によるうき、ひびわれが見られた。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.215555度	141.218333度
中ノ橋	ナカハシ	江刺	中町中ノ橋線	1993	35.8	5	II	床版間詰部に遊離石灰の析出が見られた。予防保全の観点から措置を行うことが望ましい。	39.190833度	141.181111度
重栄寺橋	オウセンシハン	江刺	重栄寺橋前田線	1989	37.2	5	II	橋脚柱部にひびわれが見られた。ひびわれ幅が前回点検から拡大してため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.193611度	141.182222度
表町橋	ウラマチハン	江刺	重栄寺橋前田線	1997	34.8	1.7	II	主桁に表面的な広がりのある腐食が認められ、一部桁端部に腐食の進行による膨張が確認された。床版が木材であることから隙間からの漏水の影響により進行性が高くなると考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.196630度	141.186300度
小名丸橋	コナマルシ	江刺	小名丸線	1971	42.8	3.6	III	各支承に沈下が見られた。鉛直支持機能に支障が生じているため、早期に措置を講ずる必要がある。	39.199166度	141.188611度
上堰橋	ウヱキハン	江刺	上堰線	1970	40.9	2.2	III	音座部のモルタル充填不足による支承の沈下が見られた。鉛直支持機能に支障が生じているため、早期に措置を講ずることが望ましい。	39.202777度	141.193055度
中田橋	ナカダハン	江刺	北田苗代沢線	1970	40.8	3.2	II	橋脚基礎が洗堀により露出している。豪雨等で進行する恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.204722度	141.195555度
雲南田橋	ウンナンダハン	江刺	牧沢線	1982	31.9	2.7	II	床版に一方のひびわれが認められる。ひびわれが幅0.1mm～0.2mm程度で遊離石灰の析出は認められないが、軸荷重によるひびわれの拡大が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.210920度	141.205690度
等平橋	コヒラハン	江刺	等平線	1971	43.8	2.7	II	鋼部材及び床版、支承は補修済みで流木も除去済みである。P2橋脚柱部のひびわれ及びA2橋台壁面に局部的にコンクリート欠損、剥離及びひびわれが認められる。水の供給によるコンクリート部材劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.172500度	141.152220度
宿橋	シュクハン	江刺	宿線	1970	109	3	II	アンカーボルトの著しい腐食および剥離が見られた。水平力支持機能低下の恐れがあるため予防保全の観点から早期に措置を講ずることが望ましい。防護欄の支柱に凍結膨張による支柱の変形(膨らみ)が見られた。車両逸脱防止性能が低下しているため、利用者被害予防の観点から早期に措置を講ずることが望ましい。	39.183055度	141.154444度
川口橋	カワグチハン	江刺	石間息田線	1979	20.5	4	II	床版に幅0.1mm～0.2mm程度の一方ひびわれが認められる。また舗装面にひびわれの発生が確認された。軸荷重の繰り返しによるひびわれの拡大が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.247030度	141.183150度
佐野向橋	サノムカシハン	江刺	佐野向線	1971	110.5	3.5	II	支承の音座部にモルタル充填不良による空洞が見られた。支承の安定性が低下する恐れがあるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.214722度	141.163888度
石田橋	イシダハン	江刺	山館山厩線	1980	46	6.5	II	下部工に乾燥収縮によるひびわれが見られた。予防保全の観点から措置を行うことが望ましい。	39.179444度	141.215555度
新田橋	シンデンハン	江刺	石山馬形線	1973	74.1	4.5	II	主桁下面に見られる遊離石灰の析出を伴うひびわれは、内部のPC鋼線の腐食に繋がる恐れがあるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.156388度	141.195555度
六栗橋	ムツクシハン	江刺	持栗線	1979	18.7	4.5	II	地覆の上面全体に凍害による剥離、側面全体に遊離石灰の析出が見られた。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.116388度	141.220833度
遠江橋	トウトシハン	江刺	北風線	1976	17	4.5	II	間詰部全体に橋面からの漏水による遊離石灰の析出が見られた。橋面のコンクリート舗装にはひびわれやうきが見られたことから、床版上面の劣化が想定される。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.116914度	141.235184度
猿沢橋	サマザシハン	江刺	平橋山沢線	1973	17	3	II	アンカーボルトの抜けおよび腐食が見られた。水平力支持機能の低下が生じる可能性があるため、早期に措置を講ずる必要がある。	39.118055度	141.219444度
和田橋	ワダハン	江刺	砂子田線	1992	28.3	3	II	橋台および橋脚に乾燥収縮によるひびわれが見られた。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.185555度	141.226944度
新山橋	シンサンハン	江刺	前田線	1971	21.5	3.2	II	主桁に表面的な広がりのある腐食が認められる。また橋脚壁部に流水による断面欠損が広範囲に認められ、耐力力の低下が懸念されることから予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.169810度	141.260510度
涌坪橋	ユツツハン	江刺	涌坪線	1971	20.5	3	II	主桁接合部のボルト腐食が見られた。耐力力の低下となる恐れがあるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。また、音座部の空洞は支承の安定性の低下および下部工の損傷に繋がる恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.171944度	141.242500度
松ノ木田橋	マツノキダハン	江刺	館下枝線	1992	23	3	I	軽微な損傷は認められるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。	39.172360度	141.296860度
館下橋	タテマエハン	江刺	館下線	1980	21.6	5	II	間詰部全体に部分的な遊離石灰の析出が認められ、局所的に凍害も発生している。また地覆に剥離や路面の凹凸が見られることから予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.169510度	141.297850度
古館橋	コクサンハン	江刺	古館線	1972	15.5	3.5	II	主桁側面および下面の遊離石灰の析出を伴うひびわれは、内部PC鋼線の腐食の原因となり耐力力に影響を及ぼす恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.161312度	141.320236度
下川辺橋	シモカワヘハン	江刺	山の林線	1969	25.2	3	II	主桁に遊離石灰の析出を伴うひびわれおよびPC鋼線の露出が見られた。構造機能に支障が生じる可能性があるため、早期に措置を講ずる必要がある。また、橋脚の基礎に洗堀が見られた。進行すると耐力力の低下となるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.229444度	141.286388度
杉ノ下橋	スギノカシハン	江刺	杉の下線	1975	16.5	3.5	II	間詰部に錆を伴う遊離石灰の析出が見られた。また、コンクリート舗装全体にひびわれが見られることから、床版上面の劣化が懸念される。橋座に凍害による剥離・鉄筋露出が見られた。支承部まで進行する可能性があるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.227777度	141.331944度
田中橋	タナカハン	江刺	杉の下線	1977	20.5	5	II	間詰部床版に遊離石灰を伴う析出が認められる。析出量は少ないが舗装面に劣化が見られることから、床版上面の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.230420度	141.329110度
王行田橋	オウキョウダハン	江刺	荒町野線	1982	27	3	II	鋼部材等に表面的に広がりのある腐食が認められる。板厚減少は認められないが、伸縮部からの漏水の影響により進展の可能性があるので、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.235380度	141.317180度
鳴瀬橋	ナルセハン	江刺	人首小学校線	1974	24	4	II	主桁下面に遊離石灰の析出を伴うひびわれが見られた。内部PCケーブルに影響を及ぼす恐れがあるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.233888度	141.311111度
朝日野橋	アサヒノシハン	江刺	朝日野線	1982	28	3.8	II	主桁に表面的に広がりのある腐食が認められる。また舗装面に段差が確認され、道路利用者の安全性の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.214530度	141.219200度
畑中橋	ハタナカハン	江刺	中高間ヶ岡線	2018	16.2	4.6	I	全ての部材が健全で、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。	39.215810度	141.221670度
熊田橋	クマダハン	江刺	熊野線	1982	21.7	3.5	I	舗装面に段差が認められる。道路利用者の安全性の観点から、維持工事に対応することが望ましい。	39.215360度	141.225280度
大森橋	オオリハン	江刺	大塚線	1973	31.2	4	II	床版間詰部の遊離石灰および橋脚梁部のひびわれは前回点検から進行が見られた。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.220833度	141.230833度
熊野田橋	クマダハン	江刺	熊野田線	1977	27.1	2.5	III	主桁に欠損、橋台に剥離、うき、橋脚柱部に幅広のひびわれが生じており、橋梁の構造安全性の観点から、速やかに措置を講ずる必要がある。	39.227500度	141.241388度
城岡橋	シヨウカンハン	江刺	和田線	1977	24	2.7	III	床版(木材)に局部的な腐食が見られる。また鋼部材全体的に広がりのある腐食が認められ、腐食の進行により耐久性の低下が懸念されるため、早期に措置を講ずる事が望ましい。	39.227550度	141.243980度
中島橋	ナカシマハン	江刺	中堰線	1980	26.8	5.5	II	主桁に床版の間から漏水・遊離石灰(錆汁)が認められる。また橋脚部定着部の腐食は水の供給により進行性は高くなり、PC鋼材の腐食に繋がる可能性があるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.228120度	141.256550度
釜ノ後橋	シメノノコシハン	江刺	長倉線	1973	23.7	4	II	防護欄支柱に凍結膨張による支柱の膨らみ、地覆の著しい欠損が見られた。車両逸脱防止性能が低下しているため利用者被害予防の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.225000度	141.275000度
大和田橋	オオワダハン	江刺	大和田線	1982	24.2	2.7	II	舗装面にひびわれが認められ、床版に遊離石灰を伴うひびわれの発生が確認された。床版上面の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.224440度	141.278580度
七尋石橋	ナナヒロシハン	江刺	七尋石線	1973	27.1	4	II	主桁接合部のボルト脱落は継手性能低下となるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.225555度	141.280000度
深田橋	フカダハン	江刺	中宿深田線	1977	17.6	5	II	下部工に乾燥収縮によるひびわれが見られた。伸縮部からの漏水により進行する可能性があるため、予防保全の観点から措置を行うことが望ましい。	39.273055度	141.269722度
杉崎橋	スギサキハン	江刺	最中沢線	1981	19.7	4	II	床版間詰部に橋面からの著しい漏水による遊離石灰の析出(つら状)が見られた。床版が劣化している恐れがあるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.275555度	141.268611度
竹生田橋	タケウダハン	江刺	山影線	1979	18.6	5	II	間詰部床版に遊離石灰の析出が認められる。床版上面の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.236230度	141.196880度
鳥田橋	トリダハン	江刺	鳥田線	1977	15.4	2.4	II	床版(木材)に湿りがあり部分的な腐食が認められる。また橋脚梁部に剥離・鉄筋露出が見られることから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.247890度	141.200510度
根岸橋	ネギシハン	江刺	日渡根岸線	1976	35	3.5	II	橋脚梁部にひびわれが見られた。前回点検時からひびわれ幅が拡大している。伸縮部からの漏水により進行する恐れがあるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.258333度	141.209166度
軽石大橋	カルシオオハシ	江刺	柏線	1967	31.1	4	II	音座部にモルタル充填不良による空洞が見られた。支承が沈下する恐れがあるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.252777度	141.228055度
玉里大橋	タマリオオハシ	江刺	藤里口内線	1979	30	7	II	床版に床版ひびわれが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.227333度	141.244833度
金谷橋	カナヤハン	江刺	石山川島線	1973	82.9	6	II	防護欄のヒーム溶接部に腐食による破断が見られた。車両逸脱防止性能の低下となる恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.156111度	141.183055度
松ノ木橋	マツノキハン	江刺	田中落合西丸線	1972	71.5	6	II	音座部のモルタル充填不良による空洞は、支承の沈下に繋がる恐れがあるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.174156度	141.184535度
砂子田橋	スナゴダハン	江刺	野砂子田線	1971	27	5	II	主桁にひびわれが見られた。鉄筋の腐食に繋がる恐れがあるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.186944度	141.223888度
日照田橋	ヒロシタハン	江刺	原休日照田線	1971	20.5	4.5	II	音座部の空洞は、支承の沈下に繋がる恐れがあるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.181666度	141.231666度
中宿橋	ナカノシカハン	江刺	中宿小屋敷線	1981	20	2.7	II	床版間詰部につら状の遊離石灰および舗装全体にひびわれが見られた。床版の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.277222度	141.268333度
大名野橋	ダイモウノシハン	江刺	大名野線	1975	25.7	3	II	主桁に遊離石灰の析出を伴うひびわれが見られた。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.207500度	141.198611度
小屋敷橋	コヤシカハン	江刺	小屋敷線	1982	20.8	3.1	II	主桁に幅0.1mm～0.2mmの橋脚方向のひびわれが発生している。前回点検からの進展が確認され、横断全体に腐食が認められることから、PC鋼材の腐食が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.280000度	141.268170度
中野大橋	ナカノオハシ	江刺	中野苗代沢線	1992	44.9	8	II	橋台胸壁に格子状のひびわれが生じている。水の影響を受ける部位であり、進行性が見られるため、予防保全の観点から補修が必要である。	39.201111度	141.192777度
滝巻橋	タキマシハン	江刺	滝巻線	1981	20.4	4.5	II	間詰部床版に遊離石灰の析出及び舗装面にひびわれが認められることから、床版上面の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。		

道路橋名	アガナ	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効幅員 (m)	R5	所見等	緯度	経度
雲南橋	ウナンダハシ	江刺	寺田中央線	1972	22.7	4.1	II	剥離・鉄筋露出、遊離石灰の析出を伴うひびわれが見られた。予防保全の観点から措置を行うことが望ましい。	39.174722度	141.280000度
高根下橋	タカネジマシ	江刺	太田線	1992	22.2	3.5	II	蟻横柄に剥離が認められる。伸縮部からの漏水の影響によりコンクリート部材劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.115020度	141.231310度
小川端橋	オガワハシ	江刺	土尾枝線	1960	17.5	3	II	主桁端部に腐食が見られた。漏水の影響で進行しており、板厚減少が見られた。耐荷力の低下に繋がる恐れがあるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.225000度	141.263888度
土尾橋	ツチオハシ	江刺	土尾枝線	1982	23.7	3	II	主桁に局部的な剥離及び錆汁が認められる。鉄筋の腐食により耐荷力の低下が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.224830度	141.262010度
竹原田橋	タケハラダハシ	江刺	向井沢竹原田線	1993	17.6	5	I	工舗装面路肩及び排水管に土砂堆積が認められる。橋面排水が適切に行われず、道路利用者の安全性の低下が懸念されるため、維持事にて対応することが望ましい。	39.190820度	141.240820度
高間ヶ岡橋	タカマカガハシ	江刺	朝日野線	1983	43.6	4	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.20793度	141.21978度
1号橋	イチゴウキョウ	江刺	中屋敷中谷木線	1995	15.9	5	I	舗装面に段差が認められる。最大50mmであり、道路利用者の安全性の観点から維持事にて対応することが望ましい。	39.162380度	141.174250度
新角橋	シンカクハシ	江刺	西部開拓線	1989	28.8	5	II	床版に二方向のひびわれが認められる。ひびわれ幅が0.2mm～0.3mm程度で角落ちは認められないが、床版の桁端部では軸荷重の影響によりひびわれ拡大が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.261150度	141.264610度
日ノ神橋	ヒノカミハシ	江刺	八掛神明線	1995	23.7	3	II	地覆下面に剥離・鉄筋露出が認められる。損傷箇所は広範囲であり、漏水の影響により腐食の進行性は高まると考えられるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.281590度	141.267660度
藤原橋	フジワラハシ	江刺	中塚観音堂沖線	2001	61	16	II	主桁・横桁・下部構造に落書き、舗装に路面の凹凸、添築物に破損が見られるため、維持工事にて対応することが望ましい。	39.182777度	141.182777度
下町橋	シモマチハシ	江刺	中田線	2001	25.3	7	II	各コンクリート部材にひびわれが見られた。進行することにより鉄筋腐食の原因となる恐れがあるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.284066度	141.263697度
瀬谷子橋	セヤコハシ	江刺	山下田谷川線	1991	23.1	5	II	地覆下面に剥離・鉄筋露出が認められる。雨水が滞留しやすく劣化しやすい部位であることから、内部鉄筋の腐食が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.224960度	141.132630度
夢乃橋	ユメノハシ	江刺	館山向山線	1999	165	8.5	II	アーチ下ひびわれは鉄筋腐食の原因となる恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.196111度	141.184444度
大橋	オオハシ	江刺	根岸栄町線	1994	44	12.5	I	舗装に路面の凹凸が見られるため、予防保全の観点から維持工事にて対応することが望ましい。	39.189722度	141.180833度
豊田橋	トヨダハシ	江刺	餅田下惣田線	1996	72.6	16	I	橋道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.17830度	141.18413度
岩明橋	イワアカハシ	江刺	岩明御堂線	1996	35.2	4	II	主桁端部に緩やかな斜めひびわれ及びウェブと床版との接合部に水平方向のひびわれが認められる。また下部側面に広がるひびわれのあるコンクリートの劣化が認められることから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.175940度	141.247080度
御堂橋	ミツノハシ	江刺	沢田横断線	2000	35.3	5	I	軽微な損傷は認められるが局部的であり、他部材への影響がなく構造機能に支障が生じていない状態である。	39.177570度	141.285060度
沢田橋	サワダハシ	江刺	岩明久田線	1972	18.7	4.6	II	間詰床版部A2側部全てに漏水・遊離石灰が認められる。床版上面の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.178820度	141.289190度
大橋	オオハシ	江刺	藤渡戸線	2002	21	5	I	主桁及び床版は健全である。橋台に伸縮装置からの漏水による漏水・滞水が認められるが、他部材への影響は今のところ認められないことから、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。	39.286730度	141.262610度
鶴の木橋	ツルノキハシ	前沢	福養線	1963	40	3.6	II	床版に鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.02848度	141.12805度
五輪橋	ゴリンハシ	前沢	姉妹線	1995	36.4	9.2	II	橋脚に遊離石灰の析出を伴うひびわれが見られた。鉄筋腐食の原因となる恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.082253度	141.166898度
太郎ヶ沢6号橋	タロウガサワヅキョウ	前沢	太郎ヶ沢沢栄線	1961	17.6	7	III	RCT主桁下面に剥離・鉄筋露出が見られた。主鉄筋は腐食により鉄筋径が減少しており、耐荷力が低下する恐れがあるため早期に措置を講ずる必要がある。	39.044053度	141.116004度
下大袋橋	シモオオタカハシ	前沢	藤森大袋古線	2010	28.8	7	I	舗装面に局部的な陥没が認められる。道路利用者の安全性の観点から、維持工事にて対応することが望ましい。	39.055950度	141.084480度
阿部館橋	アベタテハシ	前沢	本杉水神野線	1983	42.1	7	II	橋脚にひびわれが見られた。伸縮部からの漏水により進行する恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.055971度	141.138276度
阿部館歩道橋	アベタテドコウキョウ	前沢	本杉水神野線	2003	41.6	3.5	II	床版張出部に見られた遊離石灰の析出を伴うひびわれは、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.055971度	141.138276度
前野橋	マエノハシ	前沢	赤面照井館線	1971	50	3.6	II	支承部および鋼管杭の頭部に腐食が見られた。伸縮部からの漏水により支承部および下部工の損傷が進行する恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.035151度	141.121906度
不動橋	フドウハシ	前沢	不動堀線	1990	31.1	6	I	舗装面路肩及び伸縮装置に土砂堆積が認められ、排水不良の起因となるため維持工事にて除去することが望ましい。	39.067650度	141.121590度
目呂木橋	メロギハシ	前沢	北久保安久沢線	1954	42.6	3.3	II	主桁に乾燥収縮によるひびわれが見られた。鉄筋腐食の原因となる恐れがあるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。橋脚柱部にうきが見られた。内部鉄筋が腐食している恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.054824度	141.142314度
源氏ヶ崎橋	ゲンジガサキハシ	前沢	天王谷起前沢下谷線	2004	51.2	3	II	パイロメント橋脚梁部及び柱部にひびわれが認められる。ひびわれ幅が広く、雨水の影響を直接受けやすいことから、耐荷力の低下が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.051610度	141.147470度
谷記田橋	ヤキタハシ	前沢	谷記田南降線	1986	40	3.6	I	各部材の損傷は軽微であり、道路橋の機能に支障が生じていない。	39.030555度	141.125833度
沼の沢橋	ヌマザワハシ	前沢	沼ノ沢線	1975	28.1	3	II	支承部のアンカーボルト定着不良、畜産部のモルタル充填不良による著しい空洞が見られた。地震時における安定性が低下しており、さらに支承の次下に繋がる恐れがあるため早期に措置を講ずることが望ましい。	39.046620度	141.096359度
内屋敷橋	ウチヤシキハシ	前沢	内屋敷線	1970	20.4	2.5	III	パイロメント橋脚梁部の凍害及び杭頭部の水平方向ひびわれ、遊離石灰の析出が見られた。進行により耐荷力が低下する恐れがあるため、早期に措置を講ずる必要がある。	39.076711度	141.168723度
河の畑橋	カノハタハシ	前沢	千刈田田島線	1984	38.2	4	II	耐候性鋼材の橋梁で全体的に防食機能の劣化が認められる。また床版端部に一方ひびわれが認められ、軸荷重によるひびわれの進展が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.062660度	141.126910度
川端橋	カワエハシ	前沢	綾織合子屋敷線	1994	35	5	II	橋面からの漏水による遊離石灰の析出が見られた。予防保全の観点から措置を行うことが望ましい。	39.083472度	141.165822度
箕輪橋	ミノハシ	前沢	苗圃線	1970	28.1	3.6	I	軽微な損傷であり、道路橋の機能に支障が生じていない。	39.052033度	141.091145度
本城寺坂橋	ホンジョウジサカハシ	前沢	本城寺坂徳線	1973	39.1	5	II	床版のひびわれおよび鉄筋露出は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.037244度	141.115825度
養々森踏道橋	ヨウヤモリドコウキョウ	前沢	藤森踏道線	1976	41.3	4.5	II	主桁下面の床版に鉄筋露出あり、床版部に植生繁茂、路面に土砂詰まりが見られる。	39.056518度	141.106102度
二の沢橋	ニノザワハシ	前沢	二ノ沢線	1970	20	3.4	II	パイロメント橋脚は橋脚補強工(モルタル充填工)が施工されている。柱部に縦方向のひびわれが見られた。内部鉄筋腐食の原因となるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.060944度	141.074006度
栗生沢橋	クリウザワハシ	前沢	下北上野横道後線	1998	23	7	II	A1及びA2橋台壁に鉛直方向のひびわれが認められる。幅が広く、伸縮部からの漏水の影響により進展の可能性が高まるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.090880度	141.125630度
上明後沢橋	カミミコサワハシ	前沢	下北上野横道後線	1999	21	7.5	I	舗装面路肩に土砂堆積が認められる。橋面排水が適切に行われず道路利用者の安全性の低下が懸念されるため、維持工事にて対応することが望ましい。	39.083120度	141.123060度
西館踏道橋	ニシダノドコウキョウ	前沢	西館2号線	2001	23.2	4	II	添築物にネジのゆるみが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.05502度	141.17560度
板子沢橋	イタコサワハシ	前沢	下北上野前沢赤坂線	1989	30	7	II	橋台壁のひびわれは前回点検からひびわれ幅が拡大しており、内部鉄筋の腐食に繋がる恐れがあるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.071388度	141.112500度
黒河橋	クロカハシ	前沢	真城堂上ノ台下线	1988	16.6	6	II	地覆下流側下面に剥離・鉄筋露出及びうきが広範囲に認められる。漏水の影響により鉄筋腐食の進行性は高まると考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.088270度	141.145570度
養々森橋	ヨウヤモリハシ	胆沢	道場下沢田線	1960	19.7	10.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.07750度	141.09306度
明神橋	ミヨウジンハシ	胆沢	明神川原北台線	1975	169	6.5	II	支承に腐食が見られた。伸縮部からの漏水・滞水により進行する恐れがあるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.134870度	141.034159度
大畑橋	オオハタハシ	胆沢	宇南田上中谷地線	1993	21.6	7	II	床版に遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.09414度	141.09873度
鞍骨橋	カサネハシ	胆沢	道場外浦線	2001	18.9	11.5	I	舗装面(車道部)に段差が認められ、道路利用者の安全性の低下が懸念されるため、維持工事にて対応することが望ましい。	39.082390度	141.079730度
下赤塚橋	シモアカサキハシ	胆沢	下大畑平前四ツ屋線	1983	20	7	II	橋台に乾燥収縮によるひびわれが見られた。予防保全の観点から措置を行うことが望ましい。	39.089166度	141.059722度
赤塚橋	アカサキハシ	胆沢	南大谷地二ノ台線	2001	16	8.3	II	車道部舗装面に亀甲状のひびわれやポットホールが認められる。またA1橋台背面ハラベット前面に40mmの段差が認められることから予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.092610度	141.055660度
上鹿合橋	カミシカアヘハシ	胆沢	上鹿合中沢線	1970	91	3.5	II	防護欄支柱に凍結膨張による欠損が見られた。車両逸脱防止性能低下となるため、利用者被害予防の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.125555度	140.970555度
狼ヶ志田橋	オウシタハシ	胆沢	森小新田線	1961	18	5.7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.08639度	141.06389度
後鞍骨2号橋	ウシタカサキニゴウキョウ	胆沢	八幡堂下鞍骨線	1959	21	2.2	III	主桁下面の凍害(剥離)によるPC鋼線の露出及び腐食が見られた。耐荷力低下の恐れがあるため早期に措置を講ずる必要がある。また、高欄に衝突による著しい欠損が見られた。車両の逸脱防止性能の低下となるため、利用者被害予防の観点から早期に措置を講ずることが望ましい。	39.080833度	141.081388度
下狼ヶ志田2号橋	シモオウシタニゴウキョウ	胆沢	上恩宿中嶋線	1959	17	3.2	II	主桁下面に遊離石灰の析出を伴うひびわれが見られた。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.084444度	141.073055度
市野々橋	イチノハシ	胆沢	市野々迎市野々線	1973	80	4	II	防護欄支柱に凍結膨張による欠損が見られた。車両逸脱防止性能低下となるため、利用者被害予防の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.118055度	140.946111度
大橋1号橋	オオハシ1ゴウキョウ	胆沢	佐布大橋線	1961	17.9	2	II	高欄と地覆に衝突による著しい変形・欠損が見られた。車両接触時の逸脱防止性能が失われているため、利用者被害予防の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.078611度	141.086666度
大歩橋	オオホハシ	胆沢	塚袋大歩線	1976	84	4.5	III	添築物(水道管)からの漏水により支承および主桁に著しい腐食が見られた。耐荷力低下の恐れがあるため、早期に措置を講ずる必要がある。	39.130000度	141.006111度
北赤塚1号橋	キタアカサキ1ゴウキョウ	胆沢	岩洞沢北赤塚線	1962	16	3	II	主桁下面の遊離石灰の析出を伴うひびわれはPC鋼線の腐食に繋がる恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.093333度	141.051944度
朴ノ木沢橋	ウツノキザワハシ	胆沢	上中沢萩屋敷線	1992	15	7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.10472度	141.04306度
鹿合橋	シカアヘハシ	胆沢	下鹿合愛宕線	1966	84	4.5	II	P2橋脚梁部に遊離石灰(錆汁を伴うひびわれ)が認められる。またA2橋台側壁に鉄筋膨張による断面欠損が確認された。水の供給によりコンクリート部材劣化の進行性が高まるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.129280度	140.985420度
白鳥大橋	シロトリオオハシ	胆沢	二ノ台長根大袋線	1998	125	8	I	橋道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.06851度	141.05184度
大橋	オオハシ	胆沢	小山田中外浦1号線	2001	16	6	II	A2橋台壁中央に鉛直方向のひびわれが認められる。また舗装面に亀甲状のひびわれ及び間詰床版部からの遊離石灰の析出が見られることから、床版上面の劣化が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.079180度	141.085120度
中嶋橋	ナカシマハシ	胆沢	上恩宿中嶋線	2001	16.4	7	II	A1及びA2橋台壁に鉛直方向のひびわれが認められる。幅が比較的に広く、広範囲に発生していることから予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.075890度	141.097830度
大沢橋	オオサワハシ	胆沢	原前観木平線	2001	60	9	II	橋台壁面にひびわれが見られた。前回点検からひびわれ幅が拡大しており、内部鉄筋の腐食に繋がる恐れがあるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.075277度	140.861666度
小白沢橋	コホサワハシ	胆沢	原前観木平線	2000	38	9	III	支承部にサイドプレートと上管プレートの接触、亀裂およびセットボルトの破損が見られた。構造機能の低下が見られるため、早期に措置を講ずる必要がある。	39.072500度	140.863055度
西前川橋	ニシマエカハシ	胆沢	原前観木平線	1999	100	9	II	橋脚梁部に遊離石灰の析出を伴うひびわれが見られた。スラブレッド(床版排水)からの漏水により進行する恐れがあるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.053333度	140.854444度
小アキトリ沢橋	コアキトリザワハシ	胆沢	原前観木平線	1999	94	9	II	下部工および床版張出部にひびわれが見られた。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.045277度	140.852500度
佐布橋	サボハシ	胆沢	小山田中外浦2号線	2002	16	6	II	床版の打継目に遊離石灰の析出が認められる。また舗装面に亀甲状のひびわれが見られることから、床版上面の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.078830度	141.089320度
狐森橋	キツネモリハシ	胆沢	長根竹地子線	2002	16	5	I	舗装面路肩に土砂堆積が認められ、排水不良の起因となるため維持工事にて対応することが望ましい。	39.083470度	141.075990度
開袋橋	キライハシ	衣川	古戸大森2号線	1962	50	5.6	I	舗装に路面の凹凸が見られるため、予防保全の観点から維持工事にて対応することが望ましい。	39.040277度	141.057222度
富沢橋	トヨザワハシ	衣川	古戸大森2号線	2002	60	7	I	舗装に舗装の異常、排水側に土砂詰まりが見られる。維持工事での対応が必要である。	39.042777度	141.050277度
豊巻橋	トヨマキハシ	衣川	大西岩ノ上線	1996	103	9.6	II	主桁下面および端部の側面にひびわれが見られた。一部遊離石灰の析出が見られ内部PCケーブルに影響を及ぼす恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.030833度	141.069444度
西窪橋	ニシクボハシ	衣川	西部横断1号線	1971	25	6.1	II	主桁および横柄に剥離・鉄筋露出が見られた。一部腐食による鉄筋径の減少が見られるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.078055度	141.001944度
川西橋	カニシハシ	衣川	徳沢増味2号線	1996	150	9.3	II	床版に遊離石灰の析出を伴うひびわれが見られた。内部鉄筋の腐食に繋がる恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.016666度	141.089722度
南股橋	ミナマダハシ	衣川	川内増味線	1978	74	5.5	II	主桁下面に剥離およびPCケーブルのシース露出が見られた。シースに腐食が見られたため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.010000度	141.026388度
増沢向橋	マサワカハシ	衣川	増沢向線	1968	35	3	II	主桁端部に腐食が見られた。伸縮部からの漏水により進行する恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.095000度	140.958333度
土屋橋	ツチヤハシ	衣川	土屋線	1957	81	6.5	II	主桁にひびわれが見られた。局部的であるが内部PCケーブルに影響を及ぼす恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.025000度	141.075833度
天土橋	アマチハシ	衣川	天土線	1954	36	2.7	IV	A1橋台の変形・欠損、P		

道路橋名	アカナ	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効幅員 (m)	R5	所見等	緯度	経度
増沢橋	マサザワハシ	衣川	増沢高堂線	1959	38	3.6	III	主桁に剥離・鉄筋露出が見られた。腐食により鉄筋径が減少しており耐力の低下が懸念されるため、早期に措置を講ずる必要がある。	39.101388度	140.957222度
桑畑橋	クワタハシ	衣川	桑畑線	1986	50	5.2	II	A1橋台カルバート部に格子状ひびわれが見られた。ひびわれ幅は最大0.45mmであり内部鉄筋の腐食に繋がる恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.068055度	141.025555度
夏梨橋	ナツナハシ	衣川	夏梨1号線	1996	46	5	I	舗装面に段差が認められる。道路利用者の安全性の観点から、維持工事にて対応することが望ましい。	39.025750度	141.046780度
月山橋	カツサンハシ	衣川	月山線	1975	61	5	II	容座部にモルタル充填不良による空洞が見られた。支承の安定性低下の恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.009166度	141.088611度
徳沢橋	トクザワハシ	衣川	徳沢増味1号線	1983	18	5.5	II	橋台にひびわれが見られた。伸縮部からの漏水により進行する恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.028333度	141.103888度
青ヶ沢橋	アオサザワハシ	衣川	夏梨1号線	1978	45	5	II	ラーメン橋脚の支承部に腐食による断面減少が見られた。腐食の進行により支承の機能低下に繋がる恐れがあるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.021666度	141.043055度
瀬河橋	デンガハシ	衣川	瀬河線	1975	42	5	I	損傷は局部的かつ軽微であり道路橋の機能に支障が生じていない。	39.058888度	141.034722度
辰巳沢橋	タメザワハシ	衣川	中屋敷大森線	1996	66	5	II	橋台壁面に遊離石灰の析出を伴うひびわれが見られた。伸縮部からの漏水により進行する可能性があるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.065277度	141.011944度
楢原橋	ナラハシ	衣川	楢原野崎線	1964	25	3.6	III	鉄筋露出部は腐食による膨張を生じている為、速やかに補修する必要がある。	39.000555度	140.987222度
小成沢新橋	コナリザワハシ	衣川	月山線	1975	15	6	II	頂版支間中央部にひびわれが認められる。また舗装面に劣化が確認されることから、床版上面の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.011110度	141.087330度
上島橋	カシマハシ	水沢	台町阿久戸上島線	1968	50	4.2	III	容座部モルタルの著しい欠損による支承の沈下が見られた。鉛直力支持機能が低下しているため、早期に措置を講ずる必要がある。	39.111111度	141.087222度
鹿野坂橋	カノカハシ	水沢	門下熊ヶ坂線	1971	21	4	II	容座部の一部にモルタル充填不足による空洞が見られた。支承部の安定性低下に繋がる恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.121111度	141.206111度
おとめばし	オトハシ	水沢	中町多賀線	1973	20.2	12	II	主桁にひびわれ、床版に遊離石灰、排水管に土砂詰まりが見られる。	39.145000度	141.145555度
長面橋	ナガオモハシ	水沢	寺ノ西谷地田線	1963	15	4	II	柱部にかぶり不足による剥離・鉄筋露出が見られた。部分的であるが腐食の進行により断面減少に繋がる恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.113611度	141.164722度
上野4号橋	ウノヨシコウハシ	水沢	天神林山居線	1959	15	3.9	II	パイルベント橋脚にひびわれが見られた。内部鉄筋の腐食に繋がる恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.096111度	141.174444度
向田橋	ムカイダハシ	水沢	門下向田線	1999	32	5	II	主桁端部に緩やかな斜めひびわれ及びうきが見られる。主桁上方は雨水や凍結防止剤等の影響で発生しやすい環境にあり、湿気がこもりがちであるため進行性は高いと考えられ、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.120940度	141.211510度
一本木大橋	イツクノキオオハシ	水沢	節町石田線	1977	24.4	7.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.161111度	141.111666度
造道橋	ツクリチハシ	水沢	節町石田線	1975	21.7	7.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.152500度	141.113333度
姉体南橋	アネタミナハシ	水沢	吹張土手前線	1966	101	3.4	III	橋脚基礎に洗掘が見られた。基礎本体は摩耗により欠損していることから耐力の低下が懸念されるため、早期に措置を講ずる必要がある。	39.084444度	141.180000度
塔の本橋	トウノモトハシ	水沢	瀬野高根線	1970	16	6.5	II	間詰め床版に遊離石灰が見られる。	39.091111度	141.158333度
山の神橋	ヤマノカミハシ	水沢	洗田水無沢線	1985	20	5	II	主桁下面及び下流側地覆面に鉄筋露出が認められる。雨水の影響を受けやすく鉄筋腐食が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.134660度	141.203110度
十文字橋	ジュウモンジハシ	水沢	和黒田助線	1997	21	16.5	II	橋台に乾燥収縮によるひびわれが見られた。予防保全の観点から措置を行うことが望ましい。	39.135000度	141.196111度
鶴城橋	ツルキハシ	水沢	鶴城2号線	1982	16	2.3	II	主桁端部に板厚減少を伴う腐食が認められる。またA1橋台背面から土砂流出が確認され、雨水等の影響により木材劣化の進行性が高まるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.090460度	141.191570度
遼野橋	ウレイハシ	水沢	長根山内2号線	1977	16	5.2	II	G1及びG6主桁と水切り部との境目に定着プレート下端が確認され、A2橋台胸壁に剥離・鉄筋露出が広範囲に認められる。またアンカー保護管の腐食に伴い、今後アンカーバーの腐食に繋がる可能性が考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.086910度	141.198440度
弥生橋	ヤヨイハシ	水沢	十文字秋成線	1988	16.1	25	I	A2橋台壁面にひびわれ、支承部本体に亀裂、排水管に腐食、変形・欠損が見られる。	39.14556度	141.1550度
鳩籠1号橋	トビコロゴウハシ	水沢	鳩籠梨田川線	1988	15	6.5	II	A1及びA2橋台にひびわれが認められる。伸縮装置周辺及び舗装面にひびわれが多数確認され、輪荷重の影響により進行性が高まる可能性が考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.153560度	141.152480度
五反町1号橋	イタノマチイチゴウハシ	水沢	鍛田多賀線	1989	15.2	15.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.152222度	141.148333度
慶徳橋	ケイトクハシ	水沢	川原田東広町線	1992	29	20	II	前田点検以降に補修が行われている。橋台にひびわれが見られるが、部分的であり道路橋の機能に支障が生じていない。	39.144444度	141.151111度
中の橋	ナカノハシ	水沢	洗田水無沢1号線	1987	21	5	II	主桁に局部的な鉄筋露出及び錆汁が認められる。また間詰め床版部に遊離石灰の析出が確認された。舗装面にひびわれが発生していることから、床版上面の劣化が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.135510度	141.198690度
常盤橋	トキハシ	水沢	十文字秋成線	1994	15.3	12.4	II	A1A2橋台壁面にひびわれ、舗装に路面の凹凸が見られる。	39.15389度	141.15361度
富田橋	トミダハシ	水沢	光大寺諸性線	1995	19	2.9	II	間詰め床版部に遊離石灰の析出が認められる。舗装面にひびわれが発生していることから、床版上面の劣化が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.174920度	141.120280度
川淵2号橋	カワブチニコウハシ	水沢	東バイパス側道6号線	2001	16	4	I	舗装面に局部的な段差が認められる。道路利用者の安全性の低下が懸念されるため、維持工事にて対応することが望ましい。	39.145940度	141.162980度
広野橋	ヒロノハシ	江刺	広野新地野線	2006	16	5.1	I	舗装面に局部的な段差が認められる。道路利用者の安全性の低下が懸念されるため、維持工事にて対応することが望ましい。	39.260850度	141.252650度
舟場橋	フナバシ	衣川	桑畑線	1993	61.3	5	II	橋脚梁部に遊離石灰の析出を伴うひびわれが見られた。伸縮部からの漏水により進行する可能性があるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.070555度	141.016666度
下河内橋	シモカウチハシ	衣川	夏梨2号線	1995	38	5	II	主桁側面にひびわれが見られた。内部PCケーブルに影響を及ぼす恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.014166度	141.034722度
羽衣橋	ハノロモハシ	衣川	長袋線	1995	30	5.6	II	主桁側面に遊離石灰の析出を伴うひびわれが見られた。ひびわれ幅は最大0.5mmと大きく内部PCケーブルの腐食に繋がる恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.082500度	140.991944度
金龍橋	キンリウハシ	衣川	十一ヶ鉾滝の沢線	1998	183	8	I	橋道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.05075度	141.04192度
本巻橋	トキマキハシ	衣川	十一ヶ鉾滝の沢線	2002	105	8	I	橋道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.01891度	141.02318度
河内橋	カウチハシ	衣川	十一ヶ鉾滝の沢線	2000	140	8	II	床版張出部に遊離石灰の析出を伴うひびわれが見られた。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.010833度	141.027777度
重任橋	シゲトクハシ	衣川	平六道線	1999	104	7	II	床版張出部に遊離石灰の析出を伴うひびわれが見られた。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.027500度	141.073055度
中屋敷橋	ナカヤシカハシ	江刺	中屋敷線	不明	18.4	5	I	舗装面に段差及び路肩に土砂堆積が認められる。橋面排水が適切に行われず、道路利用者の安全性の低下が懸念されるため、維持工事にて対応することが望ましい。	39.207750度	141.349610度
落合橋	オチアイハシ	江刺	松館線	2011	18.3	5	II	主桁下面に鉄筋露出が認められる。水の供給により内部鉄筋が錆びコンクリート部材の劣化の進展が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.257050度	141.192170度
樹形橋	マツダハシ	衣川	陣場線	1977	66	6	II	主桁に補修材のうき(補修・補強材の損傷)、P2橋脚に軽微なひびわれ、防護柵内側に剥離が確認された。道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から断面修復工、ひびわれ補修工などの措置を講ずることが望ましい。	39.019167度	141.103333度
日向橋	ヒナハシ	衣川	陣場線	1989	16	9.8	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.02436度	141.09674度
十一ヶ鉾橋	ジュウイチカマハシ	衣川	長根外ノ沢線	1999	67.6	6	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.06293度	141.04940度
板谷橋	イタヤハシ	水沢	板谷線	1977	60	12.1	II	橋面から雨水等が侵入し、主版下面にエフロレッサ(白華・柱状)を確認。支承の腐食も激しく、早期に措置を講ずべき状態。	39.134444度	141.119722度
見分森橋	ミワケモリハシ	水沢	見分森線	1976	65	12	II	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。橋面から雨水等が侵入しており、支承の腐食も激しい。	39.124444度	141.118611度
折居館橋	オリダマハシ	水沢	折居館線	1976	63	8.4	II	主桁下面ははく離箇所鉄筋露出あり、橋台にひびわれ、支承部本体の腐食及び保護モルタルの損傷、排水管の取付金具に腐食及び破断が見られる。	39.106666度	141.119166度
宮沢橋	ミヤザハシ	水沢	宮沢本線	1976	63	7.5	II	橋台にひび割れあり、支承部本体の腐食及び保護モルタルの損傷、排水管の取付金具に腐食及び破断が見られる。	39.100555度	141.116666度
多賀大橋	タガオオハシ	水沢	鍛田多賀線	1990	199	16	II	床版に遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.15214度	141.14540度
真城大橋	マシジョウオオハシ	水沢	山居折居町線	2004	229.7	12.5	III	落橋防止システムに鉄筋露出が見られる。早期に措置を講ずるべき状態。	39.09888度	141.14424度
下大森橋	シモオオモリハシ	衣川	古戸大森2号線	1965	8.1	3.8	II	橋台壁面に漏水・遊離石灰を伴う水平方向のひびわれが見られる。錆汁が見られることから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.046944度	141.017222度
上大森橋	カミオオモリハシ	衣川	古戸大森2号線	不明	13.6	15	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.046667度	141.015000度
かけはし	カケハシ	衣川	陣場線	1974	5.5	10.1	II	床版に剥離・鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から、措置を講ずることが望ましい。	39.017169度	141.108778度
馬懸橋	ウマケハシ	衣川	十一ヶ鉾線	不明	3.5	3.9	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.04674度	141.05481度
増味橋	ゾウシハシ	衣川	増味東線	不明	4	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.99601度	141.02249度
滝ノ沢2号橋	タキノサワニコウハシ	衣川	徳沢増味2号線	不明	2.3	5.7	II	頂版及びA1側壁に幅50mm程度のひびわれが認められる。また1スパン(中央)の移動・傾斜が確認された。輪荷重のかからない箇所にはひびわれが発生しているが、幅が広いことから予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.007330度	141.050600度
小成沢橋	コナリザワハシ	衣川	山口線	1966	12.2	4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.01154度	141.08725度
安寺沢橋	アサザハシ	衣川	山口線	不明	14.3	4	II	頂版に凍害が原因と思われる剥離・鉄筋露出が見られる。進行は見られないが、損傷が進行する前に補修することが望ましい。	39.005000度	141.086944度
上川原橋	カミカワハシ	江刺	久保枝線	1974	14.5	3.6	II	桁間の間詰め部に遊離石灰の析出がみられる。部分的に錆汁の析出がみられる。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.16089度	141.32752度
横津葉橋	ヨコヅハシ	江刺	火石線	1980	14.5	6.5	III	橋座から壁壁にかけて著しいコンクリート欠損、腐食した鉄筋露出がみられる。劣化の進展もみられ、早期の対策を講じるのが望ましい。	39.19092度	141.34981度
浅井橋	アサイハシ	江刺	藤里口内線	1976	8.3	7	II	間詰め床版に遊離石灰の析出及び欠損が認められる。舗装の劣化も認められることから予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.192920度	141.245530度
六石刈田橋	ロウシキリダハシ	江刺	藤里口内線	1977	10.4	7.1	II	主桁に剥離・鉄筋露出が多数認められ、一部ではPC鋼線の露出が確認された。防水工の未設置により、間詰め床版に遊離石灰の析出が広範囲に認められ、構造機能に支障が生じる可能性があるため、早期に措置を行うことが望ましい。	39.212950度	141.242780度
青森橋	アヲサハシ	江刺	藤里口内線	不明	5.3	10.5	II	車道部及び歩道部舗装面に横断方向ひびわれが認められる。桁間・間詰め床版に漏水・滞水が認められることからコンクリート部材劣化の原因となり得るため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.229240度	141.244550度
谷地田橋	ヤチダハシ	江刺	藤里口内線	1977	6.3	7.6	I	舗装面路肩に土砂堆積が認められる。橋面排水が適切に行われず、大きな滞水が生じ、道路利用者の安全性の低下が懸念されるため維持工事にて対応することが望ましい。	39.245440度	141.240880度
川島橋	カワシマハシ	江刺	石山川島線	1952	9.4	3	II	桁間の間詰め部に錆汁を伴った遊離石灰が析出している。前田点検からの進展が見られ、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい状態である。	39.15263度	141.17202度
長倉前橋	ナガクラマエハシ	江刺	白岩第2線	1973	5.3	6.5	II	A2橋台壁面に伸縮装置からの漏水が要因と思われる、漏水・滞水が見られる。漏水の影響により損傷の進行性は高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.216388度	141.274166度
宝祿排水路3号橋	タカラ排水路3号橋	江刺	百連寺島角線	1974	6	4.2	III	A1、A2橋台壁面に変形・欠損が見られる。	39.19638度	141.15582度
中島排水路3号橋	ナカシマ排水路3号橋	江刺	百連寺島角線	1979	6.3	5	III	床版の後打ち部(隅切り部下部)に鉄筋露出がみられる。前田点検からの進展もみられ、輪荷重のかかる位置でもあるため、早期の対策が望ましい状態。	39.19711度	141.14594度
耕田堰用水路5号橋	コウダエノミヅノウチ5号橋	江刺	田中落合西丸線	1972	2.2	4	II	橋脚の目地に漏水・滞水及び目地材の欠損が認められる。目地部からの漏水は継続的で、コンクリート部材劣化の進行を高めるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.175030度	141.192190度
鶴倉排水路2号橋	ツルクラ排水路2号橋	江刺	田中落合西丸線	1998	8.1	5.4	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.17472度	141.18861度
鶴倉排水路6号橋	ツルクラ排水路6号橋	江刺	力石御免線	1980	7.3	6.5	II	壁壁及び支承本体に漏水・滞水、舗装にひびわれがみられる。漏水による損傷範囲が広いことから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.163055度	141.187777度
耕田堰用水路2号橋	コウダエノミヅノウチ2号橋	江刺	力石御免線	1967	2.9	7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.160833度	141.196388度
町浦排水路6号橋	チノウ排水路6号橋	江刺	金華山百連寺駒込線	1952	2.7	4	II	頂版に剥離・鉄筋露出が認められる。また、路面に亀甲状のひびわれが発生していることから、頂版上面の劣化が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.189200度	141.174380度
八日市排水路5号橋	ヤチノミヅ排水路5号橋	江刺	金華山百連寺駒込線	1978	2.7	4	II	上・下流側面に鉄筋露出が認められる。また路面にひびわれ及び段差が見られることから予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.189840度	141.171090度
宝祿排水路2号橋	タカラ排水路2号橋	江刺	金華山百連寺駒込線	1974	6.05	6.5	II	張出床版の端部に鉄筋露出がみられる。付近に伸縮装置からの漏水が見られ、劣化が進展しやすい。予防保全の観点から対策が望ましい状態である。	39.19451度	141.15656度
二本木用水路4号橋	イツクノキ用水路4号橋	江刺	八日市馬場先西下川原線	1979	3.4	8.2	III	主桁全体的に広がりある腐食が認められる。また橋台壁面に鉛直方向のひびわれ及び剥離、うきを確認された。ひびわれ幅が広く、構造の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態である。	39.188280度	141.163660度
二本木用水路3号橋	イツクノキ用水路3号橋	江刺	八日市馬場先西下川原線	1979	4.2	5.6	II	主桁に剥離・鉄筋露出、A1A2橋台壁面に欠損、舗装に土砂詰まりが見られる		

道路橋名	アカナ	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R5	所見等	緯度	経度
八日市橋	ヨカイチハシ	江刺	桜木橋大通線	1987	6.3	10.3	II	橋台に伸縮装置からの漏水が要因と思われる遊離石灰が見られる。損傷範囲が広いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.187222度	141.171111度
町浦排水路10号橋	マチウラハイスイロコウキョウ	江刺	桜木橋大通線	不明	2.9	7.4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.188888度	141.174166度
竹洞橋	タケアナシ	江刺	竹洞浅倉線	1980	12	4.1	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.19131度	141.23327度
穴沢橋	アナザワシ	江刺	竹洞浅倉線	1979	5.3	5.6	II	変状の進展性が見られることから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましいと判断し、健全度「II」と判定した。	39.19515度	141.24924度
前村橋	マエムラシ	江刺	竹洞浅倉線	1979	5.45	5.6	II	床版コンクリートの内部に遷移目地材(エラストイト)が混入し、コンクリートが剥落している。予防保全の観点から対策が望ましい状態。	39.19246度	141.25441度
中堰橋	ナカセキハシ	江刺	玉里藤里線	1980	2.9	6	II	主桁に剥離・鉄筋露出、舗装に土砂詰まりが見られる。	39.22672度	141.25463度
下中島橋	シモナカジマシ	江刺	人首街道線	1980	3.6	6	II	頂版に局部的な剥離・鉄筋露出が認められる。また舗装面に亀甲状のひびわれが認められることから頂版上面の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.216180度	141.216080度
信行寺橋	シンギョウジハシ	江刺	人首街道線	1982	5.5	7.1	II	桁橋部の床版に遊離石灰を伴ったひびわれがみられる。新規変状も生じており、今後の劣化進展に注意が必要である。予防保全対策が望ましい。	39.21512度	141.22549度
帯坂橋	オビザカハシ	江刺	人首街道線	1972	12.2	3	II	橋台壁の角部にコンクリート欠損が見られる。桁かかり長にも影響が生じる可能性があり、予防保全の観点から対策を講ずることが望ましい状態。	39.21709度	141.27651度
宇南橋	ウナンハシ	江刺	菅生大谷地線	1980	3.2	5	II	側壁に埋めコンクリート部に鉄筋露出及びひびき、局部的な遊離石灰の析出が認められる。漏水による鉄筋腐食の進行が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.248830度	141.270970度
菅生橋	スゴハシ	江刺	菅生砂子沢線	1975	6.3	6.5	III	桁間の間詰部に遊離石灰、錆汁の析出が見られる。PC桁に影響を及ぼす可能性があるため、早期に措置を講ずるべき状態。	39.24751度	141.26618度
樽和川第4号橋	ウルカワダイ4コウキョウ	江刺	宮田牛沢線	1983	4	7.1	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.23965度	141.20535度
樽和川第3号橋	ウルカワダイ3コウキョウ	江刺	宮田牛沢線	1983	4	7	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.23958度	141.20718度
樽和川第2号橋	ウルカワダイ2コウキョウ	江刺	宮田牛沢線	1983	4	6.9	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.23844度	141.21031度
樽和川第1号橋	ウルカワダイ1コウキョウ	江刺	宮田牛沢線	1983	4	8.2	II	A2橋台壁面にひびわれ、舗装に土砂詰まりが見られる。	39.23751度	141.21052度
下谷地田橋	シモヤチカハシ	江刺	大尻鴨ヶ崎線	1976	11	5.6	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。つらら状に進展している箇所もあるため、予防保全の観点から対策を講ずることが望ましい状態。	39.24867度	141.22843度
宝祿排水路1号橋	ホウロクハイスイロコウキョウ	江刺	関根百連寺橋渡線	不明	6	4.3	II	主桁に剥離・鉄筋露出、A1橋台基礎部(バイルベント)に移動・傾斜が見られる。	39.19293度	141.15761度
江刺幹線用水路18号橋	エサカシケンセンヨウスイロ18コウキョウ	江刺	百連寺瀬谷子線	1975	6	3.9	II	主桁、床版に腐食が見えらる。	39.218056度	141.13472度
江刺幹線用水路19号橋	エサカシケンセンヨウスイロ19コウキョウ	江刺	百連寺瀬谷子線	1975	3.5	2.6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.22056度	141.13222度
宇津良橋	ウツラハシ	江刺	火石線	不明	7.3	7.5	II	橋台の角部に凍害によるコンクリート欠損が見られる。構造上重要な箇所であり、予防保全の観点から対策を講ずることが望ましい状態。	39.18663度	141.30388度
上根津葉橋	カネツバハシ	江刺	火石線	不明	2.3	6.5	II	頂版の1スパンのみに幅0.05mm程度のひびわれが認められる。ボックス全体が湿地状態であることから進行性は高いと考えられ、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.190440度	141.347890度
小高橋	コガハシ	江刺	反町前広田線	1995	3.9	4.2	II	頂版に局部的な鉄筋露出及び漏水が認められる。雨水の影響により腐食の進行が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.159330度	141.186270度
鍋倉排水路4号橋	ナベクラハイスイロ4コウキョウ	江刺	反町前広田線	1996	5.5	7	II	頂版に幅0.1mm～0.2mm程度のひびわれが認められる。漏水の影響は見られないが、ひびわれが広範囲に見られることから予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.166430度	141.190230度
餅田堰用水路6号橋	モチタセキヨウスイロ6コウキョウ	江刺	餅田下惣田線	1996	3.2	17.7	I	歩道路面に路面の凹凸及びひびわれが認められる。最大60mm程度の段差があり、道路利用者の安全性の観点から維持工事にて対応することが望ましい。	39.179170度	141.190560度
栄町下水路4号橋	江刺	餅田下惣田線	1999	2.3	16	I	頂版に局部的な遊離石灰・遊離石灰及び側壁に軽微な遊離石灰を伴うひびわれが認められる。軽微であり構造機能に支障が生じていない状態である。	39.178890度	141.188060度	
八日市排水路7号橋	ヨカイチハイスイロ7コウキョウ	江刺	中町小境線	1978	3.2	16	II	頂版に剥離・鉄筋露出、舗装に段差120mmの路面の凹凸がみられる。予防保全の観点から速やかに補修等を行うことが望ましい。	39.192500度	141.171111度
町浦排水路4号橋	マチウラハイスイロ4コウキョウ	江刺	八日市線	1952	2.9	5.4	I	頂版に局部的な漏水・漏水、地覆に軽微なひびわれが認められるもの、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。	39.186250度	141.175610度
八日市排水路4号橋	ヨカイチハイスイロ4コウキョウ	江刺	八日市線	1952	3.2	5.2	II	頂版支間中央に広がりのあるひびわれが認められる。幅0.2mm程度であるが、輸荷重等により進行性が高くなると考えられるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.186360度	141.170900度
餅田堰用水路7号橋	モチタセキヨウスイロ7コウキョウ	江刺	栄町橋2号線	1971	2.2	3.7	II	側面縦目部に遊離石灰の析出が認められる。また翼壁に遊離石灰を伴うひびわれが発生している。雨水の影響を受けやすく、コンクリート部材劣化が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.185920度	141.187630度
餅田堰用水路9号橋	モチタセキヨウスイロ9コウキョウ	江刺	百ノ口住宅線	1971	2	4.8	II	頂版に局部的な遊離石灰が認められる。また舗装面に亀甲状のひびわれが広範囲に発生していることから、頂版上面の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.185920度	141.187630度
江刺幹線用水路1号橋	エサカシケンセンヨウスイロ1コウキョウ	江刺	男石線	1978	4.6	3.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.19750度	141.17556度
江刺幹線用水路5号橋	エサカシケンセンヨウスイロ5コウキョウ	江刺	根岸線	1974	2.4	4.2	II	頂版に局部的な剥離・鉄筋露出が認められる。また防護欄ビームの設置不良が認められ、免脱機能の低下が懸念されることから、道路利用者の安全性の観点から部材の取替え等の補修を行うことが望ましい。	39.203930度	141.163910度
餅田堰用水路8号橋	モチタセキヨウスイロ8コウキョウ	江刺	栄町支線5号線	1971	2.2	7	II	頂版目地部から著しい漏水・漏水が認められる。舗装面広範囲にひびわれが発生していることから、頂版上面の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.186670度	141.186340度
餅田堰用水路4号橋	モチタセキヨウスイロ4コウキョウ	江刺	餅田橋本線	1996	2.4	5	II	頂版の目地部に漏水・漏水が認められる。目地部からの漏水は継続的で進行性が高いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.172920度	141.192940度
鍋倉排水路3号橋	ナベクラハイスイロ3コウキョウ	江刺	餅田橋本線	1998	8.1	5.4	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.17250度	141.18917度
苗代沢川2号橋	ナノロウガワ2コウキョウ	江刺	旧原体線	不明	3.5	5.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.17944度	141.19250度
柳沢川2号橋	ヤナギザワガワ2コウキョウ	江刺	前田町雲南田線	1960	2.2	7	II	頂版の目地部に漏水・遊離石灰が認められる。目地部からの漏水は継続的で進行性が高いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.211390度	141.195310度
苗代沢川4号橋	ナノロウガワ4コウキョウ	江刺	苗代沢南循環線	1967	3.1	5.5	II	頂版及び側壁目地部に剥離が認められる。漏水の影響によりコンクリート部材劣化の進行性が高まるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.184940度	141.201440度
江刺幹線用水路4号橋	エサカシケンセンヨウスイロ4コウキョウ	江刺	地蔵尊根岸線	1977	2.7	4.3	II	頂版に剥離・鉄筋露出及び漏水・漏水が認められる。漏水の影響によりコンクリート部材劣化の進行性は高くなると考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.202090度	141.185380度
鍋倉排水路1号橋	ナベクラハイスイロ1コウキョウ	江刺	中堰田中線	不明	2.7	5.3	II	頂版(拡張打継ぎ目)に剥離及びひびきが生じている。目地部からの漏水は継続的で進行性が高く、コンクリート部材劣化の進行を抑制するため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.177860度	141.189660度
柳沢川1号橋	ヤナギザワガワ1コウキョウ	江刺	中野中央線	1960	3	6.8	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.20714度	141.19697度
町浦排水路5号橋	マチウラハイスイロ5コウキョウ	江刺	八日町団地北線	1970	4.2	8.5	II	主桁に鉄筋露出、舗装に異常が見られる。	39.18778度	141.17503度
江刺幹線用水路3号橋	エサカシケンセンヨウスイロ3コウキョウ	江刺	川原崎線	1978	2.5	3	II	頂版に遊離石灰を伴うひびわれ及び目地材の欠損が認められる。漏水の影響によりコンクリート部材の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.203120度	141.168680度
天宗寺前橋	テンソウジマエハシ	江刺	前田町枝線	不明	4.4	3.1	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.20167度	141.18611度
片岡用水路2号橋	カタオカヨウスイロ2コウキョウ	江刺	内ノ町枝線	1973	2.5	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.203055度	141.161111度
八日市排水路9号橋	ヨカイチハイスイロ9コウキョウ	江刺	ほ場3号線	1989	6	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.19639度	141.17083度
白欠橋	シラケハシ	江刺	清衛公園線	不明	2.2	10	II	頂版支間部に幅0.15mm～0.2mm程度のひびわれが認められる。また吊り目に金具の残存が確認され、上面からの漏水の影響により鉄筋が腐食し遊離石灰(錆汁)の析出が発生している。漏水は継続的で腐食の進行性は高くなると考えられ、コンクリート部材劣化に繋がるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.199360度	141.191670度
かたおか橋	カタオカハシ	江刺	根岸栄町線	1972	5.4	10.2	II	高欄・防護欄、支柱部分に欠損、伸縮装置に遊離石灰の異常が見られる。遊離石灰は21mmあり、交通障害または道路利用者への被害が懸念されるため、速やかに補修することが望ましい。	39.200833度	141.165277度
片岡用水路1号橋	カタオカヨウスイロ1コウキョウ	江刺	内ノ町2号線	1973	2.5	5	II	支承部に車両等の往来による衝撃と見られる損傷があった。状況に応じて補修を行うことが望ましい。	39.204166度	141.160833度
古川排水路2号橋	フルカハイスイロ2コウキョウ	江刺	海老島線	1984	11.5	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.16870度	141.17351度
古川排水路6号橋	フルカハイスイロ6コウキョウ	江刺	落合後中野線	1984	10.2	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.17461度	141.16769度
カ石排水路2号橋	カシハイスイロ2コウキョウ	江刺	カ石島線	1972	2.7	3	II	頂版下流側に雨水による局所的な欠損及び漏水が認められる。放置するとコンクリート部材の損傷を助長する要因となるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.152690度	141.179250度
カ石排水路4号橋	カシハイスイロ4コウキョウ	江刺	土花枝線	1979	2.7	4	II	頂版及び側壁にかぶり不足による剥離・鉄筋露出が認められる。漏水の影響によりコンクリート部材劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.151860度	141.178890度
カ石排水路1号橋	カシハイスイロ1コウキョウ	江刺	下川原島線	1979	4.5	5.1	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.14778度	141.17778度
八日市排水路2号橋	ヨカイチハイスイロ2コウキョウ	江刺	中道線	1987	4.4	4.6	II	頂版支間中央に広がりのあるひびわれが認められる。変状の進展により耐久性の低下が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.181190度	141.164810度
八日市排水路1号橋	ヨカイチハイスイロ1コウキョウ	江刺	上戸観音堂沖線	1986	2.7	4.1	I	舗装面路肩に土砂堆積が見られることから通行の妨げになり、道路利用者の安全性の低下が懸念されるため、維持工事にて対応する必要がある。	39.179420度	141.164700度
八日市排水路3号橋	ヨカイチハイスイロ3コウキョウ	江刺	八日市観音堂沖線	1978	4.3	5.7	II	頂版及び側壁目地部からの漏水・遊離石灰の析出が認められる。舗装面に亀甲状のひびわれが発生していることから、頂版上面の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.182720度	141.165280度
天神堂小橋	テンジンドウコハシ	江刺	下川原別当線	1981	3.2	3	II	側壁にひびわれが認められる。また舗装面に舗装の異常が見られることから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.179580度	141.151500度
中島排水路1号橋	ナカジマハイスイロ1コウキョウ	江刺	北天間沼の上線	1979	7.3	6.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.19204度	141.14548度
中島排水路5号橋	ナカジマハイスイロ5コウキョウ	江刺	北天間沼の上線	1979	5.3	6.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.19860度	141.14083度
中島排水路2号橋	ナカジマハイスイロ2コウキョウ	江刺	駒込島角線	1979	7.2	6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.19468度	141.14659度
中島排水路6号橋	ナカジマハイスイロ6コウキョウ	江刺	沼ノ上線	1979	5.3	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.19922度	141.13930度
中島排水路4号橋	ナカジマハイスイロ4コウキョウ	江刺	沼館島角線	1979	5.3	5	II	床板間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。部分的につらら状に析出しているため、予防保全の観点から対策を講ずることが望ましい状態。	39.19793度	141.14387度
古川排水路5号橋	フルカハイスイロ5コウキョウ	江刺	池向後中野線	1985	8.1	5.05	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.17725度	141.16558度
古川排水路4号橋	フルカハイスイロ4コウキョウ	江刺	池向谷地線	1984	6.1	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.17591度	141.16692度
町浦排水路1号橋	マチウラハイスイロ1コウキョウ	江刺	落合新川線	不明	3.5	4.3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.18044度	141.17107度
八日市排水路8号橋	ヨカイチハイスイロ8コウキョウ	江刺	落合新川線	1987	3.2	3.4	II	頂版に局部的な鉄筋露出が認められる。雨水の影響により腐食の進行性が高まり、コンクリート部材劣化が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.183800度	141.167810度
町浦排水路9号橋	マチウラハイスイロ9コウキョウ	江刺	落合新川線	不明	3.6	4.3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.18534度	141.16634度
カ石排水路5号橋	カシハイスイロ5コウキョウ	江刺	土花荒川線	1979	4	3.6	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.15000度	141.17833度
古川排水路3号橋	フルカハイスイロ3コウキョウ	江刺	下川原田谷線	1985	11.6	6.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.17068度	141.17111度
大畑橋	オホハタハシ	江刺	大畑中谷木線	1983	14.65	5.05	II	PC桁の下面に鋼材の露出がみられる。構造上重要な部材であるため、予防保全の観点から対策を講ずることが望ましい状態。	39.15910度	141.17317度
八日市排水路6号橋	ヨカイチハイスイロ6コウキョウ	江刺	下梁川線	1985	4.3	3	II	頂版支間部に幅0.15mm～0.2mm程度のひびわれが認められる。幅は小さいが広がりのあるひびわれであることから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.177280度	141.164860度
餅田堰用水路11号橋	モチタセキヨウスイロ11コウキョウ	江刺	後田西前田線	1998	3	10.7	II	防護欄支柱基部に著しい欠損が認められる。防護欄支持機能が低下しているため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.166500度	141.195000度
染屋前橋	シヤエマエハシ	江刺	大畑横懸線	1977	8.4	5	III	防護欄の支柱基部に破断及び孔食が生じている。著しい腐食が進展したものであり、部材機能に影響がみられるため、早期の対策が望ましい状態。	39.14975度	141.22312度
宮地橋	ミヤジハシ	江刺	大畑横懸線	1973	5.4	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.14764度	141.22725度
上横懸橋	カヨコケハシ	江刺	大畑横懸線	1973	2	4.6	II	A1側壁側面に幅2.0mm程度のひびわれが認められる。またA1側壁下ハンチ部に、流水が要因と推定される欠損が認められる。欠損範囲が比較的広く、継続的に流水の影響を受け進行性は高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.143440度	141.243150度
大北橋	オホキタハシ	江刺	大北宮地線	1973	8.45	5	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。前田点検からの進展がみられ、広範囲に損傷がみられることから、止水対策が望ましい状態。	39.15276度	141.22562度

道路橋名	アカナ	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R5	所見等	緯度	経度
小峠橋	コウゲハシ	江刺	小峠線	不明	8	5.3	II	頂版及び側壁にひびわれが認められる。前回点検からの変状進展が見られ、耐荷力の低下が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.132480度	141.247680度
松原下橋	マツハラジハシ	江刺	蒲道沢線	1972	5.5	5	II	橋台基礎部の露出及びコンクリートの欠損が見られる。河床部には洗掘防止工がなされているため、コンクリートの断面修復が望ましい。	39.13294度	141.25561度
蒲道沢橋	フドウザワハシ	江刺	蒲道沢線	1973	4	4.1	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.13055度	141.265833度
滝田橋	タキタハシ	江刺	滝田線	1973	4.1	2.7	II	橋台壁面に幅7.0mmのひびわれが見られる。乾燥収縮が要因と推定される。幅が広く、漏水の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.130277度	141.272500度
六栗小橋	ムツクリコハシ	江刺	持栗線	1973	2	5	II	頂版及び側壁全体に規則性のあるひびわれが認められ一定の間隔でひびわれが多数発生している。また側壁にかぶり不足及びモルタル劣化による剥離・鉄筋露出が確認された。耐荷力の低下が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.115500度	141.221220度
飛沢橋	トビザワハシ	江刺	黒田助線	1968	7	5.1	II	主桁端部にコンクリート欠損がみられる。今後の劣化進展に注意が必要である。予防保全の観点から対策が望ましい状態。	39.11471度	141.2216度
村弄橋	ムラノハシ	江刺	黒田助線	1969	7	4.5	II	PC桁に遊離石灰を伴ったひびわれが生じている。劣化が進展すると構造上の影響が生じるため、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい状態。	39.12047度	141.21539度
糞神橋	クソカミハシ	江刺	大田代線	1970	11	4	II	T桁にコンクリートの剥離が生じている。劣化の進展がみられ、構造上重要な部材であるため、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい状態。	39.11805度	141.25164度
奈良原橋	ナラハラハシ	江刺	奈良原線	1970	12.6	5.1	II	PC桁端部に凍害によるコンクリートひびわれ欠損が見られる。部材機能に影響を及ぼす可能性があることから予防保全対策が望ましい状態。	39.11461度	141.25940度
藤渡橋	フジワタハシ	江刺	根木町線	1972	12	4	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。前回点検からの損傷箇所の増加が見られることから、予防保全対策の講じるのが望ましい状態。	39.10809度	141.26856度
根木町橋	ネツキマチハシ	江刺	根木町線	1972	2.3	5.2	II	頂版に剥離・鉄筋露出及びうきが見られる。天端が土砂で覆われ濡れ状態であるため、腐食の進行性は高くなると考えられる。損傷箇所は端部であることから直接軸荷重はかからないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.106130度	141.269100度
餅田堰用水路3号橋	モチタキヨウスイロ3ゴウキョウ	江刺	後田線	1997	3	5.2	II	下流側頂版側面に遊離石灰の析出がみられる。放置するとコンクリート部材劣化を助長する原因となり得るため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.170420度	141.194390度
大日前橋	オオヒメマエハシ	江刺	大日前線	不明	3	3.1	III	主桁にひびわれ、A1A2橋台基礎部(バイルベント)に移動・傾斜が見られる。	39.15833度	141.200278度
戸屋前橋	トヤエマエハシ	江刺	分限城枝線	不明	6.35	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.15389度	141.23756度
上宮地橋	カミヤジハシ	江刺	横懸中央線	不明	6.1	3.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.14694度	141.22833度
大畑橋	オオハタハシ	江刺	大畑線	不明	6	3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.14639度	141.23500度
下日渡橋	シモヒワタハシ	江刺	日渡線	不明	10.4	4.1	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.14808度	141.22099度
餅田堰用水路16号橋	モチタキヨウスイロ16ゴウキョウ	江刺	松川下線	1999	3.7	3.5	II	頂版及び側壁にひびわれが認められる。幅は小さいが全体に広がりが見られることから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.156760度	141.195250度
餅田堰用水路1号橋	モチタキヨウスイロ1ゴウキョウ	江刺	石山線	1980	4.8	5	II	頂版ハンチ部及びA2側壁にひびわれからの漏水が認められる。ひびわれは貫通しているものと考えられ、耐荷力の低下が懸念されることから予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.160320度	141.196200度
餅田堰用水路14号橋	モチタキヨウスイロ14ゴウキョウ	江刺	前田線	1998	2.8	9.1	II	防護柵支柱基部に著しい欠損が認められる。防護柵支持機能が低下しているため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.163530度	141.195000度
餅田堰用水路12号橋	モチタキヨウスイロ12ゴウキョウ	江刺	後田第2線	1997	3	5.3	II	ボックスがむき出し構造になっているため雨水及び軸荷重の影響を直接受けやすい状態である。継手欠損による漏水の影響によりコンクリート部材劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.168420度	141.194810度
日渡1号橋	ヒワタイゴウキョウ	江刺	小田代線	1977	10.5	4.1	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。部分的に錆汁の析出がみられることから、劣化が進展せぬよう予防保全対策を講じるのが望ましい状態。	39.14779度	141.21936度
上中田代橋	カミナカタシロハシ	江刺	小田代線	1977	10.45	4.05	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。前回点検時より劣化が進展しているため、予防保全対策を講じるのが望ましい状態。	39.14569度	141.21803度
田代橋	タシロハシ	江刺	北中下田代線	不明	10.5	5.1	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。一部でつらら状・錆汁の析出がみられる。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい状態。	39.14378度	141.21670度
大田代橋	オオタシロハシ	江刺	大平北線	不明	5	4.2	III	主桁に著しい欠損及び鉄筋露出がみられる。中性化による鉄筋腐食膨張が疑われる。補修後の再劣化が早く、早期の対策を講じるのが望ましい。	39.11977度	141.25506度
新家前橋	シヤマエハシ	江刺	釜ノ沢線	不明	8.5	4.5	II	T桁に鉄筋の露出がみられる。端部漏水がみられる箇所が生じており、鉄筋は腐食しやすい。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい状態。	39.12010度	141.25693度
鍋倉排水路5号橋	ナベクラ排水路5ゴウキョウ	江刺	田原後田第3線	1998	8.4	5.4	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.17000度	141.18944度
餅田堰用水路17号橋	モチタキヨウスイロ17ゴウキョウ	江刺	戸崎自治会館線	1997	5	3.3	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.16833度	141.19500度
餅田堰用水路8号橋	モチタキヨウスイロ8ゴウキョウ	江刺	大日前2号線	1998	5	4.3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.15944度	141.19500度
餅田堰用水路19号橋	モチタキヨウスイロ19ゴウキョウ	江刺	大日前3号線	1998	5	3.6	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.15806度	141.19500度
西山橋	ニヤマハシ	江刺	境田線	1972	14.3	4	II	橋台壁面凍害によるコンクリート欠損が生じ、構造上の重大な損傷になる可能性がある。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい状態。	39.18871度	141.22164度
沢田橋	サワタハシ	江刺	沢田線	1971	2	5	II	上・下流側頂版側面に剥離・鉄筋露出が認められる。今後も雨水の影響により進行性は高鉄筋腐食が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.174030度	141.248610度
沢田小橋	サワタコハシ	江刺	沢田線	不明	3.6	3.3	III	主桁に抜け落ちが見られる。	39.17305度	141.246389度
境田橋	サカイハシ	江刺	境田戸ノ口線	1967	5.3	4.6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.19352度	141.22316度
下戸ノ口橋	シモツノグチハシ	江刺	境田戸ノ口線	1974	2.2	5.4	II	頂版に剥離が認められる。また側壁に漏水が確認された。雨水の影響により、コンクリート部材劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.193060度	141.228540度
戸ノ口橋	ツノグチハシ	江刺	向畑戸ノ口線	1974	14.65	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.19223度	141.22685度
平田橋	ヒラタハシ	江刺	平?の木田線	1973	9.6	4.6	II	防護柵に多数のボルトの脱落や、広範囲の腐食が進展しており、全体的な劣化が見られる。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい状態。	39.19002度	141.23697度
迎井沢橋	ムカイザワハシ	江刺	迎井沢白石石線	1976	8.5	4.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.19316度	141.24839度
後田橋	ウシダハシ	江刺	後田線	1966	5.3	4.6	II	橋台壁面に漏水による凍害損傷が生じている。ひび幅が広く、水分の進入が考えられ、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい状態。	39.19906度	141.25249度
上後田橋	カミウシダハシ	江刺	山生田線	1966	4	4.2	II	A2橋台基礎部に洗掘が見られる。	39.20404度	141.25591度
久保田橋	クボタハシ	江刺	迎井沢前村線	1972	9.3	3	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。部分的な錆汁の析出がみられるため、予防保全の観点から対策が望ましい状態。	39.19181度	141.25077度
久保橋	クボハシ	江刺	寺沢線	1978	4.95	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.19408度	141.25721度
寺沢橋	テラザハシ	江刺	寺沢線	不明	2.1	5.1	II	頂版及び側壁の継ぎ目へ漏水・滲水が認められる。目地部からの漏水は継続的で進行性が高いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.197700度	141.262070度
袖ノ沢橋	スデノザワハシ	江刺	迎井沢本村線	1979	2.5	6	II	上流側側壁背面からの土砂流出が認められる。背面地盤の安全性が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.188860度	141.258290度
本村橋	ホンムラハシ	江刺	迎井沢本村線	1979	6.1	5	II	地覆の側面に遊離石灰を伴ったひびわれがみられる。側面への漏水は絶えず見られるため、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.19003度	141.25778度
外ノ沢橋	ソノザワハシ	江刺	外ノ沢第2線	1971	3.2	4.8	III	A2橋台壁面に漏水(湧水)が見られる。	39.18381度	141.26680度
智福橋	チフクハシ	江刺	智福線	1979	3.7	2	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.18950度	141.26315度
上穴沢橋	カミアナザハシ	江刺	穴沢線	不明	5	3.3	III	A1、A2橋台壁面に変形・欠損が見られる。	39.19750度	141.25139度
上智福橋	カミチフクハシ	江刺	中智福線	不明	3.4	5.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.18827度	141.26480度
水ノ口橋	ミヅノグチハシ	江刺	水ノ口線	不明	4.5	5.1	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.18284度	141.23139度
前田橋	マエダハシ	江刺	前田枝線	不明	8	4.5	II	PC桁下面に鋼材の露出がみられる。部材機能に影響を及ぼす可能性があり、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.17042度	141.25920度
上前田橋	カミマエダハシ	江刺	前田山線	不明	5	3.6	II	床版の下面に鉄筋露出が生じている。橋齢が50年を超え、コンクリートの中性化等懸念される。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.16702度	141.26321度
中後田橋	ナカウシダハシ	江刺	後田白岩線	不明	5	4	II	主桁に遊離石灰を伴ったひびわれ、舗装に土砂詰まりが見られる。	39.20328度	141.25503度
浅倉橋	アサクラハシ	江刺	中浅倉線	1979	6	5.5	II	主桁にひびわれ、舗装に土砂詰まりが見られる。	39.19367度	141.29929度
河童川橋	カバガワハシ	江刺	石屋敷津良線	1974	10.4	4	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。今後も劣化進展が想定されるため、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.18772度	141.30562度
火石橋	ヒイハシ	江刺	火石線	1976	5.6	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.19286度	141.31998度
下八幡橋	シモヤチハシ	江刺	荒谷線	不明	8.1	2.7	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.18171度	141.30179度
下戸沢橋	シモツザハシ	江刺	御堂芦沢線	不明	2.7	5.5	II	頂版及び側壁に、目地部からの漏水・遊離石灰が認められる。また側壁と床版ハンチ部の打継ぎ目付近に錆汁が認められ、腐食の進行によりコンクリート部材劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.165810度	141.268600度
戸福前橋	トクシマエハシ	江刺	芦沢線	1978	5.9	5.5	II	頂版及び側壁に広がりのあるひびわれが認められる。軸荷重の繰り返しにより進行性が高まると考えられることから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.169010度	141.292320度
荒谷橋	アラヤハシ	江刺	上町線	1982	10.25	4.3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.18094度	141.30617度
上小迎橋	カミコムカイハシ	江刺	隅川枝線	1971	4.5	4	II	A1A2橋台壁、基礎部(バイルベント)に剥離・鉄筋露出、地覆に変形・欠損が見られる。	39.16060度	141.30828度
和野橋	ワノハシ	江刺	和野2渡線	不明	12.9	4.5	II	橋台に凍害の進展によるコンクリート欠損がみられる。止水性を高めるなど、予防保全対策を講じるのが望ましい状態。	39.16796度	141.33021度
大石橋	オオイハシ	江刺	久保線	1974	11	3.6	II	防護柵に著しい腐食がみられる。劣化が進展すると部材強度に影響を及ぼす可能性がある。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.15869度	141.33255度
野口橋	ノグチハシ	江刺	地ノ神久保線	1974	13.4	5.1	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。橋面舗装状況より、さらに劣化が進展する可能性が高い。予防保全対策を講じるのが望ましい状態。	39.16974度	141.33683度
口沢橋	クチザハシ	江刺	上口沢線	不明	3	7	II	頂版及び側壁目地部から漏水・滲水が認められる。またA2側壁側面にうきを確認され、水の供給によりコンクリート部材の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.161220度	141.365010度
上口沢橋	カミクチザハシ	江刺	上口沢線	不明	2.4	7	II	上流側スパンの頂版及び側壁にひびわれが認められる。ひび割れ幅は0.1mmと微細ではあるが、ボックス全体が水蒸気により湿っていることから進行性は高いと考える。また、側壁に鉄筋露出が確認され、漏水の影響により腐食が速まり耐荷力の低下が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.161240度	141.364940度
玉川橋	タマガハシ	江刺	玉川線	1975	10.5	5	II	橋台壁面に鉄筋露出及びひびわれ等が生じている。損傷が生じやすく、劣化進展もみられる。予防保全対策を講じるのが望ましい状態。	39.16202度	141.31718度
中小迎橋	ナカコムカイハシ	江刺	隅川線	不明	2.2	6.2	II	頂版及び側壁目地部から漏水・滲水及び継手(目地部)の欠損が認められる。目地部欠損によりコンクリート部材劣化が高まると考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.161610度	141.309480度
隅川橋	スミガハシ	江刺	隅川線	1971	9.5	4	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられ、橋面舗装状況より、劣化が進展する可能性が高い。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.15950度	141.31190度
上隅川橋	カミスミガハシ	江刺	隅川線	不明	7.5	4	II	床版に鉄筋露出が生じている。凍害の進展などによるもので進展性のある損傷である。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.16006度	141.31403度
上古館橋	カミルダテハシ	江刺	玉川古館線	不明	9.8	2.4	III	主桁、地覆に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.16196度	141.32212度
松田橋	マツダハシ	江刺	玉川古館線	不明	9.2	2.4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.16178度	141.322947度
地ノ神橋	チノカミハシ	江刺	地ノ神線	2019	7.9	4	I	健全であり、部材の機能に支障が生じていない状態。	39.168827度	141.332330度
中浅倉橋	ナカアサクラハシ	江刺	中浅倉枝線	不明	6	3.5	III	A1A2橋台基礎部(バイルベント)に移動・傾斜が見られる。	39.19361度	141.29755度
中八幡橋	ナカヤチハシ	江刺	八幡線	不明	6.5	4.5	II	防護柵に接触による変形がみられる。全体に腐食も生じており、部材機能に影響が生じる可能性がある。予防保全対策を講じるのが望ましい。	39.18326度	141.30220度
新田橋	ニジマハシ	江刺	新田線	1986	8	4.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.17705度	141.31578度
芦沢川1号橋	アシザワ川1ゴウキョウ	江刺	館下枝線	不明	2.7	3.5	I	頂版に雨水による漏水・滲水が局部的に認められるが、道路橋の機能に支障を生じていない状態である。	39.171480度	141.296190度
八幡橋	ヤチマハシ	江刺	八幡町裏線	不明	8.3	9.4	III	主桁にせん断ひびわれ及び著しい鉄筋露出が認められる。せん断破壊は脆性的で急激に進行し危険性が高いことから、構造の機能に支障が生じる可能性があり早期に措置を講ずべき状態である。	39.182370度	141.302410度
古歌業橋	コカヨハシ	江刺	古歌業線	1972	6.9	4.5	II	主桁及び梁部に剥離が認められる。主桁下面が全体的に湿気していることから、コンクリート部材の劣化の進行性は高いと考えられるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.176960度	141.368490度
二股橋	フタマタハシ	江刺	山本線	1971	12.1	4	III	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。部分的に錆汁・つらら状に析出しているため、早期に対策を講ずるべき状態である。	39.20624度	141.34717度
中沢橋	ナカザハシ	江刺	中沢線	1972	11	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.23402度	141.32684度

道路橋名	フカナ	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R5	所見等	緯度	経度
上中沢橋	かたがわらわん	江刺	中沢線	1972	5	4.8	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.23656度	141.34004度
戸中橋	トチュウハン	江刺	中沢線	1972	3.8	5	II	頂版全体的に漏水・滞水が認められる。コンクリート部材劣化の原因となり得るため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.231700度	141.348820度
小里原橋	コサハラハン	江刺	精神合線	1980	5.3	5	II	橋台壁の角部に凍害による欠損がある。進展性のある損傷で、部材機能に影響を及ぼす可能性がある。予防保全対策を講じるのが望ましい。	39.23915度	141.34404度
北新田橋	キタシンデンハン	江刺	精神合線	1972	11.4	3.4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.25013度	141.33470度
上大内沢橋	かおうちざわらわん	江刺	上大内沢線	1976	7.6	6	II	RCF桁に多数の鉄筋露出がみられる。構造上の影響が生じる可能性のある損傷であるため、予防保全対策を講じるのが望ましい。	39.24995度	141.33225度
太田橋	オオタハン	江刺	太田線	1980	3.1	5.1	III	頂版及び側壁に最大0.5mm程度のひびわれが多数認められ、部分的に角落ちが確認された。また地盤に広範囲な欠損が認められ、防護柵支持機能が低下していることから、道路利用者被害を及ぼす恐れがあり、構造機能に支障が生じる可能性があるため、早期に措置を講ずることが望ましい。	39.273480度	141.321360度
荒谷橋	アラヤハン	江刺	小沢線	1978	10.4	5	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。部分的につら状の析出がみられるため、劣化が進展せぬよう防水層の設置等が望まれる。	39.23896度	141.31725度
九才坂橋	クサイサカハン	江刺	二股線	不明	11.4	2	III	橋台壁に流水洗刷によるコンクリート欠損が見られる。構造上の影響が生じる可能性がある損傷であり、早期の対策を講じるのが望ましい。	39.20691度	141.34350度
下兄和田橋	シモノワダハン	江刺	兄和田線	2016	6.96	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.22020度	141.29652度
松倉前橋	マツクラマエハン	江刺	牛沢線	1982	2.7	5.5	II	舗装路面及び底版に土砂堆積が認められる。また舗装面にひびわれが確認された。頂版上面の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.227010度	141.229730度
大松橋	オオマツハン	江刺	大松線	1973	3	5	I	舗装面にひびわれ及び路面上に土砂堆積が認められるため、道路利用者の安全性の観点から維持工事にて対応することが望ましい。	39.230980度	141.241910度
中平橋	ナカダイハン	江刺	青森線	1978	8.4	3.6	II	主桁に遊離石灰を伴ったひびわれがみられる。劣化が進展すると重大損傷につながる。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.22959度	141.24585度
小菅生橋	コソウハン	江刺	天神線	1980	6.3	5	II	主桁に遊離石灰を伴ったひびわれが生じており、橋面環境をみるに劣化は進行する恐れがある。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.23586度	141.25676度
火石沢橋	ヒイシワハン	江刺	白山通火石沢線	1973	2.1	3.5	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。かぶり不足が原因と推定される。状況に応じて補修を行うことが望ましい。	39.227175度	141.263000度
三百刈田橋	サンヤカリノタハン	江刺	老耳第二線	2017	6.7	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.21297度	141.24461度
向宿橋	ムカヨクハン	江刺	向宿中上野線	1972	3.1	2.4	II	A2側壁に幅300mm程度の水平方向のひびわれが認められる。また側壁端部及び下部に断面欠損が確認され、耐荷力の低下が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.220630度	141.240330度
次丸沢橋	ツキマルザワハン	江刺	合野線	1973	4	3.1	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.21327度	141.24924度
長倉橋	ナカクラハン	江刺	長白線	1973	14.5	3	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。部分的に錆汁の析出がみられる。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.22003度	141.27161度
馬馳橋	マハセハン	江刺	七尋石線	1978	2.2	5.6	I	舗装面及び地盤に土砂堆積が認められるため、維持工事にて対応することが望ましい。	39.222190度	141.291820度
箕沢橋	カサザワハン	江刺	箕沢線	1978	6.3	5.9	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.19769度	141.22211度
前林橋	マエヤシハン	江刺	前畑線	不明	5.8	4.2	II	A1橋台基礎部に洗刷が見られる。	39.21289度	141.27967度
小菅生向橋	コソウカメイハン	江刺	小菅生白山通線	不明	8.5	2.7	II	A1側壁橋座の隅部に欠損がみられる。新規の凍害によるコンクリート欠損である。劣化が進展しないよう予防保全対策を講じるのが望ましい。	39.23672度	141.25905度
大森前橋	オオモリマエハン	江刺	東大森前線	不明	5	3	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.22435度	141.23220度
下葉沢橋	シモカタザワハン	江刺	老耳循環線	不明	5	3.4	III	主桁に遊離石灰を伴うひびわれが見られる。	39.19643度	141.22193度
玉崎橋	タマサキハン	江刺	玉崎2号線	不明	3.3	2.7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.21585度	141.21525度
南野橋	ミナノハン	江刺	南野線	1983	2.5	5.3	II	胸壁にひびわれが見られる。地震が原因と推測され、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.247186度	141.276297度
中南野橋	ナカミナノハン	江刺	南野線	1983	2.6	5	II	橋台に新旧コンクリートの継ぎ足し部におけるひびわれ及び剥離・鉄筋露出が見られる。ひびわれについては、施工不良が原因と推測され、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.246944度	141.278333度
小林橋	コバヤシハン	江刺	栗生沢線	1973	5.2	5.2	II	主桁に凍害によるコンクリート欠損が見られる。重大損傷につながる可能性がある損傷である。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.28207度	141.27697度
栗生沢1号橋	クリウザワ1コウキョウ	江刺	栗生沢線	不明	2.5	6	I	舗装面にひびわれ及び路面の凹凸が認められる。維持工事にて対応することが望ましい。	39.285440度	141.281530度
市道橋	イチミチハン	江刺	市道線	1973	5	2.8	II	主桁にひびわれ、A1A2橋台壁に剥離が見られる。	39.26675度	141.28014度
砥谷沢橋	トシヤハン	江刺	砥谷沢線	1973	2.2	3	II	下流側頂版側面に遊離石灰(錆汁)を伴うひびわれ及び鉄筋露出が認められる。広範囲に錆汁が発生していることから内部鉄筋が腐食しているものと推定され、耐荷力の低下が懸念されることから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.280820度	141.282540度
神明橋	シノミヤハン	江刺	中田線	1980	3.8	7.1	II	頂版及び側壁に幅0.20~0.4mmの床版ひびわれ・ひびわれが見られる。ひびわれ幅が広いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.28277度	141.27166度
越田橋	コエタハン	江刺	中田越田線	不明	2.2	4.7	I	舗装面にひびわれが認められるが、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。	39.283280度	141.283350度
堀沢橋	ホリザワハン	江刺	大内田線	1973	8.4	4.5	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。今後も進展の可能性があることから、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.28648度	141.28703度
二渡橋	ニワタハン	江刺	靖山線	1973	6.3	6.5	II	橋台に遊離石灰、防護柵に腐食が見られる。凍害による影響が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.290555度	141.280833度
野田橋	ノダハン	江刺	靖山線	1973	2.4	6.9	II	側壁に剥離・鉄筋露出、地盤に幅1.4mmのひびわれが見られる。剥離・鉄筋露出は水深が上がることで凍害の影響を受けやすい位置にある損傷であることから、予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.294722度	141.257222度
久田橋	キウデンハン	江刺	東沢目線	1975	7	7	II	床版及び側壁に漏水・遊離石灰がみられる。床版にて局部的につら状もみられることから、予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.300000度	141.288888度
寺田橋	テラタハン	江刺	金成線	1973	5.1	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.30179度	141.27339度
網田前橋	アミタマエハン	江刺	堂田線	不明	6	4.3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.28667度	141.27519度
中野橋	ナカノハン	江刺	栗生沢枝線	不明	3	3.1	II	頂版にひびわれ及び剥離・鉄筋露出が認められる。損傷部に雨水が滞りやすく、放置するとコンクリート部材の損傷を助長する要因となるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.260160度	141.281610度
下久田橋	シモキウデンハン	江刺	久田枝線	不明	6.3	3.5	II	橋台胸壁から橋座部にかけて凍害によるコンクリート欠損がみられる。劣化の進行が見られることから、予防保全対策を講じるのが望ましい。	39.29931度	141.28732度
堂ノ前1号橋	ドウノマエ1コウキョウ	江刺	梁川地蔵堂線	不明	10	3.1	II	P1橋脚梁部下面に剥離・鉄筋露出が認められる。雨水の影響を受けやすく、鉄筋の腐食が著しく進行していることから、コンクリート部材劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.246470度	141.282390度
堂ノ前橋	ドウノマエハン	江刺	梁川地蔵堂線	不明	10.1	3.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.24718度	141.28532度
下中田橋	シモナカタハン	江刺	水角線	2016	4.5	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.28477度	141.27206度
西川目橋	ニシカワメハン	江刺	西川目線	1978	7.3	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.26241度	141.18313度
笹倉橋	ササクラハン	江刺	笹倉線	1998	6.3	6.7	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。部分的に錆汁の析出がみられるため、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.26445度	141.18171度
上笹倉橋	カササクラハン	江刺	笹倉線	不明	6.3	4	III	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。部分的に錆汁の析出がみられ、劣化が進展しやすい環境にあり、早期の対策が望ましい。	39.26829度	141.17907度
鴨ヶ崎橋	カモガサキハン	江刺	鴨ヶ崎線	1977	6.15	2.6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.24643度	141.230278度
荒谷橋	アラヤハン	江刺	荒谷地蔵線	1977	10.9	2.6	III	PC桁に著しいコンクリート剥離・欠損が進展している。部材機能に影響が生じており、今後の進展も想定される。早期の対策を講じるのが望ましい。	39.24569度	141.23461度
上落合橋	かおちあひハン	江刺	鶴巻枝線	1978	6.3	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.25838度	141.19012度
小倉沢橋	コクラザワハン	江刺	畠田線	1973	9.4	6.5	III	橋台壁から橋座部にコンクリート欠損が生じている。進展性が見られることから、早期対策が望ましい。	39.23332度	141.16681度
谷合田橋	タニイダハン	江刺	畠田線	1973	8.4	6.5	II	橋座部に凍害によるコンクリート欠損が見られる。新築後、今後の劣化の進展も想定される。予防保全対策を講じるのが望ましい。	39.23791度	141.16798度
上六堂橋	シヨウトウハン	江刺	畠田線	1973	6.6	5.8	III	T桁に著しいひびわれや錆汁の析出がみられる。前回の点検からの進展がみられ、劣化の進展速度は速いと思われる。早期の対策が望ましい。	39.24120度	141.16974度
畠田橋	ハタタハン	江刺	下台柏原畠田線	1973	7.3	4.6	II	橋台に凍害によるコンクリート欠損が見られる。支保に近い部分の損傷であり、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.25218度	141.16807度
時森橋	トキモハン	江刺	佐野線	不明	5	5.35	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。PC桁に影響を及ぼす可能性がある。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.21302度	141.16673度
中島排水路9号橋	ナカシマ排水路9コウキョウ	江刺	大文字線	1978	5.3	6.5	II	床版に漏水・遊離石灰、橋台に剥離・防護柵に腐食がみられる。凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.204722度	141.135833度
中島排水路10号橋	ナカシマ排水路10コウキョウ	江刺	三丁川添線	1978	5.3	4	II	PC橋本体にコンクリート欠損が見られ、鋼材の露出がみられる。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.20659度	141.13507度
宝祿排水路6号橋	ホウロク排水路6コウキョウ	江刺	広岡前水門線	1973	6	4.2	II	主桁に剥離・鉄筋露出、舗装に土砂詰まりが見られる。	39.21013度	141.15613度
江刺幹線用水路6号橋	エシカセンヨウスイ6コウキョウ	江刺	岩瀬橋八幡線	1972	3.8	8.5	I	舗装の路面の凹凸は、維持工事にて対応することが望ましい。	39.21434度	141.158819度
江刺幹線用水路8号橋	エシカセンヨウスイ8コウキョウ	江刺	谷地大文字線	1972	3.8	7	I	舗装の路面の凹凸は、維持工事にて対応することが望ましい。	39.21735度	141.14856度
江刺幹線用水路7号橋	エシカセンヨウスイ7コウキョウ	江刺	下台別当線	1972	2.4	8.3	I	防護柵に腐食と防食機能の劣化、変形が見られる。外力が生じない限りは進行することはないが、状況に応じて補修を行うことが望ましい。	39.215027度	141.156388度
宝祿排水路4号橋	ホウロク排水路4コウキョウ	江刺	宝祿線	1973	5.2	6.5	III	主桁・横桁にコンクリートのジャンカがみられ、鉄筋露出がみられる。伸縮漏水があり、鉄筋腐食が進みやすい。早期の対策を講じるのが望ましい。	39.20200度	141.15650度
江刺幹線用水路10号橋	エシカセンヨウスイ10コウキョウ	江刺	高ノ木正源寺台線	1969	5.5	5.5	II	橋台壁に鉄筋露出がみられ、腐食を伴っている。流水洗刷によるコンクリート欠損であり、予防保全対策を講じるのが望ましい。	39.21927度	141.13314度
瀬谷子川2号橋	セヤコカワ2コウキョウ	江刺	高ノ木正源寺台線	1965	9.6	5.6	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。劣化の進展がみられ、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.22636度	141.14130度
江刺幹線用水路12号橋	エシカセンヨウスイ12コウキョウ	江刺	日高深山線	1969	8.4	6.15	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。損傷が広範囲に生じており、予防保全対策を講じるのが望ましい。	39.22799度	141.13229度
中島排水路8号橋	ナカシマ排水路8コウキョウ	江刺	沼館中島線	1978	5.3	5	II	防護柵のレール端部に著しい欠損が見られる。部材機能に影響が生じる可能性があり、予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.20331度	141.13769度
中島排水路11号橋	ナカシマ排水路11コウキョウ	江刺	沼館中島線	1978	5.8	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.20757度	141.13603度
中島排水路7号橋	ナカシマ排水路7コウキョウ	江刺	沼館宝祿線	不明	5.3	5	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。部分的につら状の析出がみられる。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.20189度	141.13956度
宝祿排水路7号橋	ホウロク排水路7コウキョウ	江刺	川添線	1973	6.5	5	II	パラペットの天端が欠損により防護柵基礎が露出している。防護柵の機能に支障が生じないよう予防保全の観点から補修が望ましい。	39.21291度	141.15578度
江刺幹線用水路9号橋	エシカセンヨウスイ9コウキョウ	江刺	谷地線	1972	3.7	8.2	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.21757度	141.14611度
江刺幹線用水路13号橋	エシカセンヨウスイ13コウキョウ	江刺	広岡前線	1975	3	2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.21368度	141.159869度
江刺幹線用水路14号橋	エシカセンヨウスイ14コウキョウ	江刺	谷地大文字1号線	1972	2.6	8.2	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.215716度	141.154050度
広岡前橋	ヒロオカマエハン	江刺	広岡前大文字線	1973	5.9	4	II	地盤の端部に欠損がみられる。前回「うき」がみられていた箇所が進展しており、今後の進展も予想される。予防保全対策を講じるのが望ましい。	39.21156度	141.15591度
宝祿排水路9号橋	ホウロク排水路9コウキョウ	江刺	二丁目宝祿線	1973	6	4.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.20553度	141.15655度
宝祿排水路8号橋	ホウロク排水路8コウキョウ	江刺	二丁目宝祿中央線	1973	6	4.2	III	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.20326度	141.15703度
江刺幹線用水路15号橋	エシカセンヨウスイ15コウキョウ	江刺	鶴羽衣1号線	1974	3.8	6.6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.21783度	141.14363度
江刺幹線用水路16号橋	エシカセンヨウスイ16コウキョウ	江刺	鶴羽衣2号線	1974	3.8	9.9	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.21805度	141.141169度
江刺幹線用水路17号橋	エシカセンヨウスイ17コウキョウ	江刺	鶴羽衣3号線	1974	3.8	8.5	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。進行性のある損傷と考えられ、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.21796度	141.13871度
江刺幹線用水路20号橋	エシカセンヨウスイ20コウキョウ	江刺	下台八幡線	1972	3.5	4	II	主桁に剥離・鉄筋露出、防護柵に腐食が見られる。	39.21474度	141.157575度
宝祿排水路10号橋	ホウロク排水路10コウキョウ	江刺	梨ノ木棒枝線	1973	6	4.2	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.20817度	141.15598度
江刺幹線用水路21号橋	エシカセンヨウスイ21コウキョウ	江刺	鶴羽衣4号線	1975	4	5	II	主桁に剥離・鉄筋露出、排水管に土砂詰まりが見られる。	39.21795度	141.136255度

道路橋名	アカナ	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R5	所見等	緯度	経度
瀬谷子川3号橋	セヤゴ3コウキョウ	江刺	高丘住吉線	不明	6.7	4.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.23554度	141.14859度
江刺幹線用水路22号橋	エサカセンヨウスイロ22コウキョウ	江刺	瀬谷子山下線	1975	8.6	3.5	II	桁間の閉詰部に遊離石灰の析出がみられる。部分的な錆汁の析出が生じている。予防保全の観点から対策を講じるのが望ましい。	39.22512度	141.13286度
江刺幹線用水路11号橋	エサカセンヨウスイロ11コウキョウ	江刺	水稲採取ほ場線	1972	3.8	7.2	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.21678度	141.150963度
柳沢橋	ヤナザワハシ	水沢	明神堂前田線	1996	2.4	3	II	頂版に漏水・遊離石灰、側壁に漏水・滞水、舗装にひびわれがみられる。遊離石灰、滞水については比較的広範囲であり、今後凍害の影響を受ける可能性が高いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.156944度	141.089166度
中ノ目橋	ナカノメハシ	水沢	玉ノ木明神堂線	1994	7.7	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.15861度	141.091666度
大田橋	オオタハシ	水沢	駒板三ツ谷線	1994	9.3	5	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.16000度	141.093333度
田中橋	タナカハシ	水沢	中ノ目西田中線	1990	11.4	6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.163333度	141.098889度
権現堂橋	ゴンゲンドウハシ	水沢	権現堂前田線	1994	6	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.16416度	141.10114度
荒谷橋	アラヤハシ	水沢	権現堂西深田線	1994	7.7	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.165278度	141.103056度
塚橋	ツカハシ	水沢	雲南舟塚線	1993	6.7	4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.16559度	141.10457度
船塚橋	フナヅカハシ	水沢	満倉永岡線	1993	7.6	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.165833度	141.106389度
合ノ町橋	アイマチハシ	水沢	卸町石田線	1992	11	12.4	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.168055度	141.111111度
道場橋	ドウバハシ	水沢	東田中宿線	1992	10.6	3.8	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.171111度	141.115833度
簡易橋	カンバシ	水沢	高速側道西4号線	1982	11.9	6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.171667度	141.117778度
環状線橋	カンジョウセンバシ	水沢	佐野環状線	1990	11.6	6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.173056度	141.119722度
補田橋	ウエダハシ	水沢	北宮田高田線	1992	9.6	5	II	床版に浸透水が要因と思われる遊離石灰が見られる。予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.177778度	141.125833度
彼岸田橋	ヒガンダハシ	水沢	大曾根高田線	1988	8.1	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.178889度	141.128056度
四月橋	シガワハシ	水沢	龍石高田線	1988	10.4	3.3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.179141度	141.12997度
十月橋	ジュウカワハシ	水沢	四月月線	1988	3.6	5.6	II	頂版に遊離石灰の滲出、側壁に幅0.2mmのひびわれ、舗装に段差28mmの路面の凹凸が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.179444度	141.130833度
沼ノ町橋	ヌママチハシ	水沢	洪田沼ノ町線	1987	3.7	2.5	II	頂版に漏水・遊離石灰、側壁にひびわれがみられる。予防保全の観点から速やかに補修を行うことが望ましい。	39.182222度	141.136666度
二月橋	ニガワハシ	水沢	八幡本線	1987	3.4	2.5	II	頂版、側壁に漏水と遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.180000度	141.138888度
鍛冶屋敷橋	カシヤシキハシ	水沢	龍石高田線	1984	4.4	3	II	主桁の横締め鋼材に腐食、舗装に土砂詰まりが見られる。	39.17457度	141.13277度
大田橋	オオタハシ	水沢	北下巾線	1994	3.3	14.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.154166度	141.089166度
玉ノ木1号橋	タマキイゴウハシ	水沢	玉ノ木大田線	1994	3.3	6.4	II	頂版、側壁に剥離が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.156111度	141.089166度
玉ノ木3号橋	タマキサゴウハシ	水沢	五味田大田線	1994	3.3	6	II	頂版及び側壁に漏水、防護柵に変形が見られる。漏水は比較的広範囲の発生であり、今後凍害の影響を受ける可能性が高いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.157777度	141.094444度
橋の木橋	ハシノキハシ	水沢	権現堂前田線	1989	10.5	6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.159444度	141.098333度
崩橋	クズレハシ	水沢	大上一本木線	1974	9	3	II	主桁に剥離・鉄筋露出、舗装に路面の凹凸が見られる。	39.16083度	141.105555度
盛河橋	モリカワハシ	水沢	西高山西八反町線	1997	6	3.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.16103度	141.11377度
西広町西橋	ニシヒロマチニシバシ	水沢	高速側道西4号線	1979	10.5	6.1	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.161111度	141.116667度
西広町東橋	ニシヒロマチヒトシバシ	水沢	高速側道東4号線	1977	10.5	3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.161111度	141.117222度
染屋橋	シメハシ	水沢	西広町熊野堂線	1997	8.2	4.4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.16105度	141.11915度
西館橋	ニシダテハシ	水沢	水山東高山線	1997	7.3	15	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.161111度	141.121944度
東高山上の橋	ヒトシタカヤマカミハシ	水沢	東高山1号線	1997	6.8	4.4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.16111度	141.12388度
東高山橋	ヒトシタカヤマハシ	水沢	東高山本線	1978	9.4	9.5	II	頂版、側壁にひびわれ、舗装に路面の凹凸が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.161944度	141.125555度
東高山下の橋	ヒトシタカヤマシモハシ	水沢	東高山8合線	1997	3.4	9	II	頂版の全縁ぎ目に剥離、側壁に幅0.2mmのひびわれ、高欄に欠損がみられる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.162777度	141.127500度
松堂橋	マツドウハシ	水沢	松堂線	1973	8.8	7.6	II	床版にすべり状の遊離石灰の滲出、排水管に土砂詰まりが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.163611度	141.130000度
松堂1号橋	マツドウイチゴウキョウ	水沢	里館西沖ノ目線	1988	8.8	2.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.163611度	141.130000度
東大畑2号橋	ヒトシオオノウ2ゴウキョウ	水沢	龍石道田線	1974	9	3.2	II	下部構造に乾燥収縮によるひびわれ、橋脚梁部にかぶり不足が要因と思われる剥離・鉄筋露出が見られる。進行性のある損傷であり部材への影響が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	39.166388度	141.132222度
大畑橋	オオハタハシ	水沢	龍石高田線	1993	10.4	3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.16989度	141.13561度
中ノ町橋	ナカマチハシ	水沢	龍石高田線	1967	3.3	2.7	II	主桁の横締め鋼材に腐食、袖擁壁(石積み護岸)に変形・欠損が見られる。	39.16310度	141.13979度
北丑沢橋	キタウシザワハシ	水沢	北丑沢南久田線	1997	2.6	3.2	II	頂版及び側壁に漏水・遊離石灰が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい	39.155000度	141.140000度
釜石橋	カマイハシ	水沢	北丑沢龍石線	1975	2.6	7.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.154166度	141.142777度
五反町北橋	ゴタンチヨウキタハシ	水沢	嶋館五反野線	1996	2.2	3.4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.154444度	141.147222度
仙人橋	センニンハシ	水沢	仙人神明町線	1988	3	9.6	II	側壁に橋面からの浸透水が要因と思われる遊離石灰の滲出および剥離が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うのが望ましい。	39.160000度	141.155833度
沢田橋	サワダハシ	水沢	仙人2号線	1998	2.6	6.5	II	側壁に凍害が要因と思われる剥離、および遊離石灰を伴ったひびわれが見られる。予防保全の観点から速やかに補修を行うことが望ましい。	39.160277度	141.156111度
笹町橋	ササマチハシ	水沢	白井坂線	2001	2.8	10	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.162777度	141.157222度
前郷橋	ゼンゴウハシ	水沢	名残谷地中線	1970	7.4	3.5	II	主桁に浸透水が要因と思われる剥離と遊離石灰が見られる。進行は見られないが、損傷が進行する前に補修することが望ましい。	39.151389度	141.109444度
磯町橋	シママチハシ	水沢	大上一本木線	1995	2.3	3.4	II	頂版に床版ひびわれが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.152222度	141.110833度
中央橋	チュウオウハシ	水沢	前郷東半郷線	1965	5.4	3.5	II	主桁に浸透水が要因と思われる遊離石灰が見られ。進行は見られないが、予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.152500度	141.112778度
東半郷橋	ヒトシナゴウハシ	水沢	寺領西大畑線	1997	2.1	2.2	II	頂版に乾燥収縮が要因と思われるひびわれが見られる。ひびわれ幅が0.35mmと広い。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.153055度	141.115277度
平沢橋	ヒラサワハシ	水沢	北下巾線	1993	4.4	12.6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.154444度	141.116666度
平沢西橋	ヒラサワニシバシ	水沢	高速側道西4号線	1975	6.9	6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.15489度	141.11716度
寺領西橋	シノウニシバシ	水沢	大町石田線	1976	4.2	6.3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.145833度	141.119166度
平沢東橋	ヒラサワヒトシバシ	水沢	高速側道東4号線	1983	6.9	3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.155000度	141.117778度
平沢下の橋	ヒラサワシモハシ	水沢	樋渡西広町線	1993	2.5	4	III	A1・A2側壁に広範囲のひびわれが見られる。構造の安全性の観点から速やかな補修が必要である。	39.155000度	141.120277度
福荷田橋	フクノダハシ	水沢	水山東高山線	1993	2.5	16	II	頂版および側壁にひびわれが見られる。ひびわれは一方であるが、ひびわれ幅が大きいことから、予防保全の観点から、速やかに補修を行うのが望ましい。	39.155277度	141.122777度
五千刈橋	ゴセンカリハシ	水沢	水山幅下線	1993	2.3	4	II	頂版および側壁に乾燥収縮が要因と思われるひびわれが見られる。ひびわれ幅が広い。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	39.154722度	141.125555度
一本柳橋	イツホンヤナギハシ	水沢	二反田幅下線	1992	2.3	5.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.154377度	141.127350度
高網上の橋	タカアミノハシ	水沢	幅下長町線	1991	2.3	5.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.153772度	141.130205度
小石田橋	コイシダハシ	水沢	虚空蔵小路小石田線	2002	2.3	9	II	側壁側面に幅3.0mmの遊離石灰を伴ったひびわれが見られる。予防保全の観点からなるべく速やかに補修することが望ましい状態。	39.149208度	141.133819度
小石田中橋	コイシダナカハシ	水沢	郷の内小石田線	1978	5	4.2	II	主桁にひびわれ、舗装に異常が見られる。	39.14927度	141.13539度
郷の内北橋	キョウノウチキタハシ	水沢	谷地明円南丑沢線	1979	4.9	6.6	II	側壁に橋面からの浸透水が要因と思われる遊離石灰の滲出が見られ、舗装全体にひびわれが見られる。予防保全の観点から、速やかに補修を行う必要がある状態。	39.148638度	141.137291度
北栗林橋	キタリヤハシ	水沢	勝手町線	1966	5.7	5.4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.15204度	141.13562度
南丑沢橋	ミナウシザワハシ	水沢	谷地明円南丑沢線	1990	7.3	8.3	II	床版に浸透水が要因と思われる漏水・遊離石灰が見られる。損傷範囲が広く凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.151388度	141.138497度
不断町上の橋	フダシヨウノハシ	水沢	勝手町赤土田線	1982	4.5	9	II	頂版、終点側壁に遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.150641度	141.141072度
不断町下の橋	フダシヨウシモハシ	水沢	川口町多賀線	1983	4.4	6	II	頂版に幅0.4mmの床版ひびわれ、側壁に幅0.4mmのひびわれが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.150338度	141.142477度
多賀橋	タガハシ	水沢	中町多賀線	1980	7.5	13.3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.150278度	141.144722度
五反町橋	ゴタンチヨウハシ	水沢	川原田館田線	1989	11.4	8	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.152222度	141.147500度
高谷橋	タカヤハシ	水沢	梨田川高谷線	1996	9.3	3.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.15421度	141.15405度
梨田川橋	ナシダカワハシ	水沢	梨田川南桜沢2号線	1995	8.5	2.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.15443度	141.15647度
那須川橋	ナス川ハシ	水沢	仙人神明町線	1983	8	9.5	II	A1・A2橋台壁に漏水、地覆に凍害が要因とされる剥離が広範囲にみられる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.154161度	141.158297度
中田前橋	ナカマエハシ	水沢	東袖ノ目杉ヶ崎線	1996	4.4	5	II	頂版及び側壁に幅0.3～0.35mmのひびわれがみられる。部分的に角落ちも見られ、前点検時からの損傷の進行もみられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.150850度	141.163813度
東袖ノ目橋	ヒトシツノメハシ	水沢	東袖ノ目久根妻線	1993	10.4	3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.150000度	141.166111度
船渡谷記橋	フナワタニキハシ	水沢	前田久根妻線	1993	11	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.148889度	141.166389度
足袋針橋	タビハシ	水沢	西光田大明神1号線	1990	10.6	8.7	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.142030度	141.113805度
桜川橋	サクラカワハシ	水沢	桜川南矢中線	1973	9.6	3	II	主桁に剥離・鉄筋露出、床版に床版ひびわれ、支承に腐食、舗装に土砂詰まりが見られる。	39.14254度	141.11702度
後田橋	ウシダハシ	水沢	高速側道西3号線	1982	11.2	3.9	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.143889度	141.119444度
水山橋	ミヤマハシ	水沢	水山東高山線	1993	8.3	3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.14486度	141.123230度
前田袋橋	マエダフクロハシ	水沢	大町石田線	1983	7	7.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.14622度	141.12609度
堤谷地3号橋	ツツミヤチサゴウキョウ	水沢	中野線	不明	7.3	8.8	II	防護柵に経年劣化が要因と推定される腐食が見られる。損傷範囲が広い。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.105555度	141.168333度
田畑3号橋	タハタ3ゴウキョウ	水沢	田畑樋ノ口線	不明	3.2	6.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.124444度	141.172777度

道路橋名	アカナ	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R5	所見等	緯度	経度
北野橋	キタノ	水沢	杉ノ下北野線	1972	2.4	6.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.113333度	141.151388度
西大深沢1号橋	ニシオオカサワイゴウキョウ	水沢	高速側道西2号線	不明	9.9	5.5	II	床版に凍害が原因と考えられる剥離が見られる。損傷の進行が見られるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.109167度	141.119444度
西大深沢2号橋	ニシオオカサワニゴウキョウ	水沢	高速側道東2号線	不明	10.6	6	II	床版に凍害が原因と考えられる鉄筋露出が見られる。損傷の進行が見られるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.109483度	141.120166度
西大深沢3号橋	ニシオオカサワソウゴウキョウ	水沢	東大深沢西大深沢線	不明	12	6	II	床版に橋面からの浸透水が要因と推定される錆汁・遊離石灰を伴う漏水が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.10984度	141.12442度
西大深沢4号橋	ニシオオカサワヨウゴウキョウ	水沢	東大深沢西大深沢線	不明	12.9	6	II	主桁に凍害が要因と推定される欠損が見られる。欠損深さが5cmと深いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.10844度	141.12993度
東大深沢橋	ヒガシオオカサワ	水沢	東大深沢西大深沢線	不明	5.5	6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.108611度	141.13056度
浜田橋	ハマダ	水沢	大鐘中崎線	不明	11.6	7.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.107500度	141.136944度
川尻前橋	カワシロメ	水沢	川尻前町下線	2001	3.4	4.6	II	頂版及び側壁に凍害が要因と思われる鉄筋露出・舗装に段差量74mmの路面の凹凸が見られる。間詰からの漏水も見られることから、今後も損傷の拡大や鉄筋腐食の進行が考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.106111度	141.141944度
植田4号橋	ウエノヨコウキョウ	水沢	植田目下線	1999	5.9	7	II	頂版及び側壁に遊離石灰がみられる。遊離石灰は比較的広範囲であり、今後凍害の影響を受ける可能性が高いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.100000度	141.162222度
上野1号橋	ウエノコウキョウ	水沢	田畑上野線	1998	5.9	5.2	II	頂版に漏水・遊離石灰、側壁に剥離・鉄筋露出、舗装にひびわれがみられる。漏水は比較的広範囲の発生であり、今後凍害の影響を受ける可能性が高いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.100833度	141.171111度
上野2号橋	ウエノコウキョウ	水沢	五百川田天神林線	1998	5.7	2.4	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.100000度	141.173611度
上野3号橋	ウエノコウキョウ	水沢	宿上野線	1994	12.5	6.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.098056度	141.173889度
新堀1号橋	ニイタリコウキョウ	水沢	川尻本線	1984	6.4	6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.097500度	141.145555度
新堀4号橋	ニイタリコウキョウ	水沢	高根本線	不明	5.7	7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.09262度	141.15171度
熊堂橋	クマドウ	水沢	折居町線	不明	2.5	5.7	II	主桁にひびわれ、A1A2橋台壁面にひびわれ、舗装に異常が見られる。	39.10203度	141.13516度
万五郎橋	マンゴロウ	水沢	宮沢本線	1972	11	3.6	II	床版に鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から、補修を行うことが望ましい。	39.098056度	141.129222度
折居橋	オリ	水沢	折居町線	1970	8.3	6.5	II	A2橋台壁面にひびわれとうきが見られる。補修後の再劣化であることから、補修を行うことが望ましい。	39.097222度	141.133889度
要害2号橋	ヨガイニゴウキョウ	水沢	要害1号線	1998	4	5.7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.097500度	141.138611度
要害1号橋	ヨガイコウキョウ	水沢	折居駅うし林線	1971	6.8	3.6	II	パラペット天端に剥離が見られる。予防保全の観点から、補修することが望ましい。	39.096944度	141.141667度
八反町橋	ハツチマチ	水沢	川尻本線	1996	5.8	7.4	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.095833度	141.144722度
堂田橋	ドウテン	水沢	高根本線	1991	14	7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.091111度	141.151944度
林前橋	ハヤシメ	水沢	林前2号線	1983	11.8	8	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.116944度	141.157500度
楠ノ木下橋	カキノキ	水沢	中野線	2002	9.3	8.3	III	頂版に地震が要因と思われる床版ひびわれが見られる。ひびわれ幅が6.0mmと広く、BOX構造性への影響が考えられることから、早期に措置を講ずべき状態と判断した。	39.114166度	141.146388度
南塩加羅1号橋	ミナソコライチゴウキョウ	水沢	台町南塩加羅線	不明	3.3	3.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.12833度	141.151944度
南塩加羅2号橋	ミナソコニゴウキョウ	水沢	台町南塩加羅線	1996	9	2.1	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.127778度	141.151111度
西鶴巻1号橋	ニシツルマキ	水沢	堂林前西鶴巻線	1996	9	2	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.123333度	141.152778度
高田橋	タカダ	水沢	高田上林下線	1975	5.7	5	III	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。新規損傷も見られることから、速やかに補修することが望ましい。	39.114444度	141.146667度
川尻橋	カワシロ	水沢	高根本線	2001	3.7	7	II	頂版に遊離石灰、側壁に鉄筋露出が見られる。間詰めからの漏水が見られ今後凍害の影響も受けやすいため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.103888度	141.148055度
志田見沢1号橋	シタミザ	水沢	秋成本線	1993	2.2	15	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.120000度	141.148333度
八反町6号橋	ハツチマチ	水沢	折居駅うし林線	1996	2.7	4	II	頂版に橋面からの浸透水が要因と思われる漏水・遊離石灰が見られる。今後凍害の影響による損傷の進行に繋がる可能性が考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.095833度	141.146944度
落合4号橋	オチアイ	水沢	川尻本線	2001	3	7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.105555度	141.148611度
西五郎兵衛2号橋	ニシゴロウヘイニゴウキョウ	水沢	杉ノ下4号線	2002	2.5	6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.112777度	141.148055度
西五郎兵衛3号橋	ニシゴロウヘイサンゴウキョウ	水沢	西五郎兵衛金田1号線	2002	2.5	6	II	頂版に剥離・鉄筋露出、頂版の目地部から漏水・滞水がみられる。今後凍害による損傷の進行が考えられることから、予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.111666度	141.148055度
東五郎兵衛2号橋	ヒガシゴロウヘイニゴウキョウ	水沢	西五郎兵衛金田2号線	2001	2.5	4	II	頂版に凍害が原因と推定される鉄筋露出が見られる。前回の検時ではうきであり損傷の進行が見られる。鉄筋の腐食も進行しているため、予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.110555度	141.150833度
落合5号橋	オチアイ	水沢	杉ノ下川尻線	2002	3.6	7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.104722度	141.145833度
落合3号橋	オチアイ	水沢	西五郎兵衛中平線	2001	2.5	4.5	II	側壁に遊離石灰を伴ったひびわれが見られる。乾燥収縮が要因と推定される。部材への影響が懸念されることから、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.107500度	141.148333度
前堂地3号橋	マエドウジ	水沢	西田下谷地線	2000	5.6	5	II	頂版目地部に浸透水が要因と思われる漏水・遊離石灰が見られる。凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.103333度	141.150833度
西田4号橋	ニシダ	水沢	土手西田線	2000	6	6	II	頂版に鉄筋露出、側壁にひびわれがみられる。凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.101388度	141.154722度
西田3号橋	ニシダ	水沢	中平土手線	2000	6	5	II	頂版及び側壁に目地の劣化が要因と推定される漏水がみられる。予防保全の観点から、なるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.102777度	141.153333度
前堂地2号橋	マエドウジ	水沢	前堂地堂田線	2001	3.2	6	II	頂版に漏水、側壁に漏水と鉄筋露出がみられる。予防保全の観点から、なるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.103888度	141.168333度
下谷地橋	シタヤチ	水沢	前堂地堂田線	不明	6	6	II	頂版と側壁にかぶり不足が要因と思われる鉄筋露出が見られる。凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.100000度	141.155000度
谷地館橋	ヤチヤチ	水沢	川尻谷地館線	1998	2.7	4	II	頂版に剥離が見られる。凍害の影響によるものと推定される。予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.097777度	141.142500度
新堀7号橋	ニイタリ	水沢	川尻要害線	1998	2.6	6	II	頂版に漏水・遊離石灰、側壁に漏水・滞水がみられる。損傷範囲が広く凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.097777度	141.143888度
八反町5号橋	ハツチマチ	水沢	川尻要害線	1997	4.8	5	I	頂版及び側壁の目地部において漏水がみられる。道路橋の機能に支障が生じていない状態である。	39.096111度	141.143333度
聖天上の橋	セイテンカミ	水沢	水山小石田線	1945	10.6	3	II	主桁に凍害が原因と思われる剥離・鉄筋露出が見られる。損傷が進行する前に補修することが望ましい。	39.147222度	141.129722度
聖天下の橋	セイテンカミ	水沢	虚空蔵小路小石田線	1990	9.9	9	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.147500度	141.133889度
堀の内橋	ホリノチ	水沢	谷地明内南丑沢線	1967	10.6	6.5	II	壁面に洗堀が見られる。耐久性確保の観点から早期に補修を行うことが望ましい。	39.147788度	141.136566度
上町橋	カミマチ	水沢	上町大手町1号線	1966	3.1	3.2	II	床版に剥離・鉄筋露出、A1A2橋台壁面に変形・欠損、舗装に異常が見られる。	39.14684度	141.13679度
掘手橋	カウチ	水沢	大手町掘手町線	1968	11.5	5.6	II	床版に浸透水が要因と思われる遊離石灰が見られる。予防保全の観点から、損傷が進行する前に補修することが望ましい。	39.147222度	141.138889度
上の橋	カミ	水沢	大手通り線	1982	14.1	20.1	II	床版に漏水・遊離石灰と錆汁の混入、橋台壁面に幅12mmのひびわれが見られる。ひびわれ幅が比較的大きく損傷が進行するとコンクリートの耐久性低下が考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.146275度	141.140097度
下の橋	シモ	水沢	吉小路立町線	1930	7.2	4.8	I	主桁に鉄筋露出があり、断面減少している。	39.145556度	141.141389度
万日橋	マンニチ	水沢	柳町三本木線	1926	6.1	3.6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.144722度	141.144167度
三本木橋	サンボンキ	水沢	大町三本木線	1928	6.3	6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.144167度	141.144167度
長光寺橋	チヨウコウジ	水沢	大町線	1929	7.2	2.7	II	主桁にジャンカと遊離石灰が見られる。予防保全の観点から、損傷が進行する前に補修することが望ましい。	39.143056度	141.143056度
春日町橋	カスガマチ	水沢	大町杉ノ堂線	1929	9.2	12.2	II	主桁に幅0.15～0.5mmのひびわれ、壁面に剥離・鉄筋露出、防護欄に幅0.9mmのひびわれがみられる。ひびわれ幅が大きいため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.141944度	141.143055度
寺小路橋	テラコウジ	水沢	大町中町線	1927	7.6	4.2	II	主桁に橋面からの浸透水が要因と思われる遊離石灰が見られる。予防保全の観点から、補修することが望ましい。	39.141111度	141.143167度
跡島井橋	アトシマ	水沢	仙人神明町橋	1980	13.7	10.2	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.145833度	141.158611度
南矢中橋	ミナヤナカ	水沢	桜川南谷中線	1968	5	3	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.13595度	141.11765度
南矢中西橋	ミナヤナカニシ	水沢	高速側道西3号線	1978	6.8	3.8	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.13608度	141.119444度
南矢中東橋	ミナヤナカヒガシ	水沢	高速側道東3号線	1978	6.9	6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.13611度	141.120278度
南矢中下の橋	ミナヤナカシタ	水沢	矢中1号線	1964	5	3	II	主桁に凍害が要因と思われる鉄筋露出が見られる。一部補修済みであるが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.13609度	141.12073度
高屋敷上の橋	タカヤシキ	水沢	後田高屋敷線	1967	5	3	II	A1橋台壁面に剥離が見られる。予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.136389度	141.123611度
八反田橋	ハツチダ	水沢	高屋敷矢中1号線	1998	2.2	4	II	頂版及び側壁に幅0.2～0.3mmのひびわれが見られる。ひびわれ幅が広く、ひびわれ間隔も狭いことから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.136666度	141.123333度
鶴田上の橋	ツルタ	水沢	高屋敷矢中線	1998	2.2	4.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.137777度	141.123333度
鶴田下の橋	ツルタ	水沢	齊の神天文台通り線	1980	5.2	5.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.138611度	141.129722度
田小路橋	タコウジ	水沢	田小路大畑小路線	1999	2	4	II	頂版、側壁に目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなる。	39.139444度	141.135833度
日高橋	ヒダカ	水沢	日高小路線	1926	8.4	4	II	床版に凍害が原因と思われる剥離・鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から、損傷が進行する前に補修することが望ましい。	39.141389度	141.138056度
大畑橋	オホハタ	水沢	吉小路大畑小路線	1926	7.8	4.5	II	主桁に凍害が要因と思われる剥離・鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から、損傷が進行する前に補修することが望ましい。	39.141667度	141.139722度
高屋敷中の橋	タカヤシカミ	水沢	齊の神天文台通り線	1980	4	3	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.13666度	141.129722度
西町上の橋	ニシマチ	水沢	西町天文台通り線	1983	4.4	4.1	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.13888度	141.130555度
西町橋	ニシマチ	水沢	西町下笹線	1979	3.4	16.3	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.137500度	141.137777度
宮下橋	ミヤノ	水沢	宮前通り線	1989	3.4	8.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.13722度	141.138611度
宮下2号橋	ミヤノ	水沢	宮下町線	2001	3.5	3.1	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.13731度	141.139518度
袋町橋	フクロマチ	水沢	袋町宮下町線	2001	3.1	4.8	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.13714度	141.14018度
袋町下の橋	フクロマチ	水沢	袋町2号線	1972	3.2	5.4	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.13694度	141.140833度
南町橋	ミナマチ	水沢	中町大鐘線	1979	3.1	12.2	II	主桁に凍害が原因と思われる剥離・鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から、損傷が進行する前に補修することが望ましい。	39.136111度	141.142500度
南町中の橋	ミナマチカミ	水沢	南町山崎町1号線	1979	3.1	5	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.13555度	141.143333度
南町下の橋	ミナマチシタ	水沢	南町山崎町2号線	1980	3.3	7.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.13500度	141.14500度
濁川上の橋	ニウカガミ	水沢	町裏見分森線	1992	3.3	4.6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.127777度	141.110833度
濁川橋	ニウカ	水沢	西田森下2号線	1972	7.4	4	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.128056度	141.114444度
前谷地橋	マエヤチ	水沢	西田森下3号線	1992	3.3	4.6	II	頂版に漏水、A1側壁に漏水・滞水が見られる。漏水が継続的に見られることから、予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.128055度	141.117222度

道路橋名	アカナ	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R5	所見等	緯度	経度
前谷地西橋	マエヤチニシハシ	水沢	高速側道西3号線	1978	10.3	3.8	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.128611度	141.118333度
前谷地東橋	マエヤチヒガシハシ	水沢	高速側道東3号線	1978	8.9	6	II	主桁に凍害が要因と思われる剥離・鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から、補修することが望ましい。	39.128611度	141.118889度
クルス場橋	クルスバシ	水沢	西田森下1号線	1963	7.5	6.1	II	横桁に鉄筋露出が見られる。進行が見られるため、予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.129167度	141.120833度
クルス場下の橋	クルスバシタハシ	水沢	福原桜屋敷西2号線	1963	7.4	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.129444度	141.123333度
町裏橋	マチウラハシ	水沢	福原桜屋敷西1号線	1996	8.3	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.128889度	141.125556度
川端橋	カワバシ	水沢	北上野福原線	1997	10.5	16	II	壁に1.7mmのひびわれが見られる。乾燥収縮が要因と推定される。ひびわれ幅が広く、漏水の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.129722度	141.132222度
福吉橋	フクジハシ	水沢	天文台通り桜屋敷線	1996	9	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.130833度	141.134167度
片子沢橋	カタシラバシ	水沢	西町下笹森線	1987	13.6	16	II	排水管に腐食と防食機能の劣化、部分的な欠損が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.131111度	141.136388度
中上野橋	ナカウラハシ	水沢	山崎町堰合線	1997	9.6	4	I	A1橋台に0.2mmひび割れがあり、注入工を行うのが良い。PC桁目地に軽度な漏水遊離石灰がある。進展性は低いと思われる経過観察でよい。	39.131111度	141.139722度
大鐘橋	オオカネハシ	水沢	中町大鐘線	1962	13.6	12.1	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.130556度	141.141111度
鶴淵上の橋	ツルブチミハシ	水沢	町裏見分森線	1975	6.4	5.4	II	主桁に鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.124722度	141.111111度
袖谷地橋	ソデヤチハシ	水沢	西田森下3号線	1994	4.8	3	II	頂版に漏水が、A1側壁に遊離石灰を伴ったひびわれが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.125833度	141.117500度
袖谷地西橋	ソデヤチニシハシ	水沢	高速側道西3号線	1976	9.1	3.8	II	主桁に鉄筋露出が見られる。進行は見られないが、予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.126389度	141.118333度
袖谷地東橋	ソデヤチヒガシハシ	水沢	高速側道東3号線	1975	9.1	6	II	主桁に凍害が原因と思われる鉄筋露出が見られる。損傷の進行が見られるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.126389度	141.118889度
袖谷地下の橋	ソデヤチシタハシ	水沢	西田森下1号線	1996	4.9	4.9	II	頂版に漏水・遊離石灰および変形・欠損、側壁に遊離石灰を伴ったひびわれが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.126944度	141.120000度
外谷地北橋	ウチヤチキタハシ	水沢	外谷地鶴淵線	1996	4.1	7.5	II	頂版に橋面からの浸透水が要因と思われる遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.128333度	141.123888度
桜屋敷橋	サクラヤシキハシ	水沢	堰合桜屋敷1号線	1992	2.4	6.7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.125833度	141.128333度
大鐘南下の橋	オオカネミナミタハシ	水沢	南大鐘1号線	1981	3.6	4.2	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.127500度	141.139750度
道場下の橋	ミチノモトハシ	水沢	高速側道東6号線	1994	9.8	4.3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.171944度	141.118611度
樋渡橋	ヒワジハシ	水沢	寺領水ノ口線	1977	2.1	3.5	I	健全である。	39.147222度	141.117500度
樋渡下の橋	ヒワジシモハシ	水沢	樋渡西広町線	1977	2	3.5	I	健全である。	39.147500度	141.119444度
二反田橋	ニヘダハシ	水沢	水山東高山線	1982	2.5	4.3	I	健全である。	39.147500度	141.122777度
二反田下の橋	ニヘダシモハシ	水沢	水山幅下線	1982	2.5	4.3	I	健全である。	39.147777度	141.125555度
八反町橋	ハツチマチハシ	水沢	勝手町線	1991	2	5	II	漏水の影響による凍害が原因と考えられる剥離・鉄筋露出が見られる。進行性のある損傷であることから、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.136666度	141.123333度
上町2号橋	ウエマチ2ウキョウ	水沢	大町石田線	1982	2.9	7.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.144722度	141.135555度
高屋敷下の橋	タカヤシキタハシ	水沢	西町3号線	1980	5.4	6.5	II	主桁に凍害が要因と思われる鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から、補修することが望ましい。	39.136667度	141.132222度
水沢工業団地橋	ミズワウコウギョウダンチハシ	水沢	東バイパス側道1号線	1997	2.2	8.1	II	頂版に漏水・遊離石灰がみられる。漏水は継続的に見られ今後凍害の影響も受ける可能性が考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.164341度	141.164341度
花園町橋	ハナノマチハシ	水沢	十文字秋成線	1989	2.8	24.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.142022度	141.155025度
堰合下の橋	セキイシタハシ	水沢	山崎町堰合線	1992	2.9	9.4	II	頂版に漏水・遊離石灰、側壁に幅0.3mmのひびわれ、遊離石灰が見られる。今後凍害の影響を受ける可能性が考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.128055度	141.130000度
堰合上の橋	セキイシウエハシ	水沢	川端堰合線	1994	2.8	9	II	頂版及び側壁にひびわれ、防護欄に腐食がみられる。漏水の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.127500度	141.129722度
曾根田1号橋	ソネダイチウハシ	水沢	五味田曾根田線	1996	3.3	6.4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.153322度	141.088025度
曾根田2号橋	ソネダイニウハシ	水沢	明神堂曾根田線	1996	4	7	III	頂版と側壁に錆汁混じりの漏水・遊離石灰が見られる。コンクリート内の鉄筋が腐食していると推定される。耐久性確保の観点から速やかな補修が望ましい。	39.151272度	141.089650度
沢田1号橋	サワダ1ウキョウ	水沢	白井坂線	1997	2.2	9.8	II	頂版に漏水・遊離石灰、側壁に目地材の脱落が見られる。予防保全の観点から速やかな補修を行うことが望ましい。	39.161341度	141.157244度
東小深田橋	ヒガシコカフダハシ	水沢	佐野原矢中線	1998	2.2	7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.158658度	141.156205度
桜屋敷1号橋	サクラヤシキチウキョウ	水沢	堰合桜屋敷2号線	1994	2.4	4.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.125833度	141.128055度
西町上の橋	ニシマチウエハシ	水沢	西町堰合線	1955	3.2	6.4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.138888度	141.130055度
高屋敷橋	タカヤシキハシ	水沢	西町堰合線	1980	6.1	9.1	II	排水管に欠損が見られる。損傷の進行によりコンクリート部材への影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.136666度	141.131111度
大橋	オオハシ	水沢	西町堰合線	1999	8.6	8.9	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.128611度	141.127500度
惣前町2号橋	ソウマエマチ2ウキョウ	水沢	東バイパス側道6号線	2002	4.2	5	II	頂版に床版ひびわれが見られる。また、A1・A2側壁に乾燥収縮が要因と推定される幅0.35～0.4mmのひびわれも見られる。ひびわれ幅が広く、ひびわれ間隔も狭いことから、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.152338度	141.162311度
北塩加羅上の橋	キタシオカラウエハシ	水沢	太日通り山崎町線	2006	3.7	5.8	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.133333度	141.146666度
甲田橋	カウチハシ	水沢	中田町勝手線	2006	2.8	4.7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.132222度	141.148888度
北塩加羅橋	キタシオカラハシ	水沢	十文字秋成線	1970	3.5	13.4	II	A2橋台壁に剥離とうきが見られる。凍害によるものと推定される。損傷の進行により、構造安全性に影響するため予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.130555度	141.151666度
東鶴巻1号橋	ヒガシツルマキチウキョウ	水沢	台町南塩加羅線	2006	2.9	3.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.129722度	141.153611度
東鶴巻2号橋	ヒガシツルマキニウキョウ	水沢	太日通り東鶴巻線	2006	4.3	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.128888度	141.154444度
町屋敷橋	マチヤシキハシ	水沢	瀬台野高根線	1967	4.4	9.6	II	主桁に欠損、A1橋台壁にうきと剥離が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.128888度	141.156111度
泉橋	イズミハシ	水沢	東中通り町屋敷1号線	2005	2.9	4.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.128611度	141.159166度
朝日橋	アサヒハシ	水沢	東中通り町屋敷2号線	1996	2.5	6.5	II	頂版及び側壁に幅0.2～0.3mmのひびわれが見られる。ひびわれ幅が広く、ひびわれ間隔も狭いことから、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.128888度	141.160277度
町屋敷東橋	マチヤシキヒガシハシ	水沢	熊ノ堂町屋敷線	2021	2.9	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.128611度	141.162777度
堤根橋	ツツネハシ	水沢	堤根沼尻線	2021	2.9	6.9	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.128333度	141.162777度
一ノ沢橋	イチノサワハシ	水沢	石名坂上野起線	1997	3.4	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.123611度	141.165833度
石名坂橋	イシノザカハシ	水沢	石名坂若草線	1990	3.5	7.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.121944度	141.166111度
上野起南橋	カミキミミナハシ	水沢	原ノ下上野起線	1966	8	3	II	地盤に鉄筋露出と変形・欠損が見られる。車両等の接触が要因と推定される。雨水の影響により鉄筋の腐食の進行性が高まり、コンクリート部材の損傷原因となり得るため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.120000度	141.168888度
沢田橋	サワダハシ	水沢	原ノ下上野起線	2000	4	4.2	II	頂版・側壁に幅0.2mm～0.3mmのひびわれ、側壁に幅0.6mmの遊離石灰を伴うひびわれが見られる。頂版においては亀甲状となっている。コンクリート部材の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.119722度	141.166666度
大内田前橋	オウチノマチマエハシ	水沢	大内田前伊手迎線	1978	6	2.7	III	A1橋台基礎部(バイルベント)に移動・傾斜、袖壁背面部に沈下が見られる。	39.11802度	141.16850度
船橋	フナハシ	水沢	車堂殿野起線	1997	5.2	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.114722度	141.170555度
須江1号橋	スエチウ1ウキョウ	水沢	十文字秋成線	2001	8.9	12	II	頂版・側壁に幅0.4～0.6mm程度のひびわれ、頂版直上の舗装にひびわれが認められ、頂版においては亀甲状となっている。コンクリート部材の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.128611度	141.149722度
乾場橋	カシハシ	水沢	幅下町南線	1996	9	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.126111度	141.151944度
宮田橋	ミヤタハシ	水沢	堂林前迎線	1995	9	3.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.121667度	141.153333度
迎畑橋	ムカイウラハシ	水沢	谷地堰迎畑線	1995	9.5	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.119444度	141.154167度
北下田橋	キタシモタハシ	水沢	瀬台野高根線	1969	11.1	9.2	II	A2壁剥離が見られる。凍害によるものと推定される。予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.118055度	141.155555度
神田橋	カミタハシ	水沢	北下田神田下線	1979	14	6.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.115555度	141.158888度
水ノ口橋	ミヅグチハシ	水沢	堤ノ内水ノ口前線	1963	11	2.8	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.114722度	141.160278度
杉山下橋	スギヤマシタハシ	水沢	十文字秋成線	1977	5.9	9.3	II	主桁に剥離・鉄筋露出、A1A2橋台壁にひびわれ、舗装に路面の凹凸が見られる。橋台においては、漏水・遊離石灰もみられることから、コンクリート部材の劣化の進行性が高いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.127222度	141.146111度
杉山下歩道橋	スギヤマシタノクキョウ	水沢	十文字秋成線	1991	4.2	3.1	II	健全であり、部材の機能に支障が生じていない状態。	39.127222度	141.146111度
杉山下3号橋	スギヤマシタノク3ウキョウ	水沢	南塩加羅杉山下線	1984	3.95	3.2	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.12722度	141.146944度
杉山下2号橋	スギヤマシタノク2ウキョウ	水沢	十文字秋成線	1965	4.4	13.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.12726度	141.14783度
杉山下4号橋	スギヤマシタノク4ウキョウ	水沢	幅下町南線	1997	2.9	4.6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.12528度	141.14778度
堂林前1号橋	ドウバシマシエチウキョウ	水沢	榎ノ木下南塩加羅線	2000	2.9	17.4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.12500度	141.149166度
堂林前2号橋	ドウバシマシエチウ2ウキョウ	水沢	堂林前谷地中線	2000	2.9	4.1	I	頂版に橋面からの浸透水が要因と思われる漏水が見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない。	39.122777度	141.150277度
堂林前3号橋	ドウバシマシエチウ3ウキョウ	水沢	谷地中幅下線	2001	2.9	3.3	II	頂版に遊離石灰が見られる。今後凍害の影響を受けやすいと考えられる。予防保全の観点から速やかに補修を行うことが望ましい。	39.122777度	141.151388度
谷地中橋	ヤチカハシ	水沢	南塩加羅北下田線	1994	3	5	III	頂版に幅0.2mmの床版ひびわれ、側壁に幅1.8mmのひびわれが見られる。部分的に角落ちが見られ、BOX構造性への影響が懸念されることから、速やかに補修することが望ましい状態。	39.121111度	141.152222度
志田見沢橋	シダミザワハシ	水沢	志田見沢榎ノ木下線	1987	5	4.4	II	主桁に剥離・鉄筋露出、A1A2橋台壁にひびわれ、舗装に路面の凹凸が見られる。	39.12027度	141.146866度
杉ノ下橋	スギノシタハシ	水沢	北下田榎ノ木下線	1993	2.7	2.7	I	健全である。	39.117222度	141.150000度
北下田2号橋	キタシモタ2ウキョウ	水沢	瀬台野高根線	1982	2.4	9.8	II	壁に漏水・滲水、防護欄に損傷範囲の広い腐食が見られる。予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.115555度	141.151944度
北下田1号橋	キタシモタ1ウキョウ	水沢	水ノ口前2号線	1981	3.4	5.3	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.11527度	141.156111度
水ノ口前1号橋	ミヅグチマエチウキョウ	水沢	林前2号線	1980	3.4	7.2	II	床版に錆汁、舗装に異常が見られる。	39.11555度	141.156944度
水ノ口前2号橋	ミヅグチマエチウ2ウキョウ	水沢	水ノ口前1号線	1980	3.45	5.2	II	床版に遊離石灰、A2橋台壁にひびわれ、排水管に土砂詰まりが見られる。	39.11527度	141.15777度
北下田5号橋	キタシモタ5ウキョウ	水沢	瀬台野高根線	1998	2.1	10	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.115000度	141.155277度
明正6号橋	メイジョウ6ウキョウ	水沢	明正下小谷木1号線	1972	2.8	3.5	II	舗装部に段差が生じている。道路利用者に対する安全確保のため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.135277度	141.184166度
沼尻4号橋	ヌマリノク4ウキョウ	水沢	沼尻2号線	1972	5.3	2.9	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.130000度	141.184444度
沼尻5号橋	ヌマリノク5ウキョウ	水沢	下小谷木沼尻2号線	1970	5.4	2.9	II	主桁に凍害が要因と思われる剥離・鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から、補修することが望ましい。	39.128889度	141.184444度

道路橋名	アカナ	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R5	所見等	緯度	経度
大手橋	オオテハン	水沢	大手通り線	2001	2.4	23.4	II	頂版に漏水・遊離石灰、側壁に幅0.3mmのひびわれ、地覆に幅1.7mmのひびわれが見られる。ひびわれは乾燥収縮が要因とされ、部材への影響が懸念されることから、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.141536度	141.138997度
新堀6号橋	ニホリコウキョウ	水沢	山居折居町線	2002	7	13.4	II	頂版、側壁に乾燥収縮が要因と思われる0.4~0.7mm幅の一方向ひびわれが見られる。	39.098611度	141.144166度
八反町7号橋	ハツタマナナコウキョウ	水沢	土手堂田線	1996	5.9	5	I	頂版に局部的な漏水、側壁に幅0.15mmのひびわれが見られる。前回点検時からの損傷の進行は見られないことから、道路橋の機能に支障が生じていない状況である。	39.095277度	141.148333度
八反町4号橋	ハツタマシヨウコウキョウ	水沢	要害5号線	1997	4.1	4	I	頂版に局部的な漏水、側壁に幅0.15mmのひびわれが見られる。いずれも軽微な損傷であるため、道路橋の機能に支障が生じていない状況である。	39.096666度	141.141944度
八反町8号橋	ハツタマハチコウキョウ	水沢	砂川堂田線	1995	5.8	6	II	頂版に遊離石灰、側壁に漏水が見られる。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.091944度	141.149444度
京原橋	キョウハラハン	水沢	松田余目下線	不明	4.6	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.109722度	141.164166度
島田1号橋	シマダイチコウキョウ	水沢	島田境田線	1999	5.8	5.3	II	頂版に床版ひびわれが見られる。予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.100277度	141.164444度
中崎橋	ナカザキハン	水沢	中崎宮沢線	不明	3.3	4	II	頂版に漏水・遊離石灰が見られる。漏水は継続的で、進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.095833度	141.116666度
原ノ西2号橋	ハラノシニコウキョウ	水沢	マイアネタウン32号線	2008	2.4	14.1	II	頂版に目地材の脱落および錆汁混じりの遊離石灰、両側壁に漏水・濁水が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.119444度	141.163333度
野地田2号橋	ノヂノタニコウキョウ	水沢	マイアネタウン33号線	2008	2.4	12.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.119444度	141.161666度
向畑1号橋	ムカハタコウキョウ	水沢	宝柳木・御山下線	1975	3.3	5.5	II	地覆に変形・欠損、ひびわれが見られる。凍害により今後さらに進行する前に措置を講ずることが望ましい。	39.146952度	141.189880度
下屋敷1号橋	シタヤシキコウキョウ	水沢	駅南和田線	1973	5.2	4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.141111度	141.190000度
下屋敷2号橋	シタヤシキニコウキョウ	水沢	下屋敷和田線	1973	5.2	4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.13954度	141.18911度
明正1号橋	メイジョウコウキョウ	水沢	下屋敷窪田線	1972	6	4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.13826度	141.18832度
沼尻橋	ヌマリハン	水沢	沼尻洗田線	1972	7.3	5.6	II	床版及び橋台壁面に漏水・遊離石灰、汚染物に腐食と防食機能の劣化、変形が見られる。漏水は継続的に見られることから、コンクリート部材劣化の進行が高いと考えられるため、予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.135555度	141.186666度
沼尻2号橋	ヌマリニコウキョウ	水沢	明正1号線	1972	4.2	4.2	II	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.135555度	141.186944度
明正4号橋	メイジョウヨウコウキョウ	水沢	明正沼尻線	1972	2.2	3.3	II	頂版と側壁に漏水が見られる。目地材からの漏水は継続的に見られることから、コンクリート部材劣化の進行が高いと考えられるため、予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.133888度	141.185833度
八幡橋	ハチマハン	水沢	沼尻北鵜ノ木線	1961	13	3.4	II	床版に凍害が要因と思われる鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.132222度	141.186111度
窪橋	クボハン	水沢	沼尻窪線	1980	7	3	III	A1-A2橋台フーチングに洗掘が見られる。損傷範囲が広く、橋台の安定に影響を及ぼす損傷であり、構造の安全性の観点から早期に補修を行うことが望ましい。	39.127778度	141.186666度
上大久保橋	オホオホクボハン	水沢	大久保線	1983	12.8	5	II	床版に遊離石灰が、舗装に舗装ひびわれが見られる。床版の損傷範囲は狭くないが、直上の舗装ひびわれが確認されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.136111度	141.165833度
菅生田橋	スウウタハン	水沢	沢田小田線	1992	13.8	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.096667度	141.213056度
桜橋	サクラハン	水沢	谷地袖ノ沢線	1968	11.4	4.2	II	床版に鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から、補修することが望ましい。	39.097500度	141.215833度
念仏坂橋	ネンブツノサカハン	水沢	長根下柳線	不明	7.1	2.7	II	A1-A2橋台パイルベントにひびわれが見られる。他部材への影響が懸念されるため、補修することが望ましい。	39.087222度	141.196389度
渡邊掛橋	ワタナベケハン	水沢	正法寺柳沢線	1983	12.5	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.075556度	141.211111度
向畑2号橋	ムカハタニコウキョウ	水沢	向畑5号線	1975	3.2	12	II	防護柵、縁石に変形・欠損、舗装に段差差97mmの路面の凹凸、沈下、ひびわれが見られる。通行に影響を与える可能性が考えられるため、第三者被害防止の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.144905度	141.190344度
向畑3号橋	ムカハタニニコウキョウ	水沢	向畑8号線	1975	3.3	6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.144069度	141.190758度
沼尻3号橋	ヌマリシヨウコウキョウ	水沢	窪田明正1号線	1972	4.4	4.4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.13578度	141.187564度
白石沢橋	シロイシザワハン	水沢	白石沢1号線	不明	10	3.2	II	P1橋脚柱部に遊離石灰を伴うひびわれ、舗装に路面の凹凸が見られる。	39.07000度	141.184444度
経塚沢橋	キョウヅカザワハン	水沢	兵士沢線	1969	3	3.3	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.081111度	141.211388度
土橋	ドハン	水沢	兵士沢線	1970	5.1	3.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.078333度	141.222222度
下川端橋	シモカワハタハン	水沢	羽田幹線	不明	3.4	34.8	II	翼壁に幅25mmのひびわれが見られる。ひびわれ幅が広いため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.142222度	141.191388度
北栗林歩道橋	キタクリハヤシホトコウキョウ	水沢	勝手町線	不明	7	2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.152061度	141.135567度
楠ノ木下2号橋	カキノキシタニコウキョウ	水沢	中野線	不明	2.9	6.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.113611度	141.148055度
要害前橋	ヨウガイマエハン	水沢	秋成本線	不明	9.6	16	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.118888度	141.154166度
松ノ木沢川1号橋	マツノキザワカハチコウキョウ	前沢	松ノ木沢4号線	不明	13.5	2	II	主桁側面に乾燥収縮が要因と思われるひびわれと、床版に橋面からの浸透水が要因と思われる遊離石灰の滲出が見られる。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.094166度	141.103611度
松ノ木沢川2号橋	マツノキザワカハチニコウキョウ	前沢	松ノ木沢5号線	不明	13.6	2	II	床版に浸透水が要因と思われる錆汁混じりの遊離石灰が見られる。凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.093055度	141.105833度
松ノ木沢川3号橋	マツノキザワカハチニコウキョウ	前沢	松ノ木沢6号線	不明	13.5	2	II	床版に遊離石灰の析出が見られる。漏水は継続的に見られることから、コンクリート部材への影響が高いと考えられるため、予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.093055度	141.108888度
松ノ木沢橋	マツノキザワハン	前沢	松ノ木沢外ヶ沢1号線	1972	13.9	3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.093055度	141.110833度
松ノ木沢川5号橋	マツノキザワカハチニコウキョウ	前沢	松ノ木沢外ヶ沢2号線	不明	13.4	2.5	III	主桁、横桁、支承に腐食、防護柵に腐食とゆるみ・脱落、変形が見られる。支承はアンカーボルトのゆるみも見られることから橋梁構造の安全性の観点から、早期に措置を講ずべき状態。	39.091388度	141.118055度
四谷橋	ヨツヤハン	前沢	北館四ツ谷線	1970	12.5	6	III	主桁、支承に部材膨張や板厚減少を伴う腐食が見られる。橋梁構造の安全性の観点から、早期に措置を講ずべき状態。	39.091111度	141.119722度
志人沢橋	シニンザワハン	前沢	寺ノ上志人沢線	不明	3.6	3.9	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.09056度	141.12028度
松ノ木沢川7号橋	マツノキザワカハチニコウキョウ	前沢	志ノ上沢3号線	1971	13.4	3	II	主桁、横桁、支承、防護柵に表面的な腐食が広範囲に見られる。錆の進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.091666度	141.127777度
種次橋	タネジハン	前沢	折居線	1962	12.6	3.3	II	床版に橋面からの浸透水が要因と思われる遊離石灰、舗装の一部に段差20mmが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.091388度	141.137777度
北館橋	キタタナハン	前沢	北館橋下線	1957	12	1.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.090555度	141.139166度
桜町橋	サクラマチハン	前沢	北館東砂子田線	1985	13.3	4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.090277度	141.140277度
館合下橋	タナインタハン	前沢	館合下東見寺下線	1994	14.1	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.085555度	141.138333度
明後沢川4号橋	メイゴザワカハチニコウキョウ	前沢	東見寺下前沖線	1997	8.8	3.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.083611度	141.144166度
堂田橋	ドウタハン	前沢	林後1号線	1959	11.2	3.2	II	主桁A1側端部側面に鉄筋露出が見られる。凍害によるものと推定される。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	39.087500度	141.150833度
関口橋	セキグチハン	前沢	古館線	1956	11.1	5.5	II	床版に遊離石灰が見られる。橋面からの浸透水が要因と思われる。漏水は継続的で進行性が高いことから予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	39.086111度	141.154722度
館沖橋	タナシキハン	前沢	船橋古館線	2001	13	12	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.085555度	141.157777度
松ノ木沢川15号橋	マツノキザワカハチニコウキョウ	前沢	保志場津津根線	1956	11.1	2.3	II	床版に浸透水が要因と推定される遊離石灰が見られ、壁面に凍害が要因と推定される剥離、地覆に凍害が要因と推定される鉄筋露出が見られる。損傷の範囲が広いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	39.085277度	141.160000度
松ノ木沢川16号橋	マツノキザワカハチニコウキョウ	前沢	保志場沼田線	1979	11.1	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.085000度	141.163055度
明後沢橋	メイゴザワハン	前沢	寺ノ上志人沢線	2004	9.4	6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.083333度	141.133333度
明後沢川5号橋	メイゴザワカハチニコウキョウ	前沢	中田前水上西線	2001	10	3.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.083333度	141.146944度
明後沢川6号橋	メイゴザワカハチニコウキョウ	前沢	古館線	2000	10	6	II	伸縮装置に経年劣化が要因と思われる目地材の脱落が見られる。漏水によるコンクリート部材の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から補修することが望ましい状態。	39.081944度	141.149166度
丑の子上橋	ウシノコノサカハン	前沢	新山前中島線	2000	9.5	3.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.081111度	141.151944度
明後沢川12号橋	メイゴザワカハチニコウキョウ	前沢	野中前新山前線	2000	12	7.1	II	伸縮装置に最大50mmの段差と変形・欠損、舗装にひびわれが見られる。輪荷重の繰り返しによる損傷の拡大が懸念されるため、措置を講ずることが望ましい。	39.081111度	141.152222度
上板子沢橋	イタダザワハン	前沢	横道前裏新田線	不明	11.2	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.073611度	141.100833度
寺領水路1号橋	シノウスイロチコウキョウ	前沢	荒屋敷沖亀田線	2001	2.3	5.6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.076111度	141.135277度
寺領水路2号橋	シノウスイロニコウキョウ	前沢	荒屋敷沖要害線	1975	4.8	5.1	III	間詰め床版に遊離石灰が見られる。	39.07581度	141.13737度
寺領水路3号橋	シノウスイロサンコウキョウ	前沢	内ノ町十文字線	2000	6	2.7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.07527度	141.139166度
四反田橋	シタタハン	前沢	東見寺堂ノ木線	1976	7.6	5.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.076667度	141.153333度
明後沢川10号橋	メイゴザワカハチニコウキョウ	前沢	高殿鶴田線	1994	9.4	5	II	床版に橋面からの浸透水が要因と思われる漏水・遊離石灰が見られる。凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	39.073611度	141.150833度
松ノ木沢川17号橋	マツノキザワカハチニコウキョウ	前沢	内屋敷線	1996	6	2.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.07694度	141.168611度
前沢水路1号橋	マエザワスイロチコウキョウ	前沢	不動塚線	不明	3	2.7	II	A1橋台壁面にひびわれ、舗装に異常が見られる。	39.067222度	141.11888度
丑沢上橋	ウシザカサカハン	前沢	丑沢橋道後線	1977	4	8.9	II	A1橋台壁面に変形・欠損が見られる。	39.141111度	141.07638度
丑沢水路4号橋	ウシザカスイロチコウキョウ	前沢	要害十文字線	2003	2.3	3.9	II	頂版に遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.070555度	141.136944度
寺領水路7号橋	シノウスイロチコウキョウ	前沢	野中鍵取線	2001	6	3.7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.07025度	141.14850度
寺領水路8号橋	シノウスイロチコウキョウ	前沢	高殿石持線	2001	6.8	3.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.06994度	141.14922度
明後沢川11号橋	メイゴザワカハチニコウキョウ	前沢	石持高殿線	1999	4.5	5	II	頂版、側壁に幅0.3~0.4mmのひびわれが見られる。ひびわれ幅が大きいので、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.069722度	141.149722度
寺領水路9号橋	シノウスイロチコウキョウ	前沢	野中前新山前線	2011	6.7	11	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.070833度	141.146666度
四反田水路3号橋	シタタスイロチコウキョウ	前沢	野中前新山前線	不明	2.9	11.2	II	頂版に幅0.9mm、側壁に幅1.0mmのひびわれが見られる。ひびわれ幅が広く、漏水の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.072222度	141.148333度
宮内排水路7号橋	ミヤチハイスイロチコウキョウ	前沢	上野銭神2号線	1997	2.4	6.5	II	舗装面に凹凸が見られる。輪荷重の繰り返しによる損傷の拡大が懸念されるため、維持工事にて対応する必要がある	39.068888度	141.154166度
迎谷起橋	ムカイヤキハン	前沢	迎谷起線	1984	6	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.067500度	141.175277度
補八橋	ホチハン	前沢	北二ノ台線	1973	4.1	6.9	II	床版に遊離石灰、A2橋台壁面に変形・欠損、舗装に異常が見られる。	39.06305度	141.100555度
丑沢水路8号橋	ウシザカスイロチコウキョウ	前沢	亀田大曲橋線	1973	8.4	5.2	II	主桁に剥離が見られる。施工目地部に損傷が生じており、凍結融解作用の影響と推定される。水の影響を受ける部位であり、進行性のある損傷のため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい状態。	39.065277度	141.139444度
丑沢水路9号橋	ウシザカスイロチコウキョウ	前沢	古城田中野中前線	1978	8.1	2.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.063611度	141.140833度
彼岸田橋	ヒカンテンハン	前沢	亀田大曲橋線	1990	8.8	4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.063333度	141.148055度
宮内排水路9号橋	ミヤチハイスイロチコウキョウ	前沢	亀田大曲橋線	1997	2.1	4.2	I	頂版に漏水・遊離石灰、側壁に漏水・濁水が見られる。いずれも変状は局部的であり、道路橋の機能に支障が生じていない。	39.063888度	141.154444度
宮内排水路10号橋	ミヤチハイスイロチコウキョウ	前沢	筋田館線	1997	2.1	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.062500度	141.154444度
天王橋	テンノウハン	前沢	下沢田1号線	不明	3.3	2.9	III	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.06556度	141.18444度

道路橋名	アカナ	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R5	所見等	緯度	経度
一の沢橋	イチノサワハシ	前沢	二ノ沢一ノ沢線	1982	3.5	3.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.06166度	141.076944度
太郎ヶ沢川2号橋	タロウガサワガワコウキョウ	前沢	藤森養ヶ森線	1976	6.8	3	II	主桁に凍害が要因と思われる欠損が見られる。凍害による損傷が大きくなることが予想されるため、速やかに措置を講ずることが望ましい。	39.060277度	141.104444度
丑沢水路10号橋	ウシザワスイロジウコウキョウ	前沢	安久沢東島線	1998	3.5	5	II	側壁に漏水・遊離石灰とひびわれ、舗装に路面の凹凸、土砂詰まり、防護柵に防食機能の劣化がみられる。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.060555度	141.141666度
丑沢水路11号橋	ウシザワスイロジウコウキョウ	前沢	北久保安久沢東線	不明	4.5	5.4	III	主桁の一部に鉄筋露出、堅壁(基礎部)に深さ20cm程度の洗堀が確認される。橋梁構造性の観点から早期に補修を行うことが望ましい。	39.059166度	141.142777度
安久沢南橋	アサキサキハシ	前沢	北久保安久沢東線	不明	3.4	4.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.05888度	141.142777度
藤巻橋	フジマキハシ	前沢	阿部館三反田線	1998	12.3	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.059167度	141.145000度
宮内排水路13号橋	ミヤウチハイスイロジウサウコウキョウ	前沢	天王谷起1号線	1997	2.5	3.5	II	目地の欠損が見られる。変状は局部的であるが、漏水によりコンクリート部材の損傷原因に繋がるため、措置を講ずることが望ましい。	39.057777度	141.152777度
天王谷起橋	テンノウヤキハシ	前沢	明土阿部館線	不明	11.6	7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.058055度	141.144444度
宮内排水路11号橋	ミヤウチハイスイロジウコウキョウ	前沢	筋田明土線	1997	2.1	5.2	II	頂版に漏水・滞水、両側壁にひびわれが見られる。漏水は継続的に見られることから、コンクリート部材劣化の進行性が高いと考えられる。予防保全の観点より措置を講ずることが望ましい。	39.061388度	141.154722度
岩の沢川6号橋	イワノサワガワコウキョウ	前沢	生白10号線	不明	5.8	5.3	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.060277度	141.178333度
岩の沢川7号橋	イワノサワガワコウキョウ	前沢	南在中道線	2001	6.1	9	III	頂版に最大幅0.5mmの床版ひびわれ、翼壁に遊離石灰を伴う0.6mmのひびわれが見られる。予防保全の観点から速やかな補修を行うことが望ましい。	39.058333度	141.175000度
町裏橋	マチウラハシ	前沢	南在中道線	1965	7.5	6.5	II	主桁にひびわれやうきが見られる。予防保全の観点から、補修することが望ましい。	39.058056度	141.175000度
下野橋	シモハシ	前沢	町谷地前線	2003	7.8	12.9	II	頂版に0.3mmの床版ひびわれ、両側壁に0.35mmのひびわれ、防護柵にボルトの脱落がみられる。角落ちは見られないがひびわれ幅が大きいため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.057777度	141.174166度
本田橋	ホンダハシ	前沢	町谷地前線	1969	5	6.6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.057222度	141.175556度
太郎ヶ沢川3号橋	タロウガサワガワコウキョウ	前沢	藤森障場線	1977	13.4	3	II	主桁、横桁に腐食と防食機能の劣化が見られる。支保部は本体とアンカーボルトに腐食がみられ、層状剥離が確認される。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.058333度	141.108333度
太郎ヶ沢川4号橋	タロウガサワガワコウキョウ	前沢	障場太郎ヶ沢線	不明	6.1	3.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.05277度	141.109166度
大林寺下橋	ダイリンジノカハシ	前沢	大林寺下線	1987	4.5	3.8	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.05611度	141.127222度
宮内排水路16号橋	ミヤウチハイスイロジウコウキョウ	前沢	天王谷起前沢下谷起線	1998	7.4	3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.053333度	141.147778度
岩の沢川8号橋	イワノサワガワコウキョウ	前沢	生白23号線	2001	7.7	5.5	II	頂版に床版ひびわれ、側壁にひびわれが見られる。それぞれひびわれ幅は0.2~0.3mmと比較的広いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.053055度	141.171666度
岩の沢川9号橋	イワノサワガワコウキョウ	前沢	生母下谷起線	1976	11	6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.051389度	141.164722度
岩の沢川15号橋	イワノサワガワコウキョウ	前沢	生白22号線	不明	9	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.054722度	141.173333度
南在1号橋	ミナミノイサコウキョウ	前沢	南在4号線	1990	5.9	4.3	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.052500度	141.173055度
南在2号橋	ミナミノコウキョウ	前沢	南在4号線	1990	6.4	5.3	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.052500度	141.174166度
南在3号橋	ミナミノサコウキョウ	前沢	南在4号線	1989	5.8	5.3	II	頂版に乾燥収縮が要因と思われる床版ひびわれが見られる。	39.052777度	141.174722度
生母不動橋	セイボウドウハシ	前沢	町谷地前線	1963	6.4	7.6	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から、補修することが望ましい。	39.055436度	141.176981度
岩沢橋	イワサワハシ	前沢	南在中道線	1967	7.3	6.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.053333度	141.172500度
大日向橋	オホヒナカハシ	前沢	大日向線	1998	2.4	4.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.052500度	141.182222度
滝の沢橋	タキノサワハシ	前沢	滝ノ沢三沢線	不明	3.7	2.7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.052528度	141.191111度
太郎ヶ沢川5号橋	タロウガサワガワコウキョウ	前沢	治ヶ崎太郎ヶ沢線	不明	7.3	3	III	支保部、アンカーボルトに腐食が見られる。前回の点検から著しい損傷の進行が見られることから、速やかに補修することが望ましい。	39.046667度	141.113611度
岩の沢川10号橋	イワノサワガワコウキョウ	前沢	羽場下谷起線	不明	11.7	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.049444度	141.161389度
岩の沢川11号橋	イワノサワガワコウキョウ	前沢	羽場館下1号線	不明	11.7	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.048333度	141.160000度
雨瀬橋	アメノセハシ	前沢	市ノ渡1号線	不明	5.8	2.7	III	床版全体に剥離が見られる。部材への影響が懸念されることから、速やかに補修することが望ましい。	39.048056度	141.178611度
成岡田橋	ナリオガハシ	前沢	成岡田線	不明	2.8	6.2	II	頂版継ぎ目に橋面からの浸透水が要因と思われる漏水が見られる。凍害の影響を受ける可能性が高いため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.055277度	141.191111度
太郎ヶ沢川10号橋	タロウガサワガワコウキョウ	前沢	平前塔ヶ崎線	不明	9.5	1.6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.04138度	141.12333度
前沢水路13号橋	マエサワスイロジウサウコウキョウ	前沢	高畑2号線	不明	5	3	III	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。進行性のある損傷であることから、早期対策が望ましい。	39.045000度	141.127222度
五反田北橋	ゴタンダキタハシ	前沢	高畑前沢田中線	不明	4.4	3.3	II	両側壁のハンチに鉄筋露出が見られる。かぶり不足が要因と推定される。雨水の影響により鉄筋腐食の進行性が高まり、コンクリート部材の損傷原因となり得るため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.044166度	141.127777度
前沢水路14号橋	マエサワスイロジウコウキョウ	前沢	前沢田中高畑線	1994	3.1	5	II	頂版に目地部からの漏水・滞水が見られる。目地部からの漏水は継続的に見られることから、コンクリート部材劣化の進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.043611度	141.129444度
前沢水路15号橋	マエサワスイロジウコウキョウ	前沢	南前沢古川線	1994	5.6	5.4	II	頂版と側壁に目地部からの漏水・滞水、地覆側面に遊離石灰を伴うひびわれが見られる。目地部からの漏水は継続的に見られることから、コンクリート部材劣化の進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.041111度	141.129722度
太郎ヶ沢川7号橋	タロウガサワガワコウキョウ	前沢	大塚線	不明	8.4	4.4	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.040555度	141.126944度
太郎ヶ沢川8号橋	タロウガサワガワコウキョウ	前沢	南前沢一本杉線	1994	8.4	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.040833度	141.128333度
島橋	シマハシ	前沢	高畑島線	1994	3.2	4.9	II	頂版と側壁に漏水・滞水が見られる。漏水は継続的に見られることから、コンクリート部材劣化の進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.041111度	141.138333度
太郎ヶ沢川9号橋	タロウガサワガワコウキョウ	前沢	一本杉狐堂線	1994	10.5	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.039444度	141.129722度
谷起橋	ヤキハシ	前沢	屋敷南前沢線	不明	12.1	1.8	III	杭基礎に荷重が要因と推定されるひびわれが見られる。杭の構造的影響が大きいものと推定され、橋梁構造の安全性の観点から速やかに補修を行う必要がある。	39.036667度	141.131389度
大塚橋	オオツカハシ	前沢	高畑赤面線	1994	10.7	9	II	頂版に橋面からの浸透水が要因と思われる遊離石灰の滲出が見られる。舗装ひびわれが発生している箇所の直下付近であることから予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.037500度	141.130555度
芥田橋	カイダハシ	前沢	下谷記郷林線	不明	3	3.1	III	主桁に抜け落ちが見られる。	39.03911度	141.15176度
芥田1号橋	カイダイコウキョウ	前沢	芥田4号線	2001	3.2	5.4	II	頂版及び翼壁に遊離石灰、底版に洗掘が見られる。遊離石灰による凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.052777度	141.148055度
田谷下橋	タヤノカハシ	前沢	田谷線	不明	7	2.7	II	橋脚梁部に凍害の影響による剥離、伸縮装置に15~20mmの段差が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.031388度	141.145277度
赤生津開田橋	アカシヅメノハシ	前沢	上水向谷起線	不明	7.2	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.029167度	141.142500度
内緒橋	ナイゼンハシ	前沢	吉田小六線	1976	12	3.6	III	主桁に腐食が見られる。前回の点検時から加率的に進行していることから、早期に措置を講ずる必要がある。	39.027222度	141.139722度
箱石橋	ハコイハシ	前沢	吉田柳沢線	不明	4	7	II	A1橋台壁面に剥離・鉄筋露出、舗装に異常が見られる。	39.02361度	141.141666度
明後沢川13号橋	メイゴサワガワコウキョウ	前沢	真城堂上ノ台下线	1988	12.5	6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.03611度	141.144167度
内ノ町橋	ウチノマチハシ	前沢	野田上ノ台下线	不明	2.4	10	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.074444度	141.141388度
野中前橋	ノカマエハシ	前沢	野田上ノ台下线	不明	3.4	7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.064722度	141.140000度
姥屋敷橋	ウバヤシキハシ	前沢	圃場整備内	不明	2.6	5.2	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.08611度	141.139722度
前沖1号橋	マエキコウキョウ	前沢	館合下前沖線	2004	2.1	5	II	舗装面に凹凸が見られる。輪荷重の繰り返しによる損傷の拡大が懸念されるため、維持工事で対応する必要がある。	39.084722度	141.144166度
沖屋敷1号橋	オキヤシキコウキョウ	前沢	館合下沖屋敷線	2004	2.1	17	II	舗装面にひびわれが見られる。輪荷重の繰り返しによる損傷の拡大が懸念されるため、維持工事で対応する必要がある。	39.085277度	141.144166度
島塚1号橋その2	シマツカ1号橋その2	胆沢	寺下広表線	1991	2.4	3.5	II	頂版及び側壁に漏水が見られる。漏水により今後凍害の影響も受けやすくなるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.137222度	141.066111度
駒堂橋	コマノハシ	胆沢	駒堂上広岡線	1998	2.6	4	II	頂版及び側壁に漏水・滞水、漏水・遊離石灰が見られる。損傷範囲が広く、部材への影響が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.156388度	141.080555度
上戸橋	ジョウトハシ	胆沢	木場場下川原上代線	1998	2.5	4.5	II	側壁に漏水・滞水、防護柵に変形がみられる。目地部からの漏水は継続的に見られることから、コンクリート部材劣化の進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.156666度	141.084166度
三谷橋	ミヤハシ	胆沢	上戸1号線	1998	2.4	4.5	II	頂版の継ぎ目に橋面からの浸透水が要因と思われる遊離石灰の滲出、側壁の継ぎ目からの漏水が見られる。範囲も広く、今後凍害の影響を受ける可能性が高いため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.156944度	141.086944度
猪川1号橋	イノカワ1号橋	胆沢	五松林上戸線	1987	8.4	7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.152222度	141.078611度
猪川2号橋	イノカワ2号橋	胆沢	駒堂館線	1979	8.5	7	II	伸縮装置に経年変化が要因と思われる路面の凹凸が見られる。段差が35mmあり範囲も広く、今後通行車両のタイヤ等に影響を与える可能性が高くなることから、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.151666度	141.078333度
外記橋	ゲキハシ	胆沢	木場場下川原上代線	1989	6.8	3.3	II	主桁に鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.14905度	141.085556度
外記1号橋	ゲキ1号橋	胆沢	五木田外記線	1995	3.3	14.4	II	頂版及び側壁に漏水、底版に土砂堆積、舗装に土砂詰まりが見られる。頂版は今後凍害の影響を受ける可能性が高くなるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.150000度	141.086666度
上戸2号橋	ジョウト2号橋	胆沢	五松林上戸2号橋	不明	2.6	11.5	I	健全であり、部材の機能に支障が生じていない状態。	39.153333度	141.080333度
二丁目橋	ニチウメハシ	胆沢	堰田宇南田線	不明	3.1	7.1	II	A1橋台壁面にひびわれが見られる。	39.14944度	141.09666度
堰根1号橋	セキネイコウハシ	胆沢	古城千刈田線	不明	3.9	4.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.149166度	141.104166度
谷地中橋	ヤチノカハシ	胆沢	堰根濁川線	1965	6.5	4	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.150000度	141.105277度
千刈田橋	チノキリ田ハシ	胆沢	千刈田南都田田中線	不明	3.9	3	II	床版に床版ひびわれ、A1側壁に剥離・欠損が見られる。	39.14916度	141.110833度
中井橋	ナカイハシ	胆沢	中井五木田線	1964	2	3.7	III	主桁に剥離・鉄筋露出、A1A2橋台壁面に欠損が見られる。	39.14793度	141.05788度
石仏2号橋	イソトキニクノハシ	胆沢	三反町下川原谷地中線	1993	2.2	4	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.144444度	141.075833度
石仏1号橋	イソトキイチノハシ	胆沢	駒堂館線	1979	8.5	7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.145555度	141.078611度
熊野橋	クマノハシ	胆沢	駒堂上広岡線	1967	8.5	3.8	II	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.147500度	141.081666度
郷田橋	ゴウダハシ	胆沢	郷田森下線	不明	5.5	4.7	II	主桁に剥離・鉄筋露出、舗装に段差量72mmの路面の凹凸が見られる。今後鉄筋の腐食が進行すると橋梁構造性への影響を与える可能性が高くなるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.146388度	141.092222度
遠興院橋	トウキョウノハシ	胆沢	机地下広岡線	1977	5.3	5.5	II	床版に漏水・遊離石灰、舗装に段差量30mmの路面の凹凸が見られる。床版は、一部に錆汁の混入も確認されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.146388度	141.094444度
机地1号橋	ウツチ1号橋	胆沢	袖ノ町千刈田線	1995	2.5	3.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.146666度	141.096666度
机地2号橋	ウツチ2号橋	胆沢	堰田宇南田線	1995	3	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.146944度	141.096944度
化粧野3号橋	ケツノノサウコウハシ	胆沢	化粧野幅下線	1992	2.1	3.8	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.138333度	141.048333度
島塚3号橋	シマツカ3号橋	胆沢	五木田若柳広表1号線	1991	2	4.5	II	頂版に目地部からの漏水が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.137222度	141.066111度
谷地中1号橋	ヤチノカハシ	胆沢	駒堂館線	不明	5.5	6.9	II	A1橋台壁面にひびわれ、舗装に異常が見られる。	39.14111度	141.079166度
谷地中2号橋	ヤチノカハシ	胆沢	三反町下川原谷地中線	1953	4	3.5	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.06305度	141.10055度

道路橋名	アカナ	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R5	所見等	緯度	経度
京徳田1号橋	キョウトクダイチゴウハン	胆沢	机地下広岡線	1990	2.9	5	II	頂版に二方向の床版ひびわれが見られる。荷重により、進行性が高くなると考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.138333度	141.095833度
塚田橋	ツカダハシ	胆沢	郷田森下線	1997	2.4	3.5	II	防護柵にボルトの脱落が見られる。第三者被害が懸念されるため、措置を講ずることが望ましい。	39.138333度	141.093333度
大橋橋	オオハシ	胆沢	銭倉北峠線	1968	3.9	11.3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.138333度	141.089722度
京徳田橋	キョウトクダハシ	胆沢	宇南田上中谷地線	1974	6.6	8	II	主桁に欠損、床版に遊離石灰、堅壁に幅1.3mmのひびわれ、防護柵に腐食がみられる。損傷範囲も比較的広いことから、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.138333度	141.098333度
宇南田橋	ウナダハシ	胆沢	塚田広表線	2000	2.7	6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.138055度	141.101111度
谷地橋	ヤチハシ	胆沢	二丁目片子沢線	1978	9.4	3.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.138333度	141.103888度
界田橋	サカイダハシ	胆沢	堰根通川線	1993	3.8	6	II	頂版及び側壁に漏水・滲水が見られる。漏水は継続的に見られることから、コンクリート部材劣化の進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点より措置を講ずることが望ましい。	39.139722度	141.106388度
午房谷地2号橋	ゴホウヤチニコウハン	胆沢	宇南田板谷線	1996	3.3	4	II	頂版及び側壁に漏水・滲水が見られる。漏水は継続的に見られ、コンクリート部材劣化の進行性が高くなることから、予防保全の観点より措置を講ずることが望ましい。	39.140277度	141.107222度
午房谷地1号橋	ゴホウヤチイチゴウハン	胆沢	千刈田鶴田線	1996	3.4	3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.140833度	141.108611度
上田中1号橋	カミナカイチゴウハン	胆沢	上田中明神下線	1995	2.1	4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.133055度	141.040000度
上田中2号橋	カミナカニゴウハン	胆沢	上田中丹波線	1995	2.2	4.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.133888度	141.041388度
卯台2号橋	ウダイニゴウハン	胆沢	卯台丹波線	1992	2.5	4.7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.135555度	141.043611度
前川端3号橋	マエカワハシ	胆沢	卯台丹波線	1990	7	4	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.132777度	141.044444度
化粧野1号橋	ケシノイチゴウハン	胆沢	島丹波線	1991	2.2	6.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.137222度	141.046388度
三反町1号橋	サンマチイチゴウハン	胆沢	下田中松原線	不明	2.2	3.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.134444度	141.054444度
新中1号橋	シンナカイチゴウハン	胆沢	中井福荷1号線	1991	2.2	6.8	II	頂版および側壁に漏水・滲水が見られる。凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.135833度	141.061111度
島塚1号橋	シマツカイチゴウハン	胆沢	寺下広表線	1991	2	4.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.137222度	141.066111度
吾柳広表橋	ウヤナキヒロオモハシ	胆沢	寺下広表線	不明	5	4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.136111度	141.066944度
独光1号橋	ドッコウイチゴウハン	胆沢	独光館線	1989	4.4	8	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.135833度	141.073055度
南都田大連4号橋	ナンツタダイリョウゴウハン	胆沢	駒堂上広岡線	1995	4.6	5.9	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.133333度	141.083333度
四ツ柱1号橋	ヨツハシイチゴウハン	胆沢	銭倉北峠線	1994	2.3	9.6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.134166度	141.090277度
四ツ柱2号橋	ヨツハシニゴウハン	胆沢	郷田森下線	1996	2.3	4.3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.134444度	141.093888度
駒木橋	コマキハシ	胆沢	机地下広岡線	1996	2.3	4.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.134444度	141.096388度
南都田広表1号橋	ナンツタヒロオモイチゴウハン	胆沢	宇南田上中谷地線	1997	2.5	8	II	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.135000度	141.098888度
南都田広表2号橋	ナンツタヒロオモニゴウハン	胆沢	下松原鶴田線	1997	2.3	14.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.136111度	141.098888度
板谷橋	イタバシ	胆沢	板谷鶴田線	1980	5.9	3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.134444度	141.109444度
鶴田1号橋	ツルタイチゴウハン	胆沢	板谷鶴田線	1980	6.3	3	II	主桁に乾燥収縮が要因とされる、ひびわれがみられる。ひびわれ幅0.3mmと広く、漏水の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.135000度	141.111944度
鶴田2号橋	ツルタニゴウハン	胆沢	鶴田1号線	1994	2.2	8	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.135555度	141.114444度
上の沢橋	ウノノサハシ	胆沢	上愛宕北中央線	1995	10.9	6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.127500度	140.968333度
門ヶ城橋	カドガシロハシ	胆沢	下鹿合愛宕線	不明	6.2	5.8	II	横桁、床版、堅壁に凍害が要因とされるに鉄筋露出が見られる。鉄筋の腐食は今後進行するおそれがあるため措置を講ずることが望ましい。	39.128333度	140.987500度
寿安堰橋	シユアンゼンキハシ	胆沢	上堰袋橋	1996	4.5	6.8	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.127655度	141.032666度
土橋2号橋	ドニシゴウハン	胆沢	土橋出店線	1993	4.1	4	II	頂版に乾燥収縮が要因と思われる1方向の遊離石灰を伴った床版ひびわれが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.127222度	141.031944度
土橋1号橋	ドニシイチゴウハン	胆沢	土橋大持線	1993	4.5	3.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.128611度	141.031388度
於呂閉志橋	オロシハシ	胆沢	土橋明神下線	不明	8.6	4.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.144483度	141.139661度
茂井羅橋	シゲイラハシ	胆沢	明神川原北台線	1976	7.4	6.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.131666度	141.036666度
明神下橋	メイジンシタハシ	胆沢	明神下香取線	1989	2.3	5.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.130833度	141.033611度
堰合1号橋	ゼキアイチゴウハン	胆沢	土橋大持線	1989	4	4.4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.128333度	141.033333度
堰合2号橋	ゼキアイニゴウハン	胆沢	土橋出店線	1989	2.8	4.4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.127500度	141.034166度
前川端1号橋	マエカワハシ	胆沢	上田中明神下線	1990	7	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.131944度	141.040277度
作屋敷1号橋	サクヤシキイチゴウハン	胆沢	独光館線	1991	2.1	8.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.130000度	141.073611度
園分1号橋	コウブンイチゴウハン	胆沢	駒堂館線	1965	3.3	5.7	II	主桁に鉄筋露出、A1A2橋台堅壁に傾斜が見られる。	39.128333度	141.080833度
下広岡2号橋	シモヒロオモニゴウハン	胆沢	下広岡板谷線	1995	3.3	3.6	II	頂版および側壁に漏水・滲水が見られる。損傷範囲が広いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.128055度	141.097500度
松岩寺橋	シウガンジハシ	胆沢	宇南田上中谷地線	1975	7.4	8	II	堅壁に漏水、防護柵に腐食がみられる。橋台の漏水は広範囲であり、凍害の影響を受けて損傷の進行性が高くなると考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.128055度	141.099722度
下松岩寺橋	シモウガンジハシ	胆沢	下萱刈窪鶴田線	1985	3.2	6.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.128333度	141.100277度
丑ヶ深橋	ウシガフカハシ	胆沢	谷地片子沢線	1970	3.6	2.7	II	主桁に剥離・鉄筋露出、舗装に路面の凹凸が見られる。	39.129444度	141.102222度
浅野4号橋	アサノヨウハン	胆沢	谷地片子沢線	1995	3.3	4.3	II	頂版に側壁に橋面からの浸透水が要因と思われる漏水がみられる。漏水は広範囲に発生しており、今後凍害の影響を受けやすいことから、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.128055度	141.102222度
浅野橋	アサノハシ	胆沢	下萱刈窪鶴田線	1986	3.5	6.5	II	頂版及び側壁にひびわれ、舗装に鉄筋露出、地覆に鉄筋腐食膨張が要因と思われるうきが見られる。局部的であるが鉄筋腐食が進行しつつあるため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.129644度	141.103838度
浅野1号橋	アサノイチゴウハン	胆沢	二丁目片子沢線	1980	5	3.2	II	A1A2橋台堅壁に剥離・鉄筋露出、舗装に路面の凹凸が見られる。	39.13156度	141.104736度
濁川2号橋	ニリガワニゴウハン	胆沢	二丁目片子沢線	1995	3.3	3.6	II	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.127913度	141.104905度
濁川3号橋	ニリガワサンゴウハン	胆沢	堰根川線	1994	3.3	4	II	頂版に橋面からの浸透水が要因と思われる漏水がみられる。漏水は広範囲に発生しており、今後凍害の影響を受けやすいことから、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.127833度	141.108463度
愛宕橋	アタハシ	胆沢	愛宕堰通線	不明	7	6.5	II	床版に遊離石灰、堅壁にひびわれ、舗装に路面の凹凸が見られる。主桁・床版は、遊離石灰を伴う漏水の影響により、今後も進行する恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.123502度	141.000477度
土橋3号橋	ドニシサンゴウハン	胆沢	土橋堰合線	不明	4.2	3.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.125452度	141.032341度
出店3号橋	デダナサンゴウハン	胆沢	出店御清水場2号線	1990	2.4	3.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.126186度	141.041258度
出店1号橋	デダナイチゴウハン	胆沢	明神川原北台線	1989	2.7	7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.126488度	141.036638度
柏木田2号橋	カシノキダニゴウハン	胆沢	柏木田八幡屋敷線	1990	2.7	4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.125777度	141.045377度
大町2号橋	オオマチニゴウハン	胆沢	大町若柳武枚橋線	1990	2.3	5.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.125575度	141.048027度
大町1号橋	オオマチイチゴウハン	胆沢	化粧野幅下線	1990	2.3	3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.125450度	141.050558度
茂井羅堰橋	シゲイラゼンキハシ	胆沢	相馬堰前高藤線	1987	8.5	7.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.144483度	141.139661度
要害2号橋	ヨガイニゴウハン	胆沢	相馬堰南都田小十文字線	1985	8.4	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.124563度	141.063127度
要害4号橋	ヨガイヨウハン	胆沢	要害南都田小十文字線	1991	2.3	3.4	I	健全である。	39.124258度	141.064958度
鍛冶屋敷1号橋	カシヤシキイチゴウハン	胆沢	要害南都田小十文字線	2000	6.1	3.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.12291度	141.064736度
林福野2号橋	リンフクノニゴウハン	胆沢	漆町蛸の手線	1994	3.3	5.4	II	頂版、側壁に目地からの漏水、舗装に路面の凹凸、ひびわれ等が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.125158度	141.077500度
林福野1号橋	リンフクノイチゴウハン	胆沢	独光館線	1994	2.7	16.8	II	舗装に経年劣化が要因と思われる最大76mmの凹凸が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.124708度	141.074625度
大持1号橋	ダイチイチゴウハン	胆沢	独光加賀谷地線	1992	3.3	7.2	I	頂版に二方向ひびわれ、欠損が見られる。どちらも損傷が軽微であるため、状況に応じて補修を行うのが望ましい。	39.12436度	141.07096度
大持2号橋	ダイチニゴウハン	胆沢	独光加賀谷地線	1992	4.5	6	II	頂版に乾燥収縮が要因と推定される一方向のひびわれが見られる。ひびわれの進行が見られるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.12431度	141.07096度
上広岡橋	カミヒロオモハシ	胆沢	上広岡森下線	1994	3.5	3.3	II	A1側壁のPC鋼材縦締め金具の保護コンクリートが剝離している。定着金具に腐食が見られる程度であるが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.125544度	141.088191度
園分2号橋	コウブンニゴウハン	胆沢	上広岡化粧板線	1994	3.3	5.2	II	PC鋼材縦締め金具の保護コンクリートが剝離している。定着金具に腐食が見られる程度であるが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.125408度	141.085197度
清志田橋	シメダハシ	胆沢	駒堂館線	1994	3.4	6.3	II	目地部からの漏水が要因と推定される遊離石灰の滲出が見られる。漏水は継続的で、進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.125677度	141.081366度
清志田1号橋	シメダイチゴウハン	胆沢	駒堂館線	1965	2	6.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.122211度	141.081769度
菟谷田橋	ウジヤダハシ	胆沢	郷田森下線	1995	3.4	5.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.121516度	141.095330度
下広岡1号橋	シモヒロオモイチゴウハン	胆沢	郷田森下線	1995	3.7	2.8	II	PC鋼材縦締め金具の保護コンクリートが剝離している。定着金具に腐食が見られる程度であるが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.126863度	141.094675度
堀川橋	アガハシ	胆沢	銭倉北峠線	1995	3.4	11.1	II	頂版に橋面からの浸透水による漏水、側壁には凍害の影響による鉄筋露出が確認された。今後、凍害の影響を受けやすいことから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.125733度	141.091875度
片子沢橋	カタコサハシ	胆沢	宇南田上中谷地線	1975	6.1	8.1	II	橋台堅壁に乾燥収縮が要因と思われるひびわれ、支保体系に経年劣化による腐食と防食機能の劣化がみられる。ひびわれは、幅が広く漏水の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい状態。	39.123236度	141.103758度
菟谷田1号橋	ウジヤダイチゴウハン	胆沢	菟谷田2号線	1995	3.4	4	II	目地部から橋面からの浸透水が要因と推定される漏水が見られる。漏水は継続的で、進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.121875度	141.098361度
片子沢1号橋	カタコサイチゴウハン	胆沢	片子沢1号線	1997	3.5	8.4	II	頂版・側壁に漏水が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.124697度	141.107525度
上堰橋	ウベキハシ	胆沢	愛宕堰通線	1991	5.3	6.5	II	頂版に繰り返し荷重が要因と推定される幅0.3mm程度のひびわれが見られる。また、漏水・遊離石灰の滲出も部分的に見られる。	39.119927度	141.031944度
堰通橋	ウベキハシ	胆沢	堰通線	1991	3.7	3.4	II	側壁に乾燥収縮が要因と推定されるひびわれが見られる。損傷の進行が見られるため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.118825度	141.031944度
上堰1号橋	ウベキイチゴウハン	胆沢	愛宕堰通線	1992	2.4	6.5	II	頂版に漏水・遊離石灰、側壁に漏水が見られる。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.119941度	141.031772度
上堰2号橋	ウベキニゴウハン	胆沢	死口上堰線	1991	3.8	4.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.117958度	141.031297度
土橋5号橋	ドニシゴウハン	胆沢	土橋幅下線	1992	4.1	4	II	頂版に乾燥収縮が要因と推定されるひびわれが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.121658度	141.032561度
山の神橋	ヤマノカミハシ	胆沢	明神川原北台線	1984	7.7	7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.117797度	141.036880度

道路橋名	アカナ	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R5	所見等	緯度	経度
一枚橋	イマイハシ	胆沢	下登川窪鶴田線	1986	12.5	7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.116666度	141.042336度
山ノ神2号橋	ヤマノカミゴウハシ	胆沢	明神川原北台線	1992	3.7	7.1	II	頂版・側壁に遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.11792度	141.03692度
山ノ神3号橋	ヤマノカミサンゴウハシ	胆沢	下登川窪鶴田線	1991	3.6	8.3	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.116725度	141.042513度
二枚橋	ニマイハシ	胆沢	下登川窪鶴田線	1986	2.7	7.1	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.118208度	141.044450度
野中1号橋	ノカチゴウハシ	胆沢	野中下十文字線	1993	2.8	3	I	道路橋の機能に支障は生じていない状態。	39.118863度	141.047350度
下十文字2号橋	シモジュウモンジゴウハシ	胆沢	下十文字線	1992	2.4	4.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない状態。	39.116316度	141.049491度
幅屋敷3号橋	ハバヤシキサンゴウハシ	胆沢	菅塚南都田小十文字線	1996	2.1	3.6	II	頂版、側壁に目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.121388度	141.058055度
石行橋	イシキョウハシ	胆沢	石行1号線	2004	2.6	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.119166度	141.065555度
蛸の手2号橋	カマテゴウハシ	胆沢	蛸の手2号線	1965	2.5	6.2	II	流水による壁の浸食が見られる。予防保全の観点から、補修を行うことが望ましい。	39.116944度	141.082222度
萩の窪1号橋	ハギノクボイゴウハシ	胆沢	鎌倉北峠線	1995	4.1	14.7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.121111度	141.092222度
川北2号橋	カキタニゴウハシ	胆沢	北長権南長権線	1982	5.1	2.1	II	主桁に遊離石灰を伴うひびわれが見られる。	39.11694度	141.096388度
下長権橋	シモナガタニハシ	胆沢	宇南田上中谷地線	1976	5.1	8	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.118333度	141.106666度
川北1号橋	カキタニゴウハシ	胆沢	川北前屋沢線	1983	4.8	7	II	頂版に乾燥収縮が要因と推定される一方のひびわれが見られる。ひびわれの進行が見られるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.117777度	141.099722度
北笹森3号橋	キタササモリゴウハシ	胆沢	北笹森8号線	1978	5.4	6.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.116111度	141.118333度
下笹森橋	シモササモリハシ	胆沢	笹森下笹森線	2000	2.3	6.9	II	頂版、側壁に目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.116944度	141.127500度
下笹森3号橋	シモササモリゴウハシ	胆沢	小山二枚橋南笹森線	2000	2.3	6.7	II	頂版、側壁に目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.117222度	141.128888度
下笹森1号橋	シモササモリゴウハシ	胆沢	下笹森小山二枚橋線	1977	11	3.2	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.11805度	141.130833度
下笹森2号橋	シモササモリゴウハシ	胆沢	岩ヶ馬場小山二枚橋線	1975	12.5	3	II	主桁・横桁・支保部本体に腐食が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.118333度	141.131944度
二枚橋1号橋	ニマイハシイゴウハシ	胆沢	龍ヶ馬場小山二枚橋線	1990	4.1	5.8	I	健全である。	39.117777度	141.135277度
宮沢原橋	ミヤザワハシ	胆沢	宮沢原横沢原線	不明	4.2	5.9	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.11416度	141.00000度
若柳西風1号橋	ワカヤシナライゴウハシ	胆沢	上土橋上中沢線	1977	3	6.6	II	頂版に橋面からの浸透水が要因と思われる漏水が見られる。今後、凍害の影響を受ける可能性が高いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.113333度	141.012500度
若柳西風6号橋	ワカヤシナライゴウハシ	胆沢	上土橋上中沢線	1995	3.6	6.2	II	頂版に橋面からの浸透水が要因と思われる漏水が見られる。凍害の影響を受ける可能性が高いため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.110833度	141.007222度
野中3号橋	ノカチゴウハシ	胆沢	南丑転下十文字線	1989	2	6.2	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.113333度	141.050277度
上十文字橋	カシウモンジハシ	胆沢	南丑転下十文字線	1990	14	6.5	I	伸縮装置部に路面の凹凸、地覆に変形・欠損が見られるが、道路橋の機能に支障は生じていない。	39.11102度	141.04439度
十文字橋	ジュウモンジハシ	胆沢	小山小十文字長泥線	1993	2.2	5.9	I	健全である。	39.115555度	141.053611度
長泥橋	ナガドロハシ	胆沢	相馬権前嘉藤線	1989	7.3	6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.115555度	141.059722度
小山小十文字1号橋	オヤマコジュウモンジイゴウハシ	胆沢	小山小十文字長泥線	1993	2.2	3.4	I	健全である。	39.115555度	141.056388度
小山小十文字2号橋	オヤマコジュウモンジゴウハシ	胆沢	小山小十文字長泥2号線	1993	2.2	3.4	I	健全である。	39.115555度	141.058055度
長泥1号橋	ナガドロイゴウハシ	胆沢	下十文字長泥1号線	1993	2.2	3.4	I	健全である。	39.114444度	141.065000度
蛸の手3号橋	カマテサンゴウハシ	胆沢	漆町蛸の手線	1967	3.5	3.8	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.11527度	141.079166度
蛸の手1号橋	カマテイゴウハシ	胆沢	独光館線	1995	2.7	15.6	II	頂版に漏水・遊離石灰、側壁に鉄筋露出が見られる。漏水は今後も継続的に見られることから、措置を講ずることが望ましい。	39.114444度	141.075833度
北蛸の手橋	キタカマテハシ	胆沢	駒堂館線	1968	7.8	5.9	I	道路橋の機能に支障は生じていない状態。	39.112777度	141.082222度
川北橋	カキタハシ	胆沢	駒堂館線	1969	7.4	7.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.112222度	141.082222度
南長権1号橋	ミナミナガタニイゴウハシ	胆沢	鎌倉北峠線	1977	5.3	5.6	II	床版に遊離石灰を伴う格子状のひびわれが見られるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.11249度	141.092222度
長権橋	ナガタニハシ	胆沢	鎌倉北峠線	1968	5.3	6	II	壁面に浸透水が要因と推定される漏水が見られる。凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.115833度	141.091944度
南長権2号橋	ミナミナガタニゴウハシ	胆沢	北長権南長権線	1994	6	2.8	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.11250度	141.095555度
北屋沢1号橋	キタルサウイゴウハシ	胆沢	北屋沢中屋沢線	不明	7.3	3	II	床版に遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.11388度	141.106666度
北屋沢2号橋	キタルサウゴウハシ	胆沢	北屋沢1号線	不明	7.2	4	II	床版に遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.110833度	141.106944度
中屋沢橋	ナカウサハシ	胆沢	宇南田上中谷地線	1975	8.1	8	II	A1・A2壁面に伸縮装置からの浸透水が要因と思われる漏水が見られる。広範囲に発生しており、凍害による損傷の要因にもなりうることから、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.111666度	141.104166度
南長権橋	ミナミナガタニハシ	胆沢	川北前屋沢線	1977	7.4	6.5	II	壁面に凍害が要因と推定される鉄筋露出が見られる。損傷の進行が懸念され、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.112777度	141.098888度
附野1号橋	ツケイゴウハシ	胆沢	附野南笹森線	2000	3	5	II	目地部からの漏水が要因と推定される錆汁を伴う遊離石灰が見られる。漏水は継続的で、進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.115833度	141.123888度
中萩森橋	ナカハギモリハシ	胆沢	中萩森上萩森2号線	1969	6.2	7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.105555度	140.980833度
若柳西風3号橋	ワカヤシナライゴウハシ	胆沢	天沢丑転線	1993	3.6	9.2	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.107777度	141.011111度
南丑転2号橋	ミナミウシノコウハシ	胆沢	南丑転線	1984	4.9	5.1	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.110277度	141.019444度
上十文字1号橋	カシウモンジイゴウハシ	胆沢	南丑転下十文字線	1996	2.9	7.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.109166度	141.032777度
北台1号橋	キタダイゴウハシ	胆沢	明神川原北台線	1994	2.2	5.4	II	頂版、側壁の目地からの漏水が見られる。状況に応じて補修を行うことが望ましい。	39.106111度	141.039444度
北台橋	キタダイハシ	胆沢	上十文字下大谷地線	1977	12.2	5	II	主桁の目地材の劣化と脱落が見られる。漏水を伴っており、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.108888度	141.043055度
北台2号橋	キタダイゴウハシ	胆沢	上十文字下大谷地線	1991	2.3	5.4	II	頂版及び側壁において、漏水・遊離石灰が見られる。また、剥離・鉄筋露出が見られる。状況に応じて補修を行うことが望ましい。	39.108888度	141.043055度
久保5号橋	クボゴウハシ	胆沢	高線久保線	不明	7.8	3.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.10611度	141.074444度
久保6号橋	クボロウゴウハシ	胆沢	久保2号線	不明	5.1	3.7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.10666度	141.073333度
上屋沢2号橋	カミルサウゴウハシ	胆沢	上屋沢前屋沢線	1991	3.3	6	II	頂版にひびわれが見られる。損傷の進行は見られないがひびわれ数量が多いため予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.108888度	141.092222度
北大畑平1号橋	キタオハタレイゴウハシ	胆沢	北大畑平1号線	2000	3.9	5.3	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.10416度	141.023611度
北大畑平3号橋	キタオハタレイゴウハシ	胆沢	土橋上大平線	2009	7.5	7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.105277度	141.021388度
北大畑平2号橋	キタオハタレイゴウハシ	胆沢	山の神北大畑平線	1993	3.9	9.3	II	頂版に橋面からの浸透水が要因と思われる漏水が見られる。凍害の影響を受ける可能性が高いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.10107度	141.02816度
下大畑平3号橋	シモオハタレイゴウハシ	胆沢	南台二ノ台線	1996	4	4.3	II	頂版に鉄筋露出が見られる。漏水も伴うことから変状が加速するものと推定される。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.100000度	141.038888度
南台1号橋	ミナミダイゴウハシ	胆沢	南台小山大道路線	1996	12.6	9.1	II	床版に橋面からの浸透水が要因と推定される錆汁を伴う漏水が見られる。変状は局部的であるが予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.101388度	141.045277度
伊勢堂橋	イセドウハシ	胆沢	南台小山大道路線	1992	2.3	6	II	頂版継目部に欠損が認められる。雨水の影響を受けやすく、コンクリート部材劣化が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.101388度	141.045555度
上大谷地橋	カミオヤチハシ	胆沢	上中沢萩屋敷線	1991	2.4	8.3	II	頂版に凍害が要因と推定される剥離が見られる。予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.104444度	141.042777度
萩屋敷1号橋	ハギヤシキゴウハシ	胆沢	上中沢萩屋敷線	1968	3.5	6.6	II	頂版に乾燥収縮が要因と推定されるひびわれが見られる。前回数検査から進展性がみられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.101944度	141.059722度
萩屋敷2号橋	ハギヤシキゴウハシ	胆沢	南大谷地二ノ台線	1997	2	14.6	II	頂版・側壁に漏水・遊離石灰が見られる。予防保全の観点から速やかに補修を行うことが望ましい。	39.101666度	141.060000度
南大谷地1号橋	ミナミオヤチイゴウハシ	胆沢	南大谷地明山線	1996	2.1	6.9	I	健全である。	39.101388度	141.061111度
南大谷地2号橋	ミナミオヤチゴウハシ	胆沢	小山大道路明山1号線	1993	2.2	7.7	II	頂版及び側面継目部に漏水・遊離石灰が認められる。雨水の影響を受けやすく、コンクリート部材劣化が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.100833度	141.062500度
小山大道路橋	オヤマダイトウハシ	胆沢	小山大道路明山線	1996	2	6	I	健全である。	39.100000度	141.065277度
館2号橋	タテゴウハシ	胆沢	駒堂館線	不明	4.4	7	III	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.10507度	141.08151度
北峠2号橋	キタウケニコウハシ	胆沢	鎌倉北峠線	1996	2	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.103055度	141.086666度
上柴山3号橋	カミハキヤマゴウハシ	胆沢	上柴山方八丁3号線	不明	7.4	3.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.10222度	141.096111度
北峠1号橋	キタウケイゴウハシ	胆沢	前屋沢北峠線	1996	2	6	II	頂版、側壁に目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなる。	39.102777度	141.090277度
斎藤橋	サイドウハシ	胆沢	宇南田上中谷地線	1977	5.1	8	II	床版に付着した遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.102500度	141.102500度
上柴山1号橋	カミハキヤマイゴウハシ	胆沢	上柴山方八丁1号線	1994	6	3.7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.10250度	141.101388度
上柴山2号橋	カミハキヤマゴウハシ	胆沢	上柴山方八丁2号線	不明	7.3	3.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.10250度	141.098611度
上柴山4号橋	カミハキヤマゴウハシ	胆沢	上柴山斎藤線	1994	7.3	3.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.10250度	141.103333度
上柴山5号橋	カミハキヤマゴウハシ	胆沢	柴山斎藤1号線	不明	7.3	4.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.10194度	141.106111度
上ノ台1号橋	カミノダイイゴウハシ	胆沢	上ノ台2号線	1994	2	4.2	II	頂版継目部に欠損が認められる。雨水の影響を受けやすく、コンクリート部材劣化が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.096388度	141.088888度
下大畑平1号橋	シモオハタレイゴウハシ	胆沢	下大畑平四ツ星線	不明	4.1	7.8	II	頂版に床版ひびわれが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.096944度	141.034166度
下大畑平4号橋	シモオハタレイゴウハシ	胆沢	南台二ノ台線	不明	4.5	4.4	II	主桁に剥離・鉄筋露出、A1A2橋台壁面に変形・欠損が見られる。	39.09666度	141.038888度
下大畑平5号橋	シモオハタレイゴウハシ	胆沢	下大畑平一ノ台線	不明	3.3	5	I	健全である。	39.096944度	141.035555度
寿安橋	ジュアンハシ	胆沢	伊勢堂小田切線	1993	13.1	4	II	A1壁面に凍害が要因と推定される剥離が見られる。変状の進行が見られるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.095833度	141.048888度
南台2号橋	ミナミダイゴウハシ	胆沢	南台伊勢堂線	1994	12.6	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない状態。	39.097222度	141.044722度
岩洞沢橋	イワドウザイハシ	胆沢	岩洞沢線	不明	8.9	5.1	I	道路橋の機能に支障は生じていない状態。	39.097500度	141.045555度
岩洞沢2号橋	イワドウザイゴウハシ	胆沢	南台岩洞沢1号線	1996	3.9	3.5	II	頂版に遊離石灰の滲出が見られる。損傷の進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.09867度	141.043333度
萩屋敷橋	ハギヤシキハシ	胆沢	高線明山線	1996	2.3	6.5	II	頂版、側壁に目地からの漏水が見られる。また、舗装にひびわれが見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.094722度	141.068888度

道路橋名	別名	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R5	所見等	緯度	経度
萩屋敷3号橋	ハギヤシキヤウハン	胆沢	高線萩屋敷線	不明	2.4	2.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.096944度	141.072772度
萩屋敷4号橋	ハギヤシキヤウハン	胆沢	萩屋敷上忍俗線	1994	2.3	9.7	II	頂版、側壁に目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.095833度	141.074166度
萩屋敷5号橋	ハギヤシキヤウハン	胆沢	萩屋敷上忍俗1号線	不明	2	3	II	頂版に目地からの漏水およびひびわれ、側壁に目地からの漏水、舗装に凹凸が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.095277度	141.072500度
館1号橋	タテヤウハン	胆沢	萩屋敷北峠線	1960	2.6	6.7	II	流水による壁面の浸食が見られる。予防保全の観点から、補修を行うことが望ましい。	39.099166度	141.079722度
下野中橋	シメノカハシ	胆沢	南峰下野中1号線	1968	3.3	6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.09916度	141.081388度
下野中1号橋	シメノカイチヤウハン	胆沢	下野中1号線	不明	3.3	6.5	III	A1A2橋台壁に変形・欠損が見られる。	39.09915度	141.08186度
道場橋	ドウバシ	胆沢	道場外浦線	不明	8.5	5	II	床版に遊離石灰を伴う漏水が見られる。変状は全体的に見られるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.09458度	141.08015度
芥藤2号橋	サイウニコウハン	胆沢	柴山芥藤4号線	不明	7.9	6.1	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.09666度	141.11444度
芥藤1号橋	サイウイコウハン	胆沢	柴山芥藤3号線	不明	11.1	3.8	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.097222度	141.114166度
芥藤3号橋	サイウヤウハン	胆沢	方八丁柴山線	2020	3.4	6.3	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.09750度	141.11389度
芥藤4号橋	サイウヨコウハン	胆沢	芥藤柴山線	不明	4.5	4.3	III	A1橋台基礎部(パイルメント)に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.09972度	141.113055度
萩森橋	ハギモリハシ	胆沢	中萩森新田線	1977	5.4	7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.090833度	141.014444度
中沢橋	ナカザウハン	胆沢	上中沢萩屋敷線	1964	5.5	5.1	II	A1・A2の橋台壁に剥離が見られる。広範囲であるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.09111度	141.01756度
中沢3号橋	ナカザウヤウハン	胆沢	中沢11号線	1990	2.9	6	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.089722度	141.024444度
下大畑平2号橋	シモオハヒラニコウハン	胆沢	下大畑平前四ツ屋線	不明	3.3	7.6	II	舗装にひびわれが見られる。経年劣化が要因と推定される。前回点検時より範囲が拡大しており、ひびわれ幅も1.3-10.0mmに広がっていることから道路利用者の安全性の低下が懸念されることから措置を講ずることが望ましい。	39.094166度	141.037777度
明山1号橋	アカヤマチヤウハン	胆沢	小山大道明山1号線	1990	4.2	5	II	頂版にひびわれが見られる。前回点検から進展性がみられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.09411度	141.06124度
下忍俗橋	シモノソコハシ	胆沢	道場下忍俗線	不明	11	6.4	II	床版に浸透水が要因と推定される遊離石灰、壁面に凍害が要因とされる剥離、地覆に鉄筋露出が見られる。損傷の進行により、凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.093611度	141.082777度
前大畑橋	マエオハヒラハシ	胆沢	前大畑大堤線	1970	11.4	6	II	床版に橋面からの浸透水が要因と推定される遊離石灰が見られる。変状は全体的に見られるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.093055度	141.090000度
西油地2号橋	ニシアブラチニコウハン	胆沢	西油地中谷地線	不明	2	4	II	頂版に目地からの漏水及び防護柵の変形・欠損が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.089166度	141.097222度
西油地1号橋	ニシアブラチイコウハン	胆沢	東油地中谷地2号橋	不明	2	4	II	側壁に目地からの漏水及びひびわれが見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.089166度	141.099722度
東油地3号橋	ヒガシアブラチヤウハン	胆沢	東油地後四ツ屋線	不明	6.7	6.1	II	A1橋台胸壁先端に剥離が見られる。他部材への影響が懸念され、予防保全の観点から、補修することが望ましい。	39.088888度	141.107222度
下中沢橋	シモナカザウハン	胆沢	南台二ノ台線	不明	6	4.7	III	壁面に凍害が要因と推定される剥離や欠損が見られる。変状深さが大きい。橋梁構造の安全性の観点から早期に措置を講ずる必要がある。	39.086944度	141.036111度
赤塚2号橋	アカネニコウハン	胆沢	赤塚後鞍骨線	1987	3.4	5.4	II	側壁に幅0.5mmのひびわれが見られる。前回点検時から加速的に進行しており、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.085555度	141.060555度
森小2号橋	モリニコウハン	胆沢	森小新田線	1993	2	6.5	II	頂版及び側壁目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.086388度	141.063611度
森小3号橋	モリヤウハン	胆沢	上忍俗中橋線	1993	2	4.9	II	頂版及び側壁目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.084722度	141.073055度
中油地3号橋	ナカアブラチヤウハン	胆沢	上油地中油地線	1987	3.9	7.3	II	頂版に乾燥収縮が要因と推定される一方のひびわれが見られる。遊離石灰を伴い進行性が高いと推定されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.086111度	141.086111度
中油地2号橋	ナカアブラチニコウハン	胆沢	上中谷地下油地線	1980	3.8	7.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.085555度	141.093055度
途橋	ミチハシ	胆沢	南大谷地二ノ台線	1989	8.7	7	II	壁面に伸縮装置からの漏水が要因と推定される遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.083611度	141.04750度
二の台橋	ニノダイハシ	胆沢	森小新田線	1971	7.4	7.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.080277度	141.056388度
下畑ヶ志田1号橋	シモエノシダイチヤウハン	胆沢	赤塚後鞍骨線	1995	5.1	5	II	頂版に凍害が原因と推定される2方向のひびわれが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.083333度	141.071388度
狐森1号橋	キツネモリヤウハン	胆沢	長根竹地子線	1993	2	4.5	II	頂版目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.083333度	141.075833度
八幡堂2号橋	ハチマンドニコウハン	胆沢	八幡堂下鞍骨線	1994	2	4	II	頂版、側壁に目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.080833度	141.081388度
八幡堂3号橋	ハチマンドヤウハン	胆沢	小山田中外浦1号線	1994	2	5.5	II	頂版、側壁に目地からの漏水、頂版側面に剥離等が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.078888度	141.085000度
横道橋	ヨコミチハシ	胆沢	下大畑平前四ツ屋線	1973	8.5	8	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.079166度	141.104166度
上白鳥川1号橋	カシラガワイチヤウハン	胆沢	屋敷藤坂線	1986	4	7.6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.075833度	141.038333度
二ノ台1号橋	ニノダイイチヤウハン	胆沢	屋敷浪入線	不明	4.1	5	II	A2橋台壁に変形・欠損が見られる。	39.07638度	141.048888度
原川橋	ハラガハシ	胆沢	原川持堤下線	1996	5	2.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.078055度	141.063888度
中ノ森1号橋	ナカノモリヤウハン	胆沢	東油地妻ヶ森線	1995	2.1	3.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.077777度	141.099444度
一ノ沢橋	イチノサワハシ	胆沢	新田外浦線	1977	5.4	7	II	橋台(胸壁)に凍害が要因と思われる剥離・鉄筋露出や欠損が見られる。損傷範囲が広い。予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.063611度	141.068888度
浪入橋	ナミリハシ	胆沢	大袋三ノ沢線	不明	9	3.8	II	防護柵に凍害が要因と思われる鉄筋露出が見られる。損傷が進行すると防護柵(鋼材)の落下等に繋がる可能性が考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	39.066388度	141.052500度
赤斎美橋	アカサミハシ	胆沢	赤斎美5号線	不明	2.2	6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.102777度	141.119722度
望み大橋	ノゾミオオハシ	胆沢	横道前山前線	1996	260	6.5	III	箱桁の継目部に剥離・鉄筋露出が見られた。箱断面の減少により、耐荷力低下の恐れがあるため早期に措置を講ずる必要がある。	39.121388度	140.933333度
奥州湖大橋	オウシュウコウハン	胆沢	谷子沢南前川山線	2011	424	6.5	II	主桁側面に緩やかな斜めひびわれ及び箱桁内部後埋めコンクリート部に格子寸前のひびわれが認められる。また橋脚柱部後埋めコンクリート部の劣化が認められる。ひびわれ幅が比較的に広い。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.106970度	140.882500度
大平野橋	オオヒラノハシ	胆沢	谷子沢南前川山線	2011	40	7	II	胸壁にひびわれが見られた。予防保全の観点から措置を行うことが望ましい。	39.085555度	140.860555度
嶺岩橋	サカサハシ	胆沢	遠分東前川山線	2011	287.4	4	II	主桁側面に緩やかな斜めひびわれ及び箱桁内部頂版に0.15mm~0.2mm程度のひびわれが認められる。また外ケーブルの定着部カバーに表面的な腐食が認められる。内部ケーブルが腐食する可能性があるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.101590度	140.881910度
岡谷踏道橋	シキヤクウキョウ	江刺	北部開拓線	2008	38.7	4.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.305405度	141.262458度
西大畑橋	ニシオハヒラハシ	水沢	西開田明神堂川原線	1977	26	13	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.16436度	141.13119度
明正3号橋	メイジョウサウコウキョウ	水沢	明正沼尻線	不明	2.9	5.8	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.13429度	141.18552度
下谷記1号橋	シモヤキイチヤウキョウ	水沢	下谷記1号線	不明	4.5	2	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.07350度	141.188082度
下谷記2号橋	シモヤキニコウキョウ	水沢	下谷記7号線	不明	2.8	2.2	II	漏水による凍害によるものと推測される。前回点検から進展していないが、予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.072949度	141.187685度
酒元橋	サカモトハシ	水沢	酒元線	不明	5.9	6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.16657度	141.108549度
三本木2号橋	サンボンキニコウキョウ	水沢	三本木大町線	2011	4.3	9.2	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.14390度	141.144093度
明正7号橋	メイジョウナナコウキョウ	水沢	駅南下小谷木線	不明	5.8	10	II	頂版に床版ひびわれ、抽換壁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.13386度	141.18611度
古川橋	フルカハシ	江刺	下川原力石線	不明	15	17.3	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.17191度	141.16962度
福荷橋	イナリハシ	江刺	藤里石原線	1975	2.6	8.4	I	健全である。	39.171738度	141.241091度
馬駒前橋	ウマコメマエハシ	江刺	人首首道線	1972	3	5.3	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.22078度	141.290691度
和田坂橋	ワダサカハシ	江刺	藤里口内線	1979	2	12	II	橋台基礎に洗堀が見られる。流水により洗い流されたことが要因と推定され、状況に応じて補修を行うことが望ましいと判断し、健全性は「II」と判定した。舗装に亀甲クラックが見られる。維持工事に対応することが望ましい。	39.224123度	141.244871度
江刺幹線用水路2号橋	エサカセンスイヨウスイロコウキョウ	江刺	男石2号線	1978	2.1	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.198180度	141.173316度
栄町下水路3号橋	サカエマカスイヤウコウキョウ	江刺	栄町反町線	不明	2.5	5.1	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.183542度	141.187060度
松ノ木田橋	マツノキダハシ	江刺	老耳第二線	1979	2.1	11.6	I	舗装に路面の凹凸が見られる。維持工事に対応することが望ましい。	39.21879度	141.234149度
藤波橋	フジナハシ	江刺	石割四ツ西風線	不明	8.5	8.4	III	A1A2橋台壁に変形・欠損が見られる。	39.28995度	141.266264度
机地4号橋	ウケシヨコウキョウ	胆沢	二丁目子沢線	不明	2	2.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.147946度	141.102511度
机地3号橋	ウケシヤウコウキョウ	胆沢	堰田広表線	不明	2	2.5	I	車両等の接触によるものと思われる防護柵の変形が見られるが、道路橋の機能に支障は生じていない。	39.147518度	141.100140度
礼堂橋	フジノハシ	胆沢	北町峠線	1975	37.1	11.5	II	主桁側面に剥離・鉄筋露出、下部構造(橋台)に漏水・遊離石灰及びひびわれ、支障部に腐食が確認された。道路橋に支障は生じていないが、ジョイント漏水を起因とする変状が多く確認され、予防保全の観点から橋面補修のうえ、桁端部及び下部構造の表面処理を行うことが望ましい。	39.095972度	141.113950度
溝倉4号橋	ミツクラヨコウキョウ	水沢	西開田明神堂川原線	1982	12.5	11.8	I	各部材の損傷は部分的かつ軽微であり道路橋の機能に支障は生じていない。	39.163836度	141.099675度
北丑沢橋	キタウシザウハン	水沢	不瀬町八反田線	1996	3.5	16	II	頂版にひびわれ、遊離石灰が見られる。漏水による劣化の進行が考えられ、予防保全の観点から漏水対策の実施が望ましい。	39.153997度	141.135831度
後大畑橋	ウシオハヒラハシ	胆沢	北町峠線	1965	5.3	9.3	III	床版に漏水・遊離石灰、下部工に欠損、洗堀が生じている。進行性のある損傷であり、早期の補修実施が望ましい。	39.096224度	141.102554度
小松谷木橋	コマヤキハシ	胆沢	馬留迎市野々線	2015	29	4	II	経過年数5年のワールトラス橋である。鋼床版に表面的な広がりのある腐食が認められる。渓流に設置されている為、河川からの水飛沫により腐食の進行性は高いと考えられ、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.123280度	140.931960度
下田橋	シメダハシ	胆沢	下田市野々線	2003	15.3	3	II	側壁背面盛土の沈下による路面の段差及び劣化が認められ、頂版上面の劣化が懸念される。また防護欄支柱基部の凍結膨張による支柱の変形(うき)が確認され、車両脱防止性能が低下しているため、道路利用者の安全性の観点から緊急に措置を講ずることが望ましい。	39.119390度	140.951510度
北赤塚2号橋	キタカセニコウハン	胆沢	岩瀬沢北赤塚線	不明	2.2	4	I	起・終点側舗装面に路面の凹凸が認められる。道路利用者の安全性の観点から維持工事にて対応することが望ましい。	39.093530度	141.052090度
赤倉沢橋	アカクラザウハン	胆沢	谷子沢南前川山線	不明	10	7.9	III	つららの進行が見られるため、漏水対策の実施が望ましい。	39.117500度	140.890000度
小寒沢橋	コサムザウハン	胆沢	谷子沢南前川山線	2011	4.8	8	II	頂版及び側壁に幅0.15mm~0.2mm程度のひびわれが認められる。河川の影響により部材全体の湿りがあり、進行性は高いと考えられるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.092150度	140.863810度
南在4号橋	ミナサエヨコウキョウ	前沢	南在前野線	2008	5.7	6.9	II	頂版支間部にひびわれが認められる。また舗装面の一部に最大50mm程度の段差が認められることから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.051830度	141.176480度
落合橋	オチアイハシ	衣川	旧殿古戸線	1993	61	5	II	橋脚梁部のひびわれは伸縮部からの漏水により進行する恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.026111度	141.060556度
鴻巣橋	コウソハシ	衣川	旧殿古戸線	1993	35.5	5	I	各部材の損傷は軽微であり道路橋の機能に支障は生じていない。	39.034167度	141.056389度
さくら大橋	サクラオオハシ	水沢	大町川原線	2016	394.7	14	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.14398度	141.144度
大野橋	オノノハシ	江刺	大野線	不明	7.8	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.18864度	141.35709度
八幡小橋	ハチマンコハシ	江刺	玉里広瀬線	不明	3.5	8.1	II	剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰については止水処理が未施工による凍害が原因と推測される。予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.24996度	141.21315度
スマートインター東跡	スマートインターヒコウコウキョウ	胆沢	附野下笹森線	2017	6.3	12.1	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.11568度	141.1248度
スマートインター東1	スマートインターヒコウイチ	胆沢	附野下笹森線	2017	5	14.6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.1143度	141.12194度
岩渡橋	イワワタハシ	水沢	明正西田線	2018	30	12.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.13213度	141.18921度